WindowsVista MANUAL

WindowsVistaマニュアル

CONTENTS

CHAPTER 1

WindowsVista の基本操作

本章では、WindowsVista の画面構成および基本操作について説明します。

WindowsVista の画面構成

パソコンを起動すると、WindowsVista のデスクトップ画面が表示されます。すべての作業の基本となるデスクトップの画面をみてみましょう。

- WindowsVista のデスクトップ画面を確認する。
- アイコンの機能を確認する。

WindowsVista のデスクトップ画面

デスクトップ

Windows の画面全体がデスクトップです。画面を机の上と仮定し、このように呼びます。

タスクバー

画面の最下段にあるバーです。スタートボタン、通知領域などがあります。

スタートボタン

スタートボタンをクリックすることにより、［スタート］メニューが表示されます。［スタートメニュー］はプログラムの起動、フォルダの参照、各種設定などに使います。

マウスポインタ

ファイル・フォルダの選択、アプリケーションの指定などに使います。マウスで動かすことが出来ます。

Windows サイドバー

［ガジェット］と呼ばれるプログラムを配置し、様々な便利な機能を追加することが出来ます。

ごみ箱

不必要なファイル・フォルダをこのごみ箱にドラッグし、削除することが出来ます。

言語バー

日本語入力の設定をするためのツールバーです。

通知領域

常駐プログラムの起動状態、Windows セキュリティーセンターからの通知などを表示します。

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

SECTION 2

スタートボタンの操作

画面左下にある[スタート]ボタンをクリックすると、プログラムの起動、Windows の終了などを行う[スタート]メニューが表示されます。

- ☑[スタート]メニューの項目を確認しよう。
- ☑[スタート]メニューからプログラムを起動しよう。
- ☑[スタート]メニューの表示を変更しよう。

スタートメニューを表示する

step 1 [スタート]ボタンをクリックする

WindowsVista を起動します

[スタート]ボタンをクリック

step 2 [スタート]メニューが表示された

ここにユーザー名が表示されます

❶インターネット：InternetExplore を起動します
❷電子メール：WindowsMail を起動します
❸ここに最近使用したプログラムが表示されます
❹よく使うファイルにアクセスしたり、各種設定を行います
❺すべてのプログラム：アプリケーション選択し起動します
❻電源ボタン：電源を切ります
❼ロックボタン：PC をロックします
❽電源オプション：電源操作を行います

ショートカット

[スタート]メニューの表示

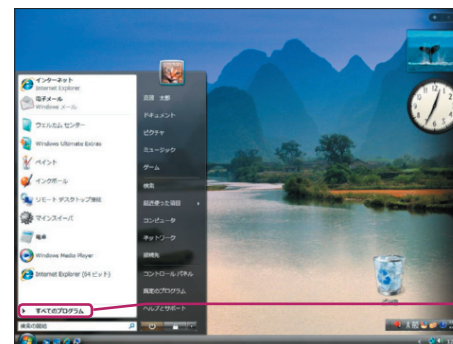
キーボードの［Windows］キーを押すことにより、最初のスタートメニューを表示することが出来ます。

ワンポイント

スタートメニューを消す方法

デスクトップの何もないところにポインタを合わせ、マウスをクリックします。

プログラムを起動する

step 1 [スタート]ボタンをクリックする

[スタート]メニューを表示します

[すべてのプログラム]をクリック

step 2 開きたいプログラムをクリックする

[アクセサリ]をクリック。

開きたいプログラムをクリックすると、プログラムが起動する。

ワンポイント

サブメニューについて

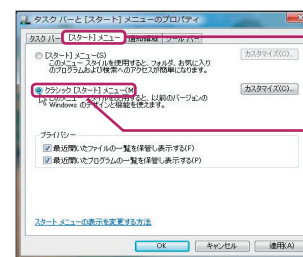
左の例の場合、[アクセサリ]フォルダをクリックすることで、そのサブメニューが現れています。このように、[すべてのプログラム]においてはサブメニューが階層表示されます。

スタートメニューを従来の Windows と同じにする

step 1 メニューからプロパティを選択する

1 タスクバーの空いている部分を右クリック

2 表示されたメニューから[プロパティ]を選択

step 1 メニューからプロパティを選択する

1 [スタートメニュー]タブをクリック

2 クラシック[スタート]メニューをクリック

[スタート]メニューが従来の Windows と同じになります

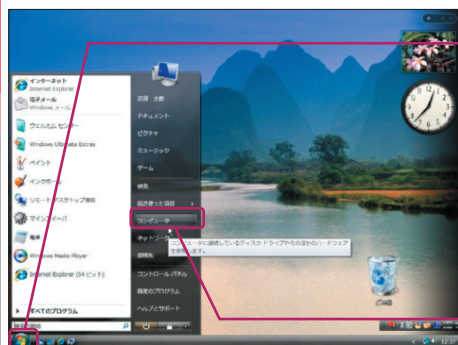
SECTION 3

コンピュータを使ってみよう

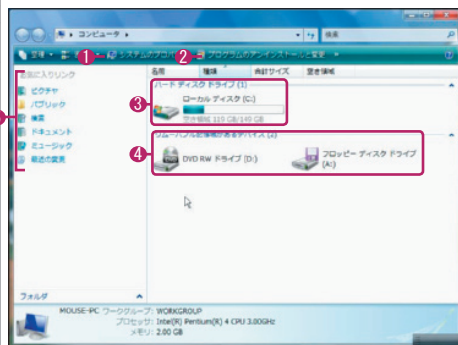
［コンピュータ］は、自分のコンピュータの内容を反映、操作するものです。ここでは、パソコンに接続されている記憶装置の状況を見ることが出来ます。

- ☑［マイコンピュータ］を開く
- ☑ローカルディスクの内容を確認する

［コンピュータ］を開く

step 1 ［スタート］メニューから［コンピュータ］をクリックする

1［スタート］ボタンをクリック

2［コンピュータ］をクリック

step 2 ［コンピュータ］が開いた。

［コンピュータ］が開きました

❶［システムのプロパティ］を開きます
❷プログラムをアンインストールします。
❸ハードディスクがここに表示されます。
❹ DVD-RWドライブ、フロッピードライブ、カードリーダー、USBメモリなどの、リムーバブルディスクがここに表示されます。

ワンポイント

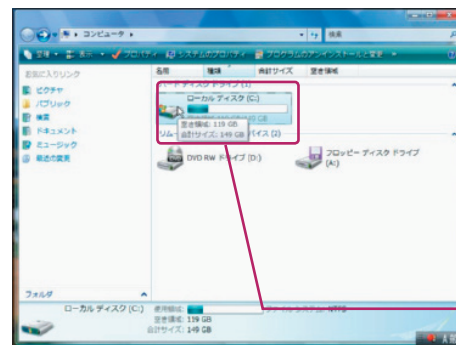
［マイコンピューター］から［コンピュータ］へ

以前のWindowsの［マイコンピュータ］に該当するのが、［コンピュータ］です。機能としては似たものですが、インターフェースにかなりの変更があります。

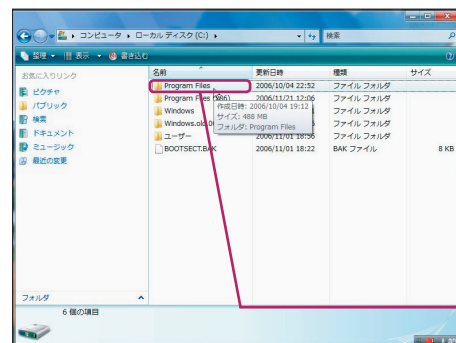
注意

［コンピュータ］の中身はパソコンごとに違う

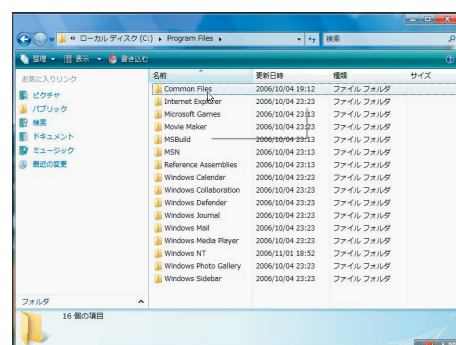
［コンピュータ］の中身は使用しているパソコンのハードウェア構成が反映されます。必ずしも本書と同じにはなりませんので注意してください。

step 3 ［ローカルディスク］を開く

ハードディスクの中身を見てみましょう

［ローカルディスク(C:)］をダブルクリック

step 4 フォルダの内容を表示する

ドライブＣの内容が表示されました

[Program Files］のフォルダをダブルクリック

step 5 フォルダのの中身が表示された

[Program Files］の中身が表示された

ワンポイント

ドライブとは

ドライブとは、ハードディスク、フロッピディスク、CD-ROM・R/RW、DVD-ROM・R/RW、USBメモリなどの記憶装置の総称です。ドライブにはA・B・Cというように、［ドライブ文字］が割り当てられています。

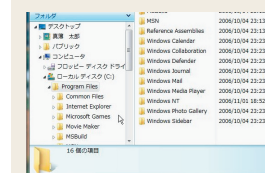
テクニック

ウィンドウ内をエクスプローラ表示にする

［コンピュータ］のウィンドウの左下にある［フォルダ］ボタンをクリックすると、フォルダの一覧が表示されます。

▲［フォルダ］をクリック

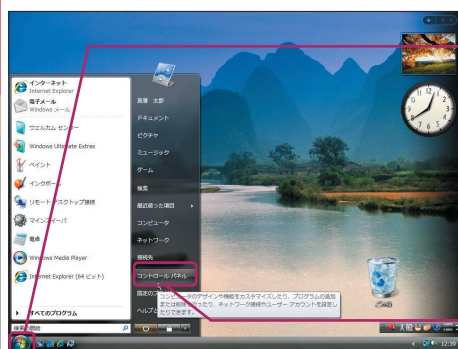
▲［フォルダ］の一覧が表示されます

SECTION 4

コントロールパネルの中身

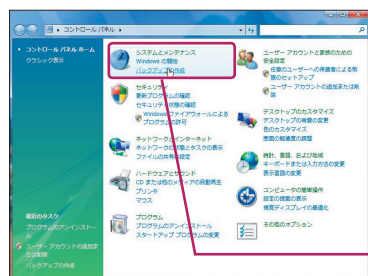
WindowsVista のほぼ全ての機能は［コントロールパネル］より、利用環境の設定を行うことが出来ます。

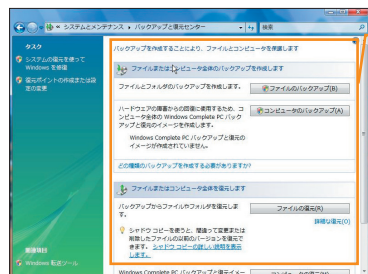
☑コントロールパネルから項目を選択
☑コントロールパネル項目一覧

［コントロールパネル］を起動する

step 1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を起動

1［スタート］ボタンをクリック

2［コントロールパネル］をクリック

step 2 カテゴリを選択する

［コントロールパネル］が開きました。

カテゴリをクリック

カテゴリに含まれるオプション項目が表示されました。

ワンポイント

コントロールパネルとは

Windows の各種基本設定、通信やネットワークに関する設定や、ディスプレイやマウス、キーボード、プリンタ、音声など入出力に関する設定などを行うソフトウェアが集められたメニューです。

コントロールパネルの機能一覧

❶システムとメンテナンス
Windows の開始、バックアップの作成などを行います。

❷セキュリティ
パソコンのセキュリティー機能に関する設定を行います

❸ネットワークとインターネット
ネットワーク、およびインターネット接続に関する設定を行います。

❹ハードウェアとサウンド
音声再生、および各種周辺機器に関する設定を行います

❺プログラム
プログラムの削除、およびスタートアッププログラムの変更を行います

❻ユーザーアカウントと、家族のための安全設定
ユーザーアカウントの管理、設定変更、および各ユーザーのアクセス権変更などを行います。

❼デスクトップのカスタマイズ
デスクトップの背景、色の変更、解像度の変更などを行います。

❽時計、言語、および地域
時計の時刻設定、使用する言語・地域の設定を行います

❾コンピュータの簡単操作
コンピュータの簡単操作に関する設定、および視覚ディスプレイの最適化を行います

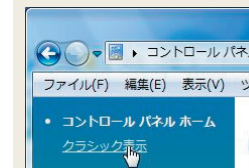
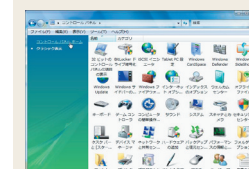
テクニック

コントロールパネルをクラシック表示に変更する。

コントロールパネルは初期状態だとカテゴリ別に表示されています。以前の Windows と同じように一覧表示させるには、［コントロールパネル］⇒［クラシック表示］をクリックします。

▲［クラシック表示］をクリック

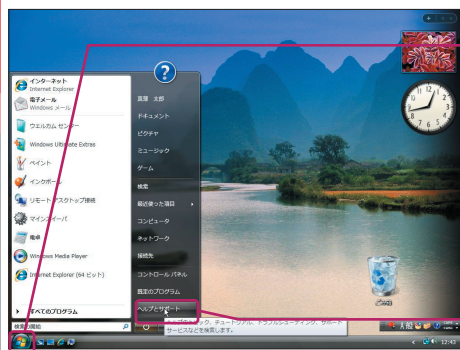
▲［クラシック表示］に切り替わる

SECTION 5

ヘルプを参照するには

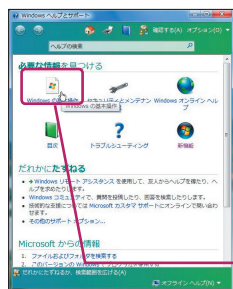
Windows を使っていてわからないことがあったら、ヘルプとサポート機能を使って調べてみましょう。

☑ヘルプを活用する
☑ヘルプを検索する

ヘルプのトピックスからヘルプを参照する

step 1 ［スタート］から［ヘルプとサポート］をクリック

1 ［スタート］ボタンをクリック

2 ［ヘルプとサポート］をクリック

step 2 ヘルプが表示された

［ヘルプとサポート］が開きました。

［Windows の基本操作］をクリック。

ショートカット

ヘルプの起動方法

キーボードの「F1」キーを押しても、ヘルプを表示することが出来ます。

テクニック

用語の意味を表示する

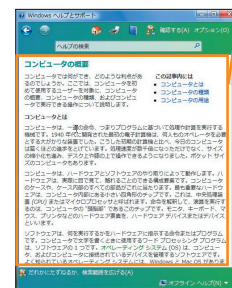
緑色の字にアンダーラインが引かれている項目をクリックすると、その用語の意味が表示されます。

▲アンダーラインの部分をクリック

▲用語の意味が表示された

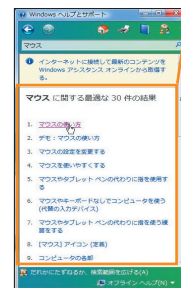
step 3 調べたい項目をクリックする

［コンピュータの概要］をクリック

step 4 クリックした項目のヘルプが表示された

［コンピュータの概要］に関するトピックスが表示された。

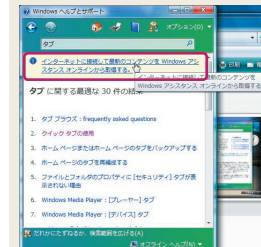
step 1 調べたい事項の検索ワードを入力する

2 検索ボタンをクリックするか、「Enter」キーを押す

step 2 検索結果が表示される

検索結果の一覧が表示された。目的の項目をクリックすれば内容が表示される。

テクニック

ヘルプの内容を最新のものに更新する

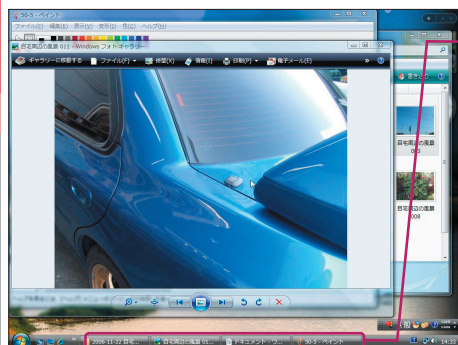
WindowsVista では、インターネット経由でヘルプ最新コンテンツを取得することが出来ます。［ヘルプとサポート］を開き、［インターネットに接続して最新のコンテンツを Windows アシスタンスオンラインより取得する］をクリックすることで、最新コンテンツをダウンロードすることが出来ます。

▲［インターネットに接続して最新のコンテンツを Windows アシスタンスオンラインより取得する］をクリック

Windows フリップと Windows フリップ 3D

複数のウィンドウの切り替えには、Windows フリップを使用すると便利です。3D 表示の Windows フリップ 3D もあります

- ☑ Windows フリップでウィンドウを切り替える
- ☑ Windows フリップ 3D でウィンドウを切り替える

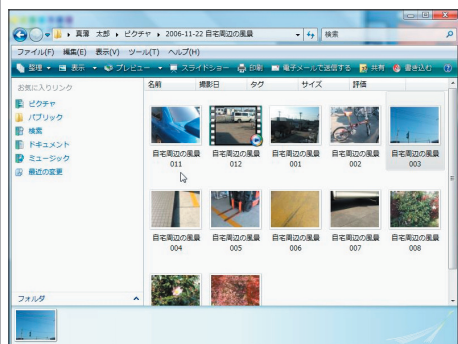
Windows フリップで Window を切り替える

step 1 複数ウィンドウを立ち上げる

ウィンドウを複数起動しておきます

[Alt] キーを押しながら [Tab] キーを押します

step 2 Windows フリップが表示される

[Alt] キーを押したまま、先頭に表示させたいウィンドウまで [Tab] キーで移動し、[Alt] キーを離します

step 3 選択したウィンドウが先頭に表示されます

選択したウィンドウが先頭に表示されます

ワンポイント

Windows フリップ 3D と Windows フリップ

Windows フリップ 3D は、派手な視覚効果でウィンドウをわかりやすく切り替えできるので非常に便利ですが、その反面パソコンのビデオメモリを大量に必要とします。Windows フリップ 3D 操作時に、パソコンの動作がもたつくようであれば、Windows フリップ 3D ではなく、Windows フリップを使用してください。

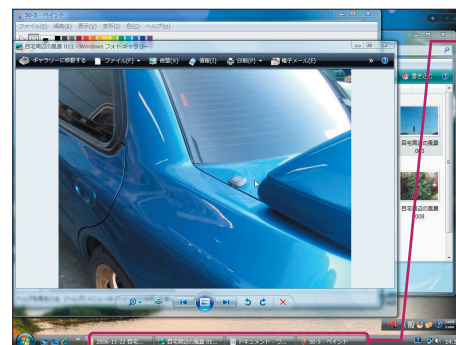
ワンポイント

Windows フリップ 3D を開いたままにする

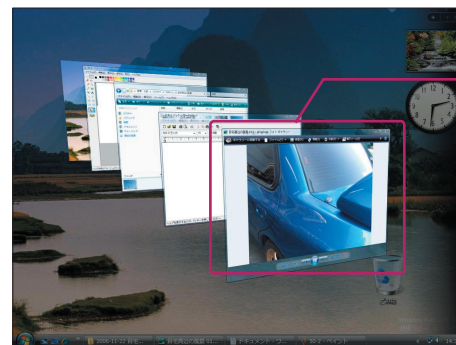
フリップ 3D を使用する方法には、[Ctrl] キー＋[Windows] キー＋[Tab] キーを押して、フリップ 3D を開いたままにしておく方法もあります。次に、Tab キーを押してウィンドウを順番に切り替えます。右方向キーまたは下方向キーを押して次のウィンドウに進んだり、左方向キーまたは上方向キーを押して前のウィンドウに戻ったりすることもできます。フリップ 3D を閉じるには、Esc キーを押します。

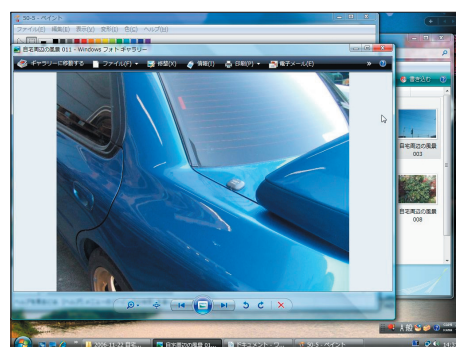
同様に、[Ctrl] キー＋[Alt] キー＋[Tab] キーを押して、フリップを開いたままにしておく方法もあります。

Windows フリップ 3D で Window を切り替える

step 1 複数ウィンドウを立ち上げる

ウィンドウを複数起動しておきます

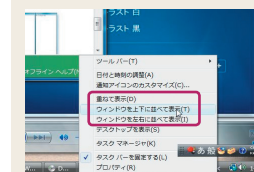
[Windows] キーを押しながら [Tab] キーを押します

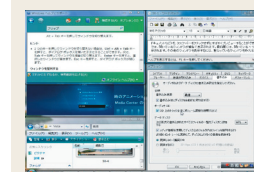
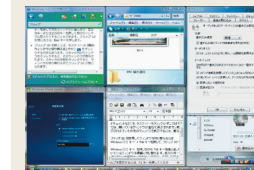
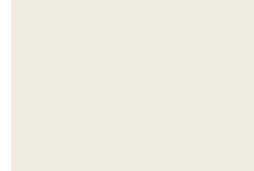
step 2 Windows フリップ 3D が表示される

[Windows] キーを押したまま、先頭に表示させたいウィンドウまで [Tab] キーで移動し、[Alt] キーを離します

step 3 選択したウィンドウが先頭に表示されます

選択したウィンドウが先頭に表示されます

ワンポイント

複数ウィンドウを整列する

タスクバーの何もないところを右クリックすると、ウィンドウの整列メニューが表示されます。ここから、任意の整列方法を選択することで、ウィンドウを整列することが出来ます。

▲ウィンドウの整列メニュー

▲ [重ねて表示]

▲ [ウィンドウを上下に並べて表示]

▲ [ウィンドウを左右に並べて表示]

Windows サイドバーとガジェット

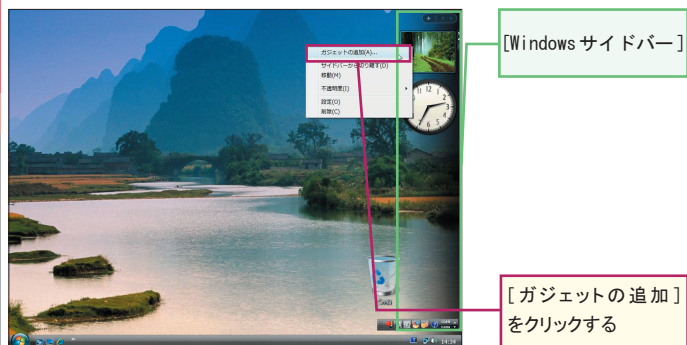
デスクトップ右側にある Windows サイドバーの領域には、「ガジェット」と呼ばれるプログラムを配置して様々な機能を持たせることが出来ます。

- ☑ Windows サイドバーにガジェットを配置する
- ☑ ガジェットの種類

Windows サイドバーにガジェットを追加する

step 1 Windows サイドバーで右クリック

[Windows サイドバー]

[ガジェットの追加]をクリックする

step 2 追加できるガジェットの一覧が表示される

追加可能なガジェットの一覧が表示される

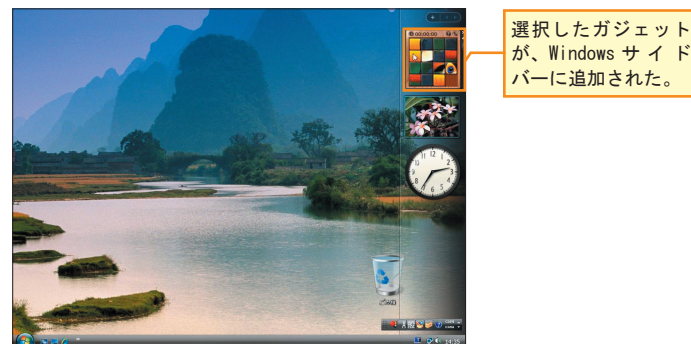
追加したいガジェットをダブルクリックする

ワンポイント

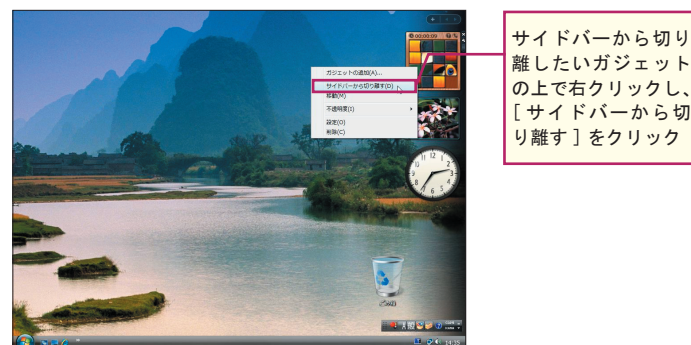
ガジェットとは

ガジェットとは、本来「小道具」を表す言葉です。WindowsVista では、Windows サイドバーに配置可能なちょっとしたアプリケーションのことを[ガジェット]と呼んでいます。

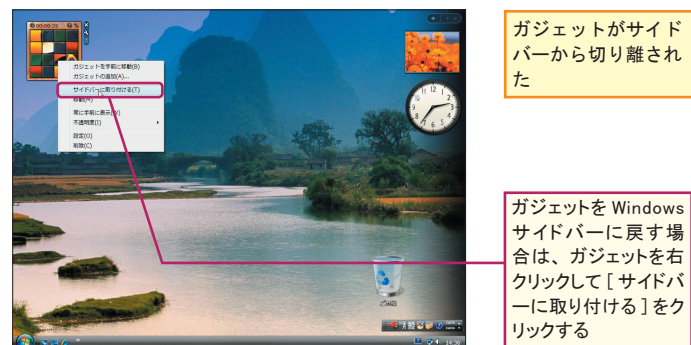
step 3 選択したガジェットが追加された

選択したガジェットが、Windows サイドバーに追加された。

ガジェットをサイドバーから切り離す

step 1 ガジェットの上で右クリック

サイドバーから切り離したいガジェットの上で右クリックし、[サイドバーから切り離す]をクリック

step 2 ガジェットが Windows サイドバーから切り離された

ガジェットがサイドバーから切り離された

ガジェットを Windows サイドバーに戻す場合は、ガジェットを右クリックして[サイドバーに取り付ける]をクリックする

ワンポイント

ガジェットの種類

ガジェットには様々な種類のものがあり、お好みに合わせて複数配置可能です。主なガジェットには以下のようなものがあります。

❶CPU メーター
現在の CPU の消費率を随時表示する
❷カレンダー
カレンダーを表示する
❸スライドショー
パソコンに保存されている写真をスライドショーで表示する
❹ピクチャパズル
1つだけあいているマスを利用してタイルを動かし、一つの絵を完成させるパズル。
❺フィードヘッダー
インターネット経由でニュースのヘッドラインを表示する
❻株価
株価を表示する
❼時計
アナログ表示の時計。
❽通貨換算
インターネット経由で参照している最新のレートで、通貨換算をすることが出来る。
❾天気
特定の場所の天気を表示するツール
❿付箋
付箋紙のように、ちょっとしたことをメモとして保存しておくことができる。
⓫連絡先
Windows Vista の標準ツールである“Windows 連絡先”に登録されているアドレスを簡単に検索し表示させるツール。

CHAPTER 2

日本語の入力

本章では、ワードパッドを使った日本語入力、および文書ファイルの保存について説明します。

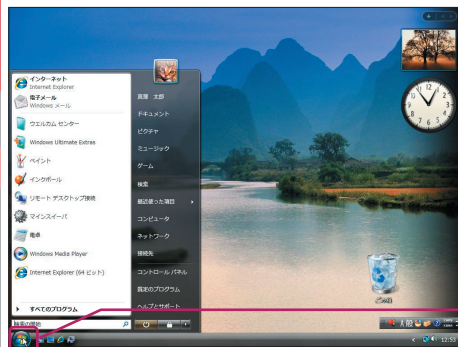
SECTION 8

ワードパッドを起動する

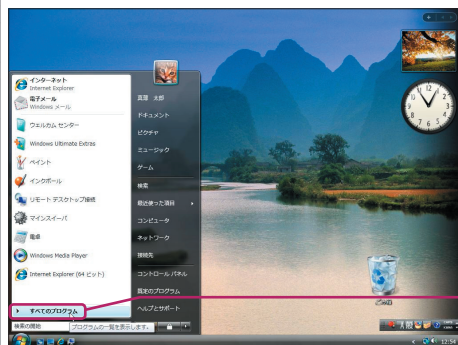
ワードパッドは Windows 標準搭載のワープロソフトです。ワードパッドを起動してみましょう

☑ワードパッドを起動する
☑［アクセサリ］内のソフトを確認する

ワードパッドの起動

step 1 ［スタート］ボタンをクリックする

［スタート］メニューからワードパッドを起動します

［スタート］ボタンをクリック

step 2 ［スタート］メニューが表示される

［すべてのプログラム］をクリック

ワンポイント

アクセサリソフト

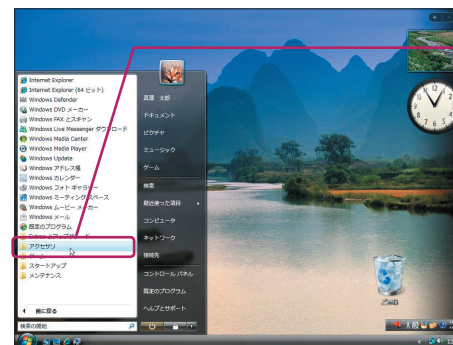
WindowsVistaには［ワードパッド］の他に、お絵かきソフトの［ペイント］、テキストエディタの［メモ帳］、［電卓］などいくつかのアクセサリが付属しています。

テクニック

ワードパッドを頻繁に使用している場合

ワードパッドを頻繁に使用している場合、［スタート］メニュー内にワードパッドが表示されます。ここで［ワードパッド］をクリックすれば、すぐにワードパッドが起動します

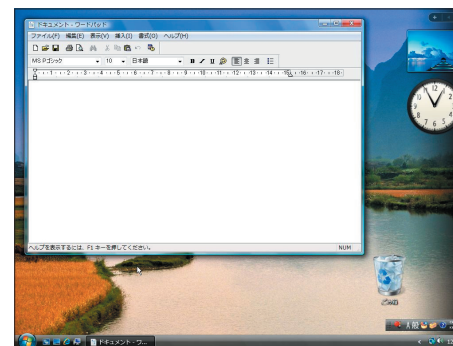
❶［スタート］をクリック
❷［ワードパッド］をクリック

step 3 プログラムの一覧が表示される

［アクセサリ］をクリックする。

step 5 起動する項目をクリックする

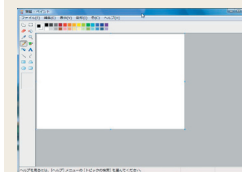
［ワードパッド］が表示されました

［ワードパッド］をクリック

step 5 ワードパッドが起動する

ワードパッドが起動します

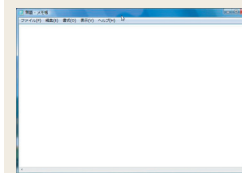
ワンポイント

ペイント

［スタート］⇒［すべてのプログラム］⇒［アクセサリ］⇒［ペイント］で、ペイントが起動します。

▲絵を描くことが出来ます。

ワンポイント

メモ帳

［スタート］⇒［すべてのプログラム］⇒［アクセサリ］⇒［メモ帳］で、メモ帳が起動します。

▲テキストエディタ

ワンポイント

電卓

［スタート］⇒［すべてのプログラム］⇒［アクセサリ］⇒［電卓］で、電卓が起動します。

▲複雑な計算も可能

IME について

IME とは、日本語入力を制御するためのソフトです。IME の基本について見てみましょう。

- ☑ IME の役割を確認する
- ☑ IME を有効にする

IME を有効にする

step 1 タスクバーにある言語バーをクリックする

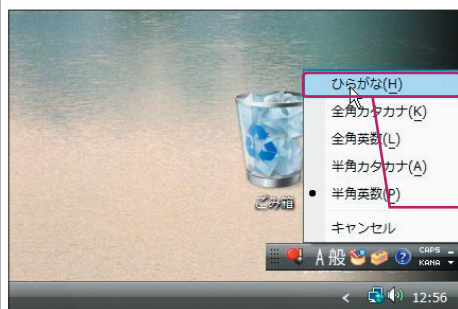
タスクバーを表示します

言語バーの [A] をクリック

ワンポイント

日本語入力には IME が必須

日本語入力する際にはかな漢字変換という作業が必須です。この作業を行うのが IME であり、Windows には標準で搭載されています。

step 2 メニューが表示される

入力方法を選択するメニューが表示されます

[ひらがな] をクリック

ワンポイント

言語バー

デスクトップの右下には言語バーが表示されています。言語バーは、IME の状態を確認したり、設定を変更する際に使用します。

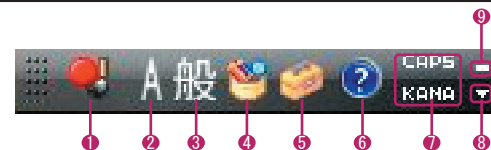
step 3 IME が有効になる

IME が有効になりました。

ワンポイント

IME を有効にする

日本語を入力する際には、IME を有効にする必要があります。IME が有効になっているときは、言語バーの左端に「あ」と表示されます。

言語バーの詳細

❶入力方式
IME のプロパティを表示・変更するときなどに使用します。

❷入力モード
入力する文字の種類を選択します。「ひらがな」「全角カタカナ」「全角英数」「半角カタカナ」「半角英数」「直接入力」のどれかを選択できます。「直接入力」を選択した場合には、キーボード上の文字が直接入力できます。

❸変換モード
優先的に変換する候補を選択します。通常は「一般」を選択しますが、人名や地名を優先したい場合には、「人名 / 地名」を、話し言葉を優先的に変換したい場合には「話し言葉」を、かなやローマ字を確定した状態で入力するには「無変換」を選択します。

❹IME パッド
読み方のわからない漢字を、手書きや総画数、部首、音声入力などをの方法で入力します。

❺ツール
単語や用例を辞書に登録するときなどに使います。

❻ヘルプ
ヘルプを表示します

❼CAPS/KANA
[CAPS] キー、[カナ] キーのロック状態を表示、切り替えを行います。

❽最小化
最小化ボタンをクリックすると、言語バーがタスクバー内に収容されます。

❾最小化
最小化ボタンをクリックすると、言語バーがタスクバー内に収容されます。

ショートカット

IME の有効・無効の切り替え

[Alt] キーを押しながら [全角 / 半角] キーを押すたびに、IME の有効 / 無効が切り替えられます。

テクニック

言語バーをタスクバーに納める

言語バーの右端にある最小化ボタンをクリックすると、言語バーはタスクバー内に収まります。タスクバー内に収まると、最小化ボタンは復元ボタンに変わり、これをクリックすると元に戻ります

▲最小化ボタンをクリック

▲タスクバーに言語バーが格納される

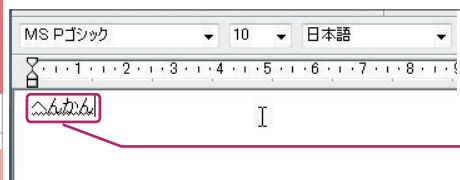
SECTION 10

日本語を入力する

IME が有効になっていることを確認し、ワードパッドに日本語を入力し、文書を作成してみましょう。

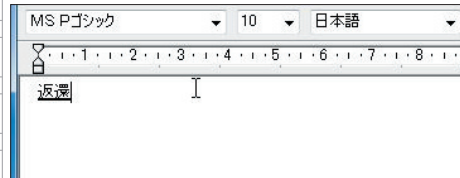
- 入力した文字を変換する
- 少し長めの文を入力する
- カタカナ・英字を入力する

文字の入力、変換をおこなう

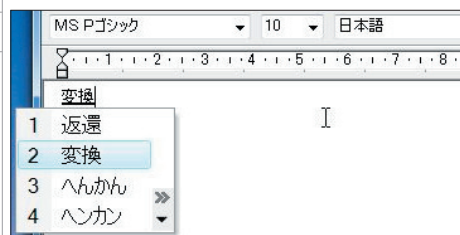
step 1 ワードパッドに文字を入力する

例として「変換」と入力してみましょう

キーボードから「HENKAN」と入力

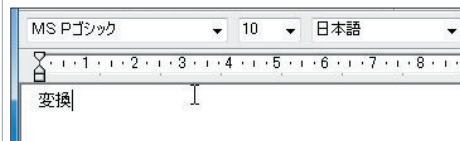
読みが入力されます

step 2 文字を変換する

スペースキーを押します

最初の変換候補に変換されます

step 3 変換候補を選択する

スペースキーを押します

次の変換候補に変換されます

step 4 変換を確定する

「Enter」キーを押します

入力が確定しました

ワンポイント

日本語を入力する手順

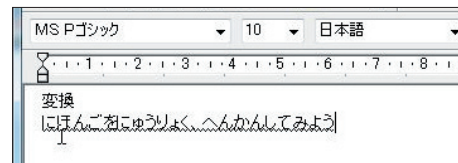
日本語を入力するには、以下の3つの手順を踏みます。

1. 読みを入力する
読みの入力方法には、ローマ字入力とかな入力が有ります。ローマ字入力の場合には、英字キーを使って、ローマ字で読みを入力します。例えば、「か」と入力したい場合には、「K」キーと「A」キーを順に押します。

2. かな漢字変換する
読みを入力した後、スペースキーを押すと、かな漢字変換されます。スペースキーを押すたびに、次の候補に変換されます

3. 変換を確定する
変換が正しく行われたら、「Enter」キーを押して確定します。

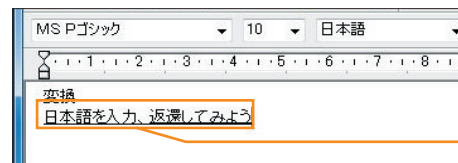
少し長めの文を入力する

step 1 キーボードから文字を入力する

例として「日本語を入力、変換してみよう」と入力してみましょう

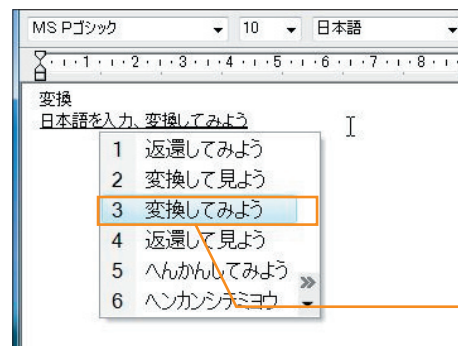
1 キーボードから文字を入力

2 スペースキーを押す

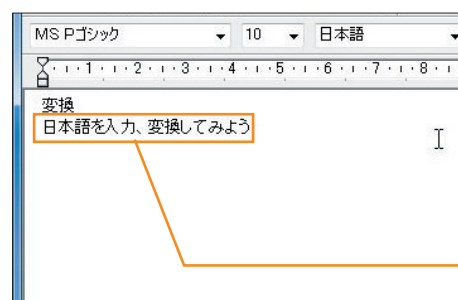
読みがなが漢字変換されました

step 2 文節の変換を変更する

「→」キーを押します

「返還してみよう」が選択されます

step 3 変換候補を選択します

スペースキーを押します

選択した文節が、次の候補に変換されます

step 4 変換が確定する

「Enter」キーを押します

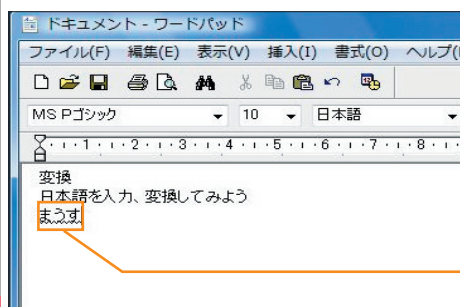
文全体の変換が確定します

ワンポイント

ローマ字入力とかな入力

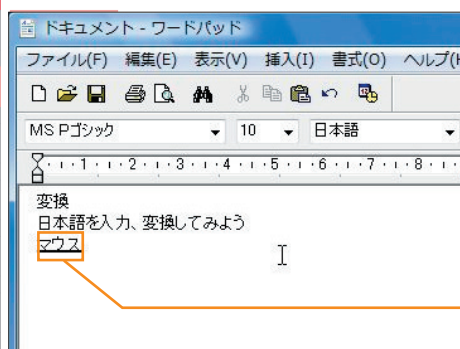
日本語をキーボードから入力するには、ローマ字入力か、かな入力から選択することになります。かな入力は、キーボードに印字されているかなを直接入力していく方式なので、キーボードをタイプする回数が少なくてすみますが、その分覚えるキーの数が多くなります。覚えるキーの数が少なくてすむローマ字入力の方が入力速度が速くなるので、本書ではローマ字入力を推奨します。

カタカナや英字を入力する

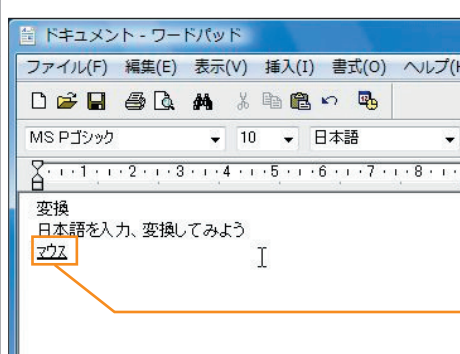
step 1 キーボードから文字を入力

まず、間違った単語を入力して、それを修正してみましょう。

キーボードから「mausu」と入力

「まうす」と入力されます

step 2 全角カタカナに変換

「F7」キーを押します

全角カタカナに変換されます

step 3 半角カタカナに変換

「F8」キーを押します

半角カタカナに変換されます

ワンポイント

ファンクションキーを使った変換

スペースキーでの変換以外に、[F6]～[F10]キーを押すことでも、文字を変換することが出来ます。カタカナ、英字に変換する場合は、スペースキーを押して変換候補を選択するより、ファンクションキーで変換した方が効率的です。各ファンクションキーの変換候補は以下のとおりです。

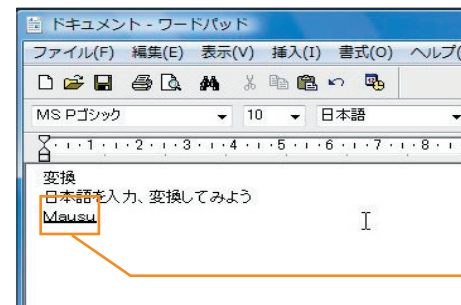
[F6] キー
ひらがなに変換

[F7] キー
全角カタカナに変換

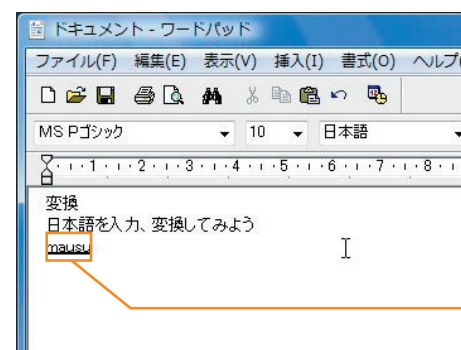
[F8] キー
半角カタカナに変換

[F9] キー
全角英字に変換

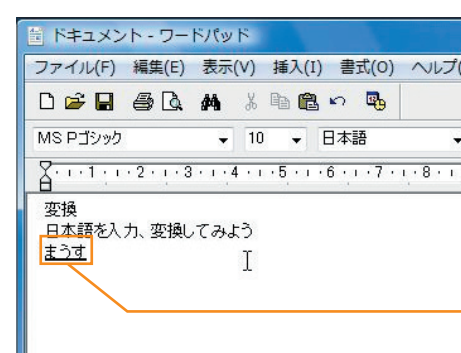
[F10] キー
半角英字に変換

step 4 全角英字に変換

「F9」キーを押します

全角英字に変換されます

step 5 半角英字に変換

「F10」キーを押します

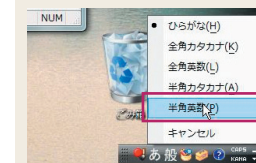
半角英字に変換されます

step 6 ひらがなにに変換

「F6」キーを押します

ひらがなに戻ります

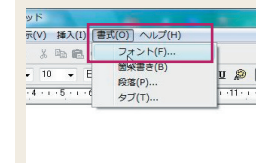
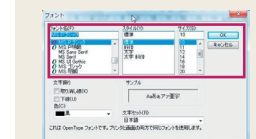
ワンポイント

はじめから入力文字を決めておくには

言語バーの「あ」をクリックすると、入力文字の種類を選択できます。例えば「半角英数」を選択した場合、言語バーには「A」と表示され、この状態で入力した文字は、半角英数になります。

▲入力文字種類を選択

テクニック

フォントの設定

フォントの変更を行うには、[書式]メニュー⇒[フォント]をクリックし、好きなフォントを選択します。

▲[書式]メニュー⇒[フォント]をクリック

▲好きなフォントを選択し、[OK]をクリック

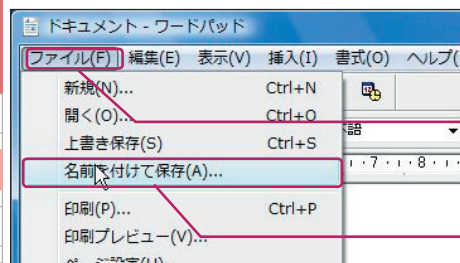
SECTION 11

文書をファイルに保存する

文書を作成しても、そのまま終了すると文書は消えてしまいます。文書を後ほど再度開きたい場合は、ファイルの保存が必要です。

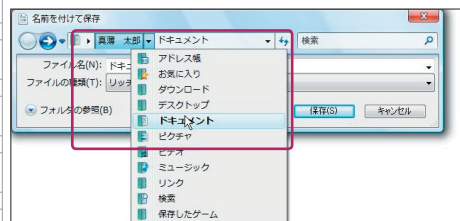
- 作成した文書をファイルに保存する
- ワードパッドの終了
- ファイル名について

ファイルに保存する

step 1 ［ファイル］→［名前をつけて保存］を選択する

作成した文書を保存しましょう

1 ［ファイル］をクリック

2 ［名前をつけて保存］をクリック

step 2 ［名前をつけて保存］の画面が表示される

プルダウンメニューで保存場所を選択

ここでは「ドキュメント」を選択しました

step 3 ファイル名を入力し、保存する

1 ファイル名を入力します

ここでは「日本語例文」と入力しました

2 ［保存］をクリック

ワンポイント

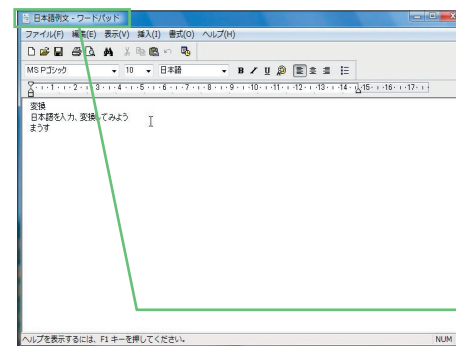
文書の保存

作成した文書は、次回以降、内容を保持したまま閲覧、編集を行うために保存が必要です。また、突然のアプリケーションの終了など予期せぬトラブルの際に文書を保存していないと、一から文書を作り直すことにもなりかねません。作成した文書は、適切な名前をつけて、こまめに保存を行いましょう。

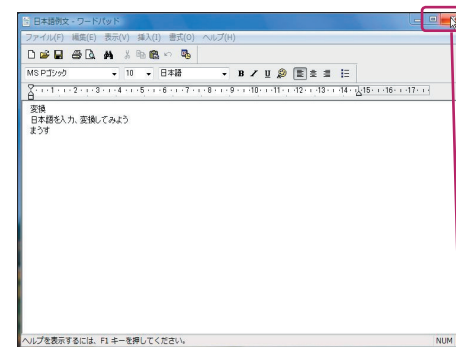
ワンポイント

ファイル名について

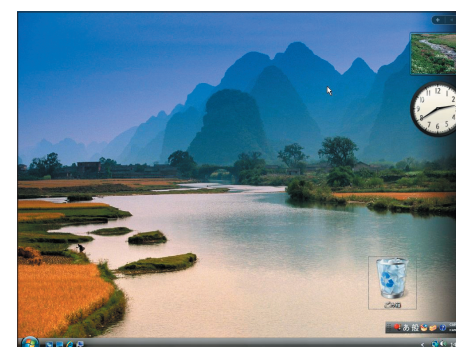
ファイル名の最大長は、半角で 255 文字、全角で 127 文字までとなっています。また､『』¥/:*?◇ 等の文字は、ファイル名に使用することは出来ません。

step 4 文書が保存される

タイトルバーに文書の名前が表示されます

ワードパッドを閉じる

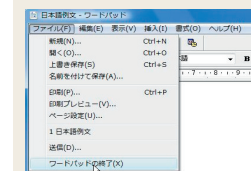
step 1 ［閉じる］ボタンをクリック

ワードパッドを閉じましょう

［閉じる］ボタンをクリックする

step 2 ワードパッドが終了する

ワードパッドが閉じました

テクニック

プログラムを終了する方法

［ファイル］メニューから「ワードパッドの終了」をクリックすることでも、ワードパッドを閉じることが出来ます。

▲［ワードパッドの終了］をクリック

ワンポイント

保存前に閉じるボタンを押すと

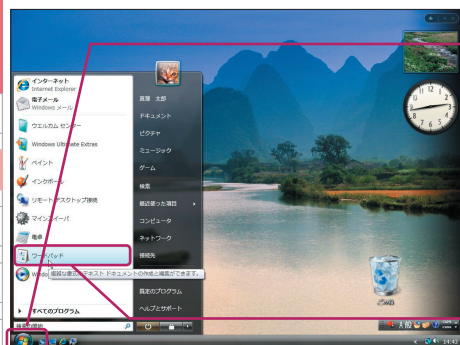
文書を保存する前に、ワードパッドを閉じようとすると、下のようなダイアログボックスが表示されます。「保存する」をクリックすることにより、文書を保存してからワードパッドを閉じることが出来ます。

保存した文書を開く

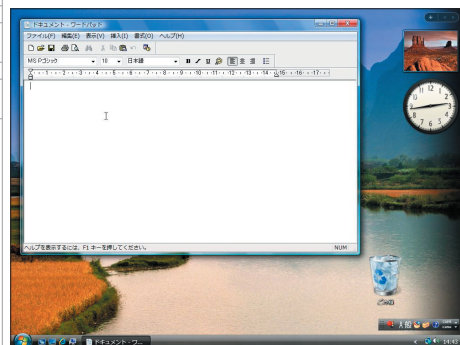
保存した文書は、好きなときに開いて編集することが出来ます。保存した文書を開いてみましょう。

☑保存した文書を開く

ワードパッドを起動

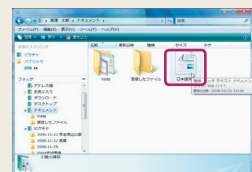
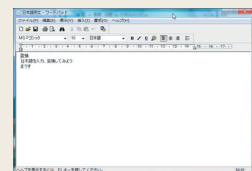
step 1 ［スタート］⇒［ワードパッド］を選択

1［スタート］をクリックする

2［ワードパッド］をクリックする

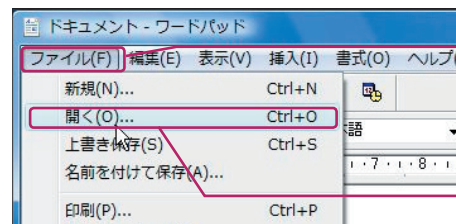
step 2 ワードパッドが起動する

ワードパッドが起動します

テクニック

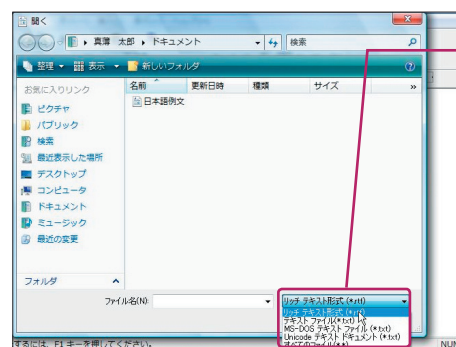
保存した文書を開く別の方法

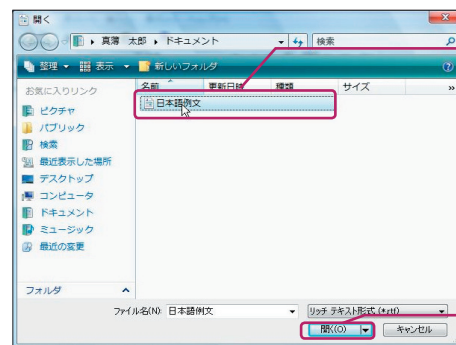
ここで示した方法以外にも、ファイルが保存されているフォルダを開き、開きたいファイルを直接ダブルクリックすることで、関連付けられたアプリケーションが自動的に起動し、ファイルを開くことが出来ます。

▲開きたいファイルを直接ダブルクリックする

▲ファイルが開く

保存してある文書を開く

step 1 ［ファイル］から［開く］を選択する

1［ファイル］をクリックする

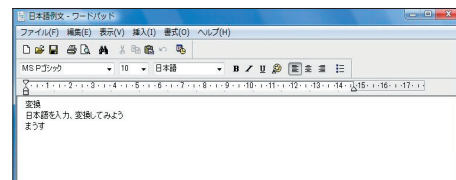
2［開く］をクリックする

step 2 ［開く］ダイアログボックスが表示される

ファイルの種類を「リッチテキスト形式」に選択

step 3 開きたいファイルを選択する

1開きたい文書ファイルをクリックして選択

ファイル名の項目に、読み込み可能なファイル名が表示されます。

2［開く］をクリック

step 4 選択したファイルが開く

選択したファイルが開きました

ワンポイント

ワードの文書も開くことが出来る

ワードパッドでは、Wordで作成したdocファイルも開くことが可能です。また、メモ帳などで作成したテキストファイル（txtファイル）も読み込み可能です。テキストファイルをワードパッドに読み込んだ後、フォントの変更、レイアウトの調整などを行うことも可能なので、本文のみを先にメモ帳などで作成しておき、全体的なレイアウトを後からワードパッドで行うといった使い方も可能です。

CHAPTER 3

ファイルと フォルダの操作

本章では、ファイルとフォルダの参照、表示、作成、選択、削除、検索、圧縮および解凍、データを DVD に書き込む方法を説明します。

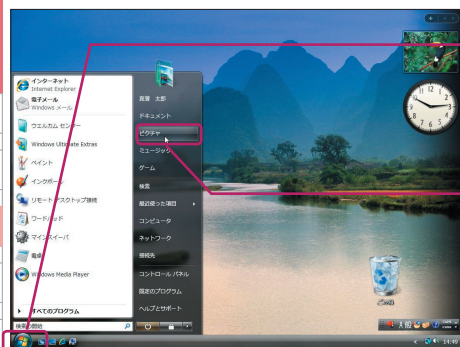
SECTION

13 フォルダの中身を参照する

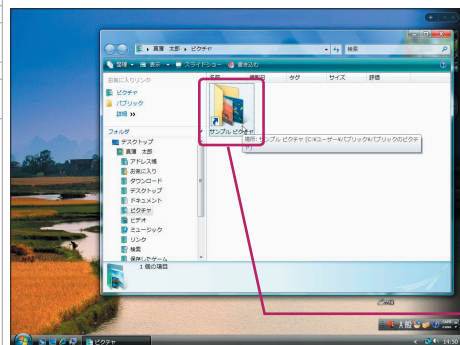
フォルダをダブルクリックすることで、フォルダの中身を参照することが出来ます。この作業が「フォルダを開く」です。

☑フォルダを開いて中身を参照する
☑［進む］［戻る］のボタンでのフォルダ移動

フォルダの内容を参照する

step 1 ［スタート］⇒「ピクチャ」を選択

1 ［スタート］をクリックする

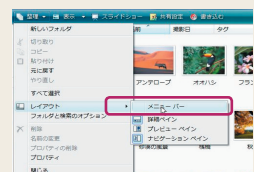
2 ［ピクチャ］をクリックする

step 2 ［ピクチャ］が開いた

［ピクチャ］が表示された

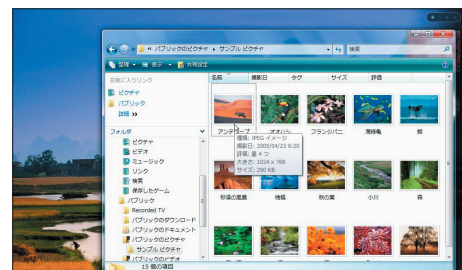
［サンプルピクチャ］をクリックする

ワンポイント

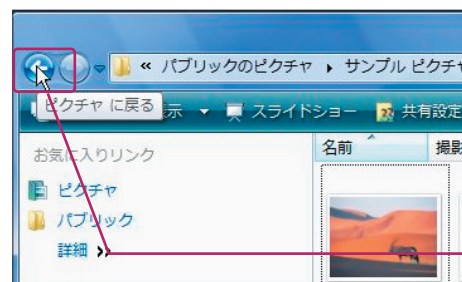
フォルダのメニューの表示

画面上部に、フォルダメニューを表示するには、［整理］⇒［レイアウト］⇒［メニューバー］をクリックします。

▲［メニューバー］をクリック

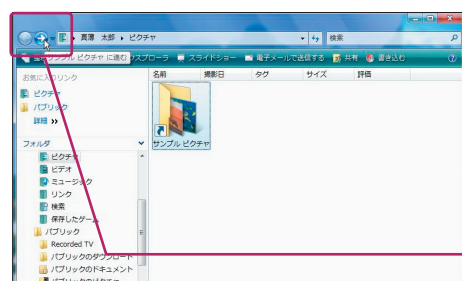
▲メニューバーが表示される

step 3 ［サンプルピクチャ］フォルダが開く

［サンプルピクチャ］フォルダの内容が表示されました

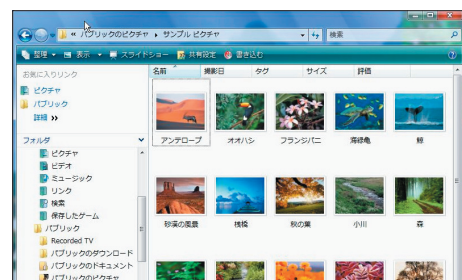
［戻る］［進む］ボタンでのフォルダの移動

step 1 ［戻る］ボタンをクリック

一つ前のフォルダに表示を戻してみましょう

［戻る］ボタンをクリックする

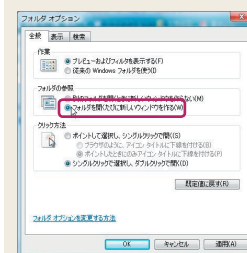
step 2 一つ前のフォルダが表示される

一つ前のフォルダが表示されます

［進む］ボタンをクリックする

step 3 戻る前のフォルダが表示される

戻る前のフォルダに進みました

テクニック

フォルダごとに、新しいウィンドウを開いて表示する

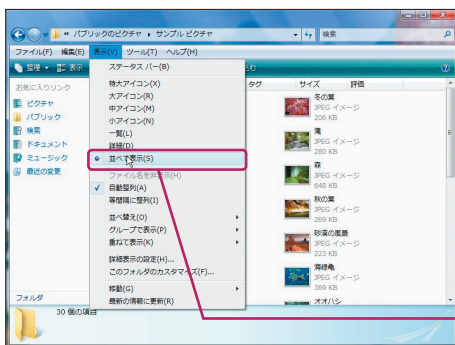
［ツール］⇒［フォルダオプション］を選択し、［全般］タブの中の［フォルダの参照］で［フォルダを開くたびに新しいウィンドウを作る」にチェックを入れると、フォルダを開くたびに新しいウィンドウが開くようになります。

▲ここにチェックする

ファイルやフォルダの一覧を表示する

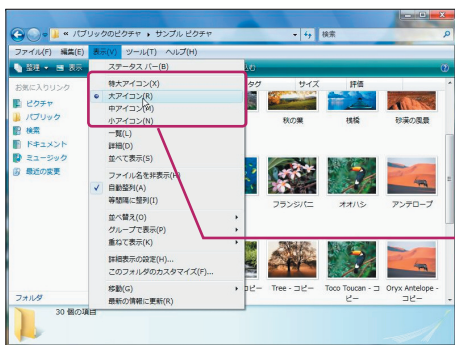
ファイルやフォルダをダブルクリックすると、内容の一覧が表示されます。表示方法には、様々なものがあります。

- ☑ファイルやフォルダの各表示形式について
- ☑ファイルやフォルダの表示方法の変更について
- ☑データの並び替え・自動整列

ファイル・フォルダの表示形式

step 1 並べて表示

ファイルやフォルダが整列して表示されます

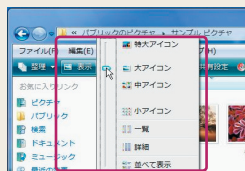
［表示］メニューより、［並べて表示］を選択

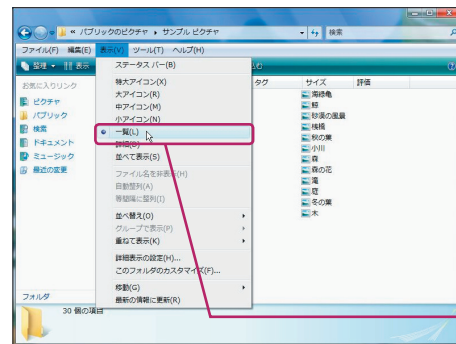
step 2 アイコン

フォルダやファイルがアイコンとして表示されます

［表示］メニューより、
・［特大アイコン］
・［大アイコン］
・［中アイコン］
・［小アイコン］
いずれかを選択

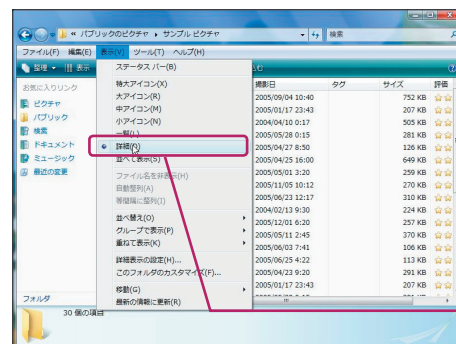
テクニック

ツールバーの表示スライダーから表示形式を選択する

ツールバーの［表示］ボタンをクリックし、［表示スライダー］で表示形式を切り替えることも出来ます。

▲［表示］ボタンと［表示スライダー］

step 3 一覧

ファイルやフォルダの表示が小さくなり、一覧として表示されます

［表示］メニューより、［一覧］を選択

step 4 並べて表示

ファイルやフォルダの形式やサイズなどを詳細表示します

［表示］メニューより、［並べて表示］を選択

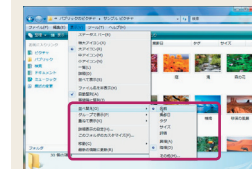
テクニック

データの並び替え

［表示］メニュー⇒［並び替え］より、ファイルを並び替えることが出来ます。［名前］［サイズ］、［撮影日］［タグ］［評価］など、様々な基準で並び替えることが出来ます

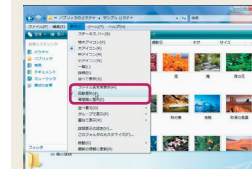
▲［並び替え］

テクニック

自動整列

［表示］メニュー⇒［自動整列］にチェックを入れると、フォルダの中に配置したファイルが、自動で整列されます。

▲自動整列

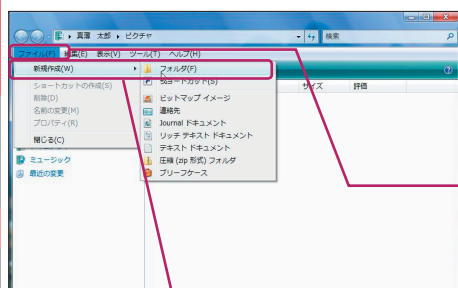
CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

SECTION

15 ファイルやフォルダを作成する

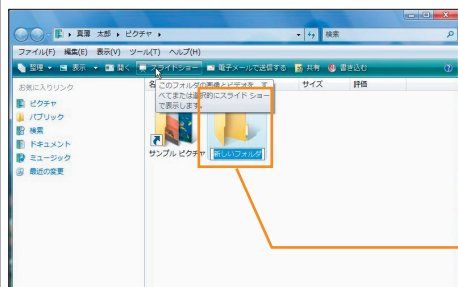
新しいファイルやフォルダを使いたい場合は、新規作成する必要があります。
ファイルやフォルダを新規作成してみましょう

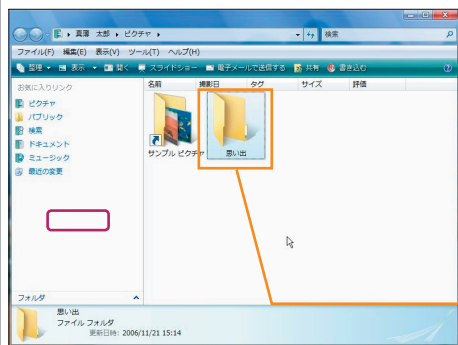
☑フォルダ・ファイルを新規作成する方法
☑フォルダ・ファイルの名前を変更する方法

フォルダを作成

step 1 フォルダを作成する場所を開く

例として［ピクチャ］内に新しくフォルダを作成します

1［ピクチャ］フォルダを開いて［ファイル］をクリック

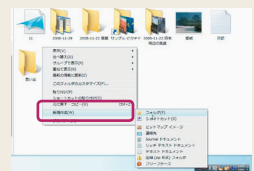
2［新規作成］⇒［フォルダ］の順にクリック

［新しいフォルダ］が作成されました

step 2 フォルダの名前を変更する

フォルダ名として「思い出」と入力し、「Enter」キーを押す

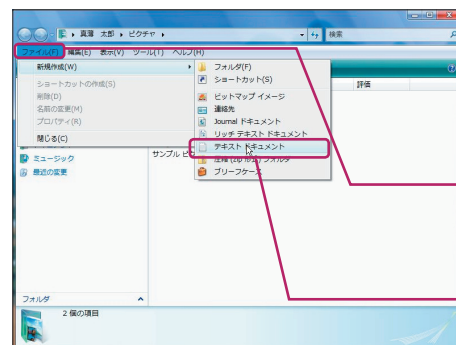
［思い出］フォルダが作成されました

テクニック

右クリックでフォルダ・ファイルを新規作成

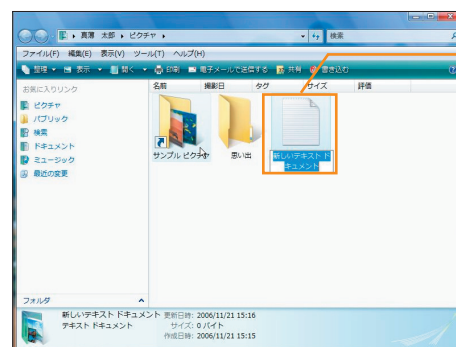
フォルダやデスクトップの開いている場所で右クリックをし、［新規作成］⇒［作成したいもの］をクリックすることでも、フォルダやファイルを新規作成することが出来ます。

▲［右クリック］⇒［新規作成］から、作成したいものをクリックする。

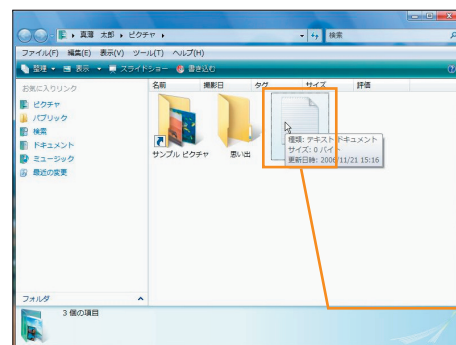
ファイルを作成する

step 1 ファイルを作成する場所を開く

例として、テキストファイルを新規に作成して見ましょう

1［ピクチャ］フォルダを開いて［ファイル］をクリック

2［新規作成］⇒［テキストドキュメント］の順にクリック

step 2 ファイルが新規作成された

［新しいテキストドキュメント］が作成されました

step 3 ファイル名を変更する

ファイル名が青く反転している状態で「日記」と入力し、「Enter」キーを押します

「日記」と言う名前のテキストファイルが作成されました

ワンポイント

作成したファイルの編集

ここで作成したテキストドキュメントは、何も入力されていない空の状態です。作成したファイルをダブルクリックすると、ワードパッドが起動しますので、ここから内容の編集、保存を行ってください。

ワンポイント

アプリケーションでのファイル新規作成

ワードパッドで内容を編集後、［名前をつけて保存］から、ファイルに名前をつけて保存した場合は、その名前のファイルが新規作成されることになります。通常は、この方法で新規ファイルが作成されます。

注意

同じ名前のファイル、フォルダは作成できない

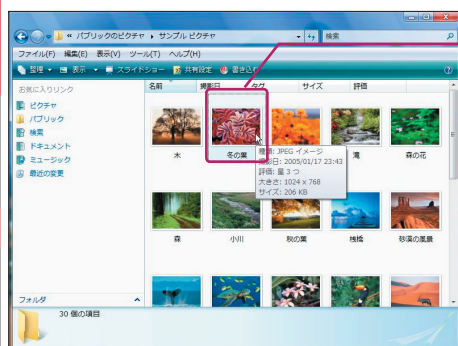
一つのドライブ、およびフォルダ内に、同じ名前のファイル、フォルダを2つ作成することは出来ません。同じ名前のファイルを作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。同じ内容のファイルを同じフォルダに保存する場合は、末尾に一文字文字を加えるなどして、ファイル名を別のものにする必要があります。

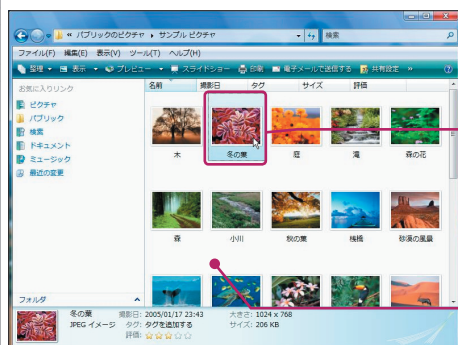
ファイルやフォルダを選択する

ファイルやフォルダを操作するためには、ファイルやフォルダを選択しなければなりません。ファイルやフォルダの選択方法を説明します。

- ☑操作したいファイルを選択する
- ☑連続したファイルを一度で選択する
- ☑ファイルをすべて選択する

ファイルを一つ選択する場合

step 1 選択するファイルをクリックする

ファイルをクリックする

step 2 ファイルが選択される

そのファイルが選択される

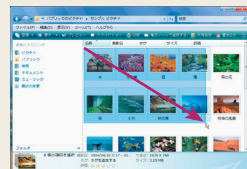
選択されるたファイルは青く反転します

何もない場所をクリック

テクニック 離れた場所にある複数のファイルを選択する場合

▲最初のファイルをクリック

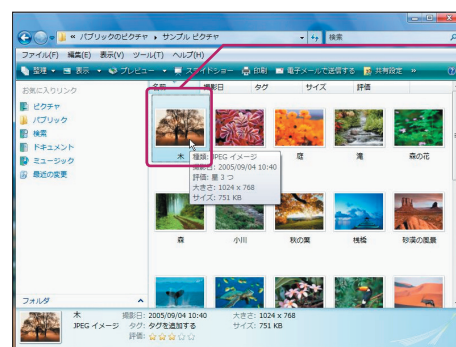
▲その他のファイルを「Ctrl」キーを押しながらクリック

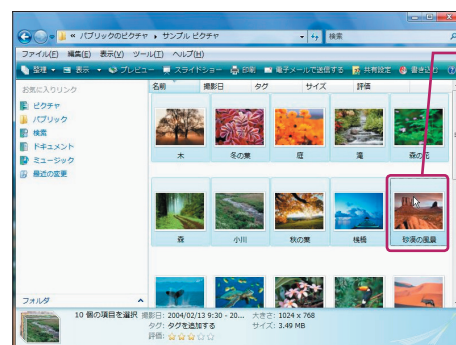
テクニック 範囲指定で複数のファイルを選択する

▲選択したいファイル範囲をドラッグする

step 3 選択が解除された

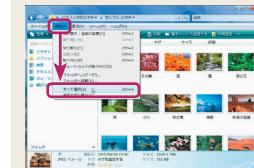
選択が解除されます

連続している複数ファイルを選択する

step 1 始めのファイルをクリック

始めのファイルをクリック

step 2 連続しているファイルが複数選択できた

最後のファイルを「Shift」キーを押しながらクリックする

連続しているファイルが選択されます

テクニック すべてのファイルを選択する場合

▲［編集］メニューから［すべて選択］をクリック

▲すべてのファイルが選択されます

テクニック 個別に選択を解除する

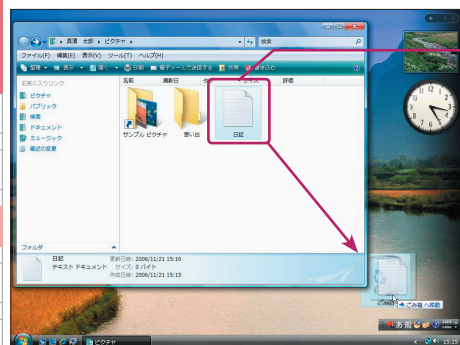
▲選択を解除したいファイルを「Ctrl」キーを押しながらクリック

17 ファイルやフォルダを削除する

不要になったファイルやフォルダは削除して、整理しましょう。ファイルの削除は、不要なファイルをごみ箱へドラッグします。

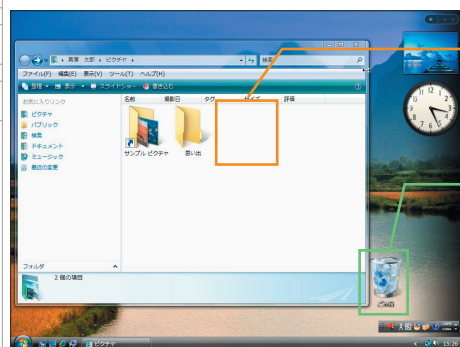
☑ファイルやフォルダの削除
☑ごみ箱からファイルを完全に削除する

ファイルを削除する

step 1 削除するファイルを[ごみ箱]にドラッグする

削除したいファイルを[ごみ箱]にドラッグ

[ごみ箱]が選択状態になります

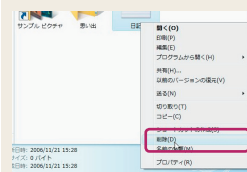
マウスのボタンを離してドロップします

step 2 ファイルが削除された

ファイルが消えます

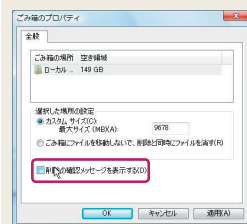
[ごみ箱]の形が変わります

フォルダも同様に削除できます

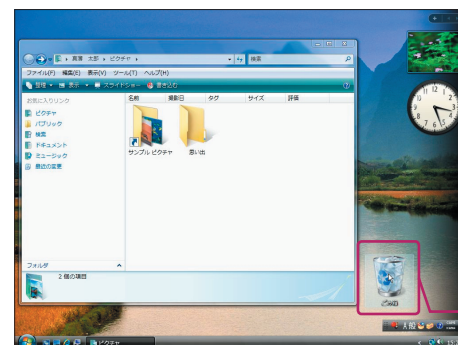
テクニック ファイルを削除する

ファイルを右クリックして表示されるショートカットから[削除]をクリックしても、ファイルを削除できます。

▲[削除]をクリック

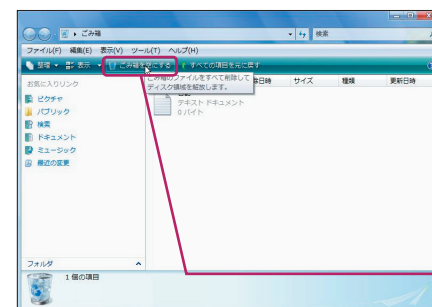
テクニック 削除の際に、確認メッセージを表示しない

ファイルを削除する際に表示される確認メッセージは、[ごみ箱]を右クリックし[プロパティ]を開き、[削除の確認メッセージを表示]をオフにすると表示されなくなります。

▲[削除の確認メッセージを表示する]のチェックを外す

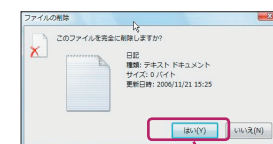
ファイルを完全に削除する

step 1 [ごみ箱]の中身を表示する

[ごみ箱]に入ったファイルを完全に削除してみましょう

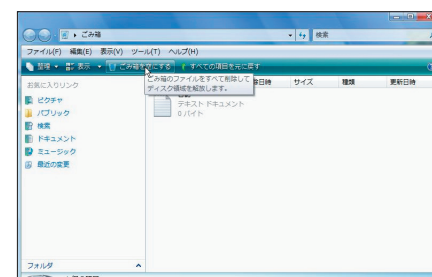
[ごみ箱]をダブルクリックする

step 2 [ごみ箱]が開いた

[ごみ箱]の中身が表示される

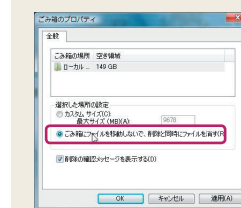
[ごみ箱を空にする]をクリックする

step 3 削除の確認メッセージが表示されます

確認のダイアログボックスが表示されます

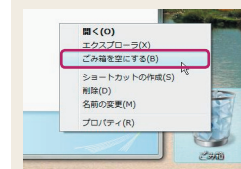
[ごみ箱を空にする]をクリックする

step 4 ファイルが完全に削除される

[ごみ箱]から削除されました

テクニック ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す

通常、削除したファイルは一度ごみ箱に移動します。[ごみ箱]アイコンを右クリック⇒[プロパティ]⇒[ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す]にチェックを入れると、ごみ箱にファイルを移動することなく、パソコン上から直接ファイルを削除することが出来るようになります。ただし、この方式でファイルを削除すると、ファイルを間違って削除した場合に復元が出来ないので、注意してください。

▲[ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す]にチェックを入れる

テクニック ごみ箱を空にする方法

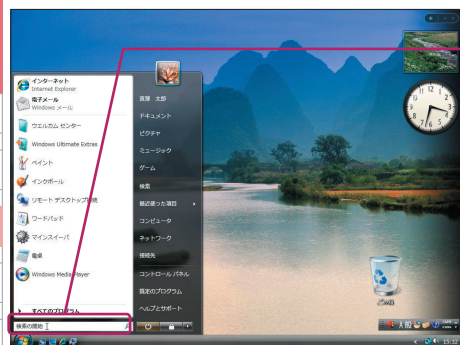
[ごみ箱]を右クリックして表示されるメニューから、[ごみ箱を空にする]を選択してもごみ箱を空に出来ます。

▲[ごみ箱を空にする]をクリック

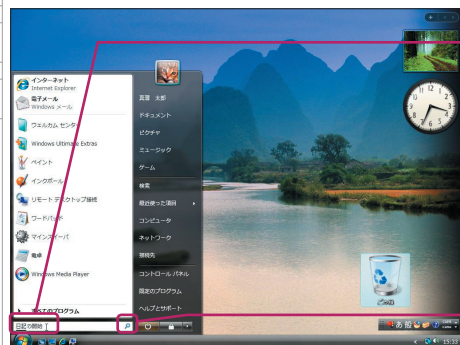
ファイルを検索する

ファイルが見つからない場合などは、ファイルの検索機能を活用し、目的のファイルを見つけることが出来ます

- ☑ファイル名からファイルの検索を行う
- ☑ファイルに含まれる文字から、ファイルの検索を行う

ファイル名からファイルの検索を行う

step 1 ［スタート］メニューから［検索の開始］をクリックする

［スタート］ボタンをクリックして、［検索の開始］をクリック

step 2 検索ワードを入力する

1 検索ワードを入力する

2 検索ボタンをクリックする

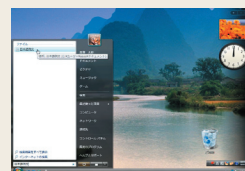
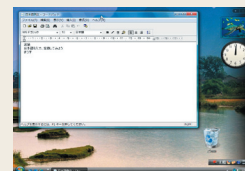
ワンポイント

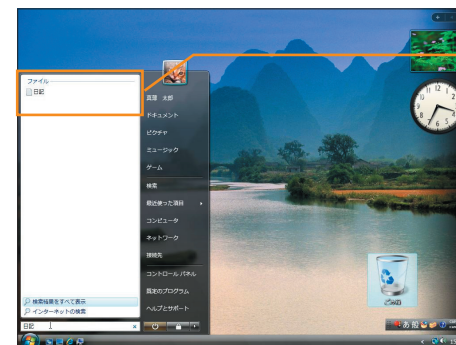
ファイル名の一部でも検索は可能

ファイル名をすべて入力せず、一部のみを入力してもファイルの検索は可能です

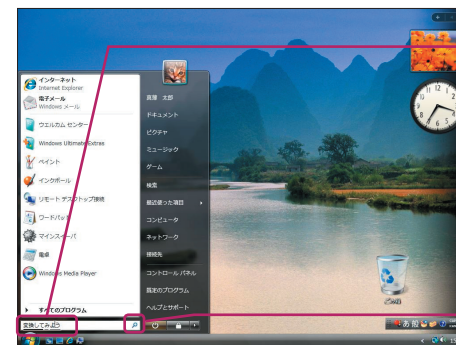
テクニック

検索したファイルを直接開く

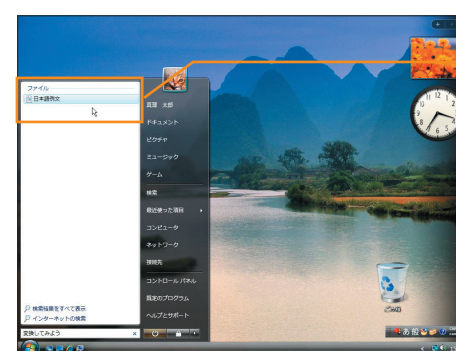
検索結果欄に表示されたファイルをダブルクリックすると、ファイルを直接開くことが可能です。

▲検索にヒットしたファイルをダブルクリック

▲ファイルが開く

step 3 検索結果が表示された

検索結果が表示されました

ファイルに含まれる文字で検索を行う

step 1 検索ワードを入力し、検索ボタンをクリックする

1 検索ワードを入力する

2 検索ボタンをクリックする

step 2 検索結果が表示される

検索結果が表示されました

テクニック

詳細な検索

［スタート］メニュー⇒［検索］をクリックすることにより、検索メニュー画面が開きます。ここから、より詳細に検索条件を指定してファイル検索を行うことが可能です

▲［スタート］メニュー⇒［検索］をクリック

▲［検索］画面が開く

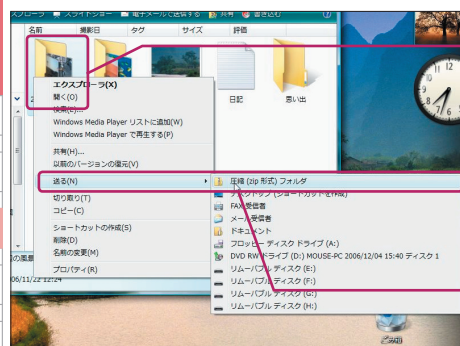
▲［高度な検索］をクリックすると、より詳細に検索条件を指定してファイル検索が可能。

ファイルやフォルダの圧縮と解凍

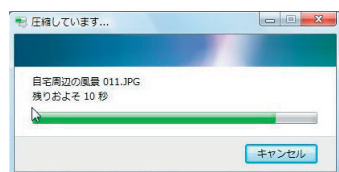
ファイルやフォルダは「圧縮」と呼ばれる作業を行うことで、容量を減らすことが出来ます。ここでは、フォルダの圧縮と解凍について説明します。

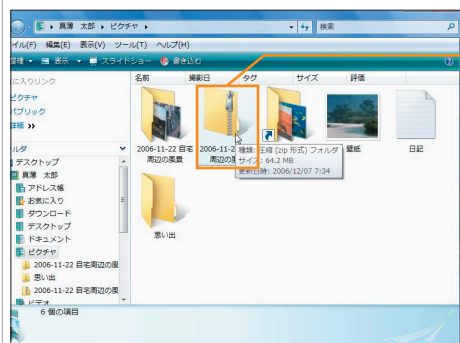
☑ファイル・フォルダの圧縮
☑ファイル・フォルダの解凍

フォルダを圧縮する

step 1 圧縮したいフォルダを右クリックする

1 圧縮したいフォルダを右クリックする

2 メニューの中から［送る］⇒［圧縮（zip形式）フォルダ］をクリック

step 2 フォルダの圧縮が開始される

フォルダの圧縮が開始されます。そのままお待ちください

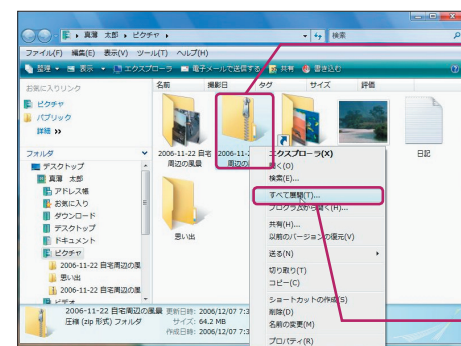
step 3 フォルダの圧縮が完了する

フォルダの圧縮が完了し、圧縮したフォルダが作成されました

ワンポイント

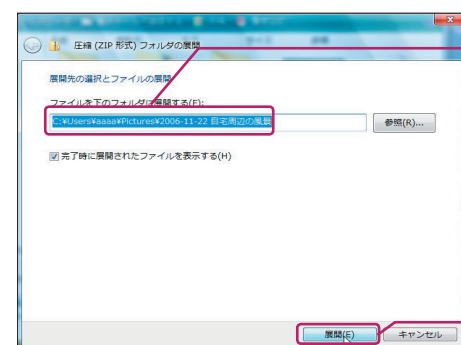
圧縮ファイルとは

圧縮ファイルは、圧縮されていないファイルに比べて使用する記憶域が少なく、他のコンピュータへの転送時間もより短くなります。圧縮ファイルと圧縮フォルダは、圧縮されていないファイルやフォルダと同じように扱うことができます。また、複数のファイルを1つの圧縮フォルダとしてまとめることができます。こうすることにより、電子メール メッセージの添付が複数のファイルではなく1つのフォルダだけで済むため、複数ファイルの共有がより容易になります。

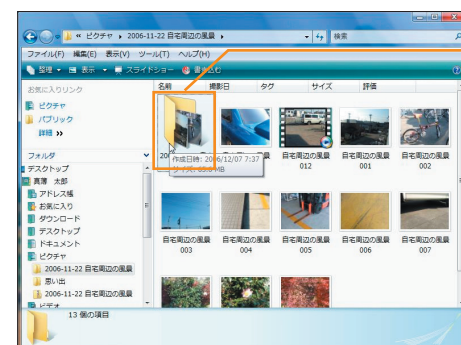
圧縮したフォルダを解凍する

step 1 解凍したいフォルダを右クリックする

1 解凍したいフォルダを右クリックする

2［すべて展開］をクリックする

step 2 解凍するフォルダの展開先を選択する

1 解凍したファイルを展開する場所を選択

2［展開］をクリックする

step 3 フォルダが解凍される

フォルダの解凍が完了した。

ワンポイント

圧縮の形式

ファイルを圧縮する形式には、zipのほかに、LZH、RARといった形式があります。WindowsVistaで圧縮・解凍を行えるのはzip形式のみとなります。他の圧縮形式を使用するには、別途アプリケーションを使用する必要があります。

SECTION 20

DVDにデータを書き込むには

WindowsVistaでは、DVD-R/RWメディアにデータを書き込む機能があります。DVD-Rに、データを書き込んでみましょう。

- ☑ DVD-R/-RWにデータを書き込む
- ☑ CD-R/RWにデータを書き込む
- ☑ ライティングソフトを使用した書き込み

DVD-Rにデータを書き込む準備をする

step 1 空のDVD-Rメディアを光学ドライブに挿入する

空のDVD-Rメディアを光学ドライブに挿入します

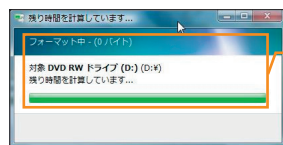
[自動再生]メニューが起動します

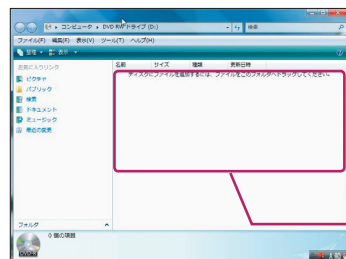
[ファイルをディスクに書き込む]をクリック

step 2 書き込むディスクの名前をつける

1 書き込むディスクの名前をつける

2 [次へ]をクリック

step 3 ディスクのフォーマットが開始されます

ディスクのフォーマットが開始されます

step 4 DVDにデータを書き込む準備が出来た

DVDにデータを書き込む準備が出来ました

ここに書き込みたいファイルをドラッグします

ワンポイント

CD-Rに書き込みも出来る

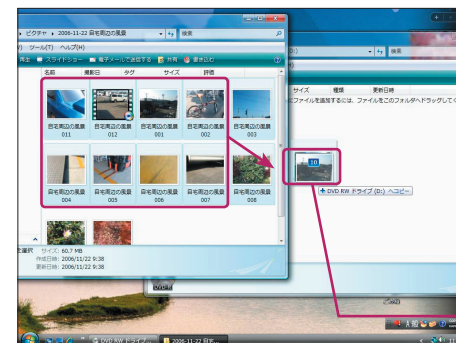
DVD-Rに書き込むのと同様の操作で、CD-Rにデータを書き込むことが出来ます。書き込むデータの容量により、メディアを使い分けましょう。

ワンポイント

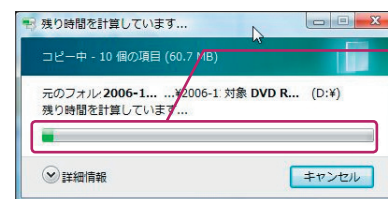
データファイルの書き込み

ここではデータファイルを直接DVD-Rに書き込む方法を説明しています。大切なデータをバックアップしたい場合などは、WindowsVistaのバックアップ機能を使うほかに、ここで示したように直接データファイルをDVD-Rに書き込む方法もあります。一つ一つ書き込みたいファイルを確認しながら書き込む場合などは、こちらの方が便利です。

DVDにデータを書き込む

step 1 DVDに書き込むデータを選択する

1 書き込みたいファイルを選択し

2 書き込み領域にドラッグする

step 2 DVDに書き込みが開始されます

DVDの書き込みが開始されます

step 3 DVDの書き込みが完了した

ファイルがDVDに書き込みされました

ワンポイント

ライティングソフトを使用した書き込み

WindowsVistaでは、標準でCD/DVDメディアへの書き込み機能をサポートしていますが、より詳細な設定を行いメディアの書き込みを行いたい場合や、ブルーレイディスクなどの新しい規格のメディアにデータを書き込みたい場合は、市販のライティングソフトと呼ばれる書き込みソフトを別途使用する必要があります。

インターネットとメール

本章では、Internet Explorer 7.0を使用したWeb閲覧と、Windowsメールを使用した電子メールの活用について説明します。

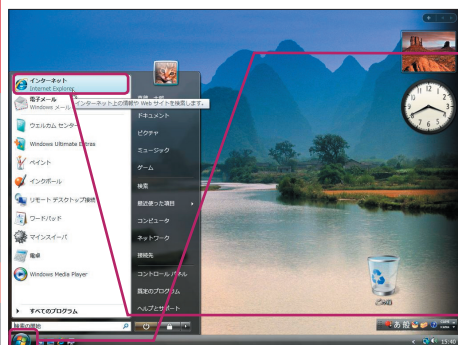
SECTION 21

InternetExplorer7.0の起動・終了

InternetExplorer7.0 は、インターネット閲覧を行うための基本ブラウザソフトです。まずは、InternetExplorer7.0 を起動・終了してみましょう。

- ☑ InternetExplorer7.0 を起動してみる
- ☑ InternetExplorer7.0 を終了してみる

InternetExplorer7.0 を起動する

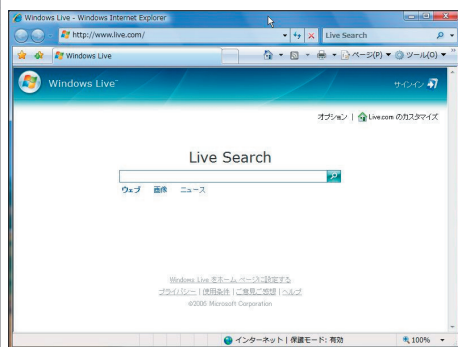
step 1 ［スタート］メニュー⇒［インターネット］をクリックする

1［スタート］をクリック

2［インターネット］をクリック

テクニック

InternetExplorer7.0 を起動する

［スタート］⇒［すべてのプログラム］⇒［InternetExplorer］をクリックすることでも、InternetExplorer7.0 を起動できます。

step 2 InternetExplorer7.0 が起動する

InternetExplorer7.0 が起動します

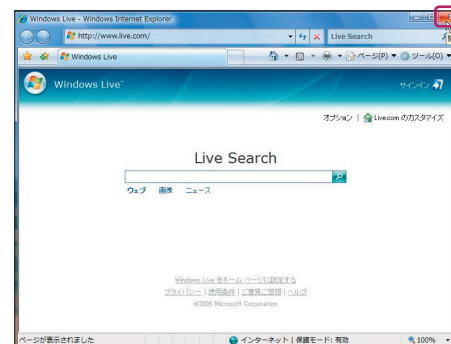
InternetExplorer7.0 を終了する

step 1 ［閉じる］ボタンをクリック

［閉じる］ボタンをクリックする

テクニック

InternetExplorer7.0 を終了する

［ファイル］メニュー⇒［閉じる］をクリックする事でも、InternetExplorer7.0 を終了することが出来ます。

step 2 InternetExplorer7.0 が終了しました

InternetExplorer7.0 が終了しました

SECTION 22

InternetExplorer7.0の画面構成

InternetExplorer7.0 の画面構成を確認しましょう

- ☑ InternetExplorer7.0 の画面構成
- ☑ 各機能の役割

InternetExplorer7.0

タイトルバー

現在表示されているホームページの名前が表示されます。オフライン時には、[オフライン作業]と表示されます。

[進む][戻る]ボタン

一つ前のホームページを表示したり、戻ったりする際に使用します。

メニューバー

各メニューを表示します。メニュー名をクリックすることで、プルダウンメニューが表示され、操作を選択することが出来ます。

アドレスバー

現在表示されているホームページのアドレスが表示されます。ここにアドレスを直接入力することにより、ホームページに移動することが出来ます

エクスプローラーバー

[お気に入り][履歴]などの一覧を表示する領域です。表示する項目は、領域上部にあるボタンで切り替え可能です。

タブ

複数ホームページを、一つのブラウザ画面内で切り替える[タブブラウザ機能]のタブ項目です。複数ホームページがタブにより開かれている場合は、各タブにホームページ名が表示されます

Live Search

インターネットの検索を行います

ツールバー

一般的な機能がボタン形式で登録されています。ボタンをクリックすることにより、ホームページに移動したり、プリントを行ったり各種コマンドを実行できます。

表示エリア

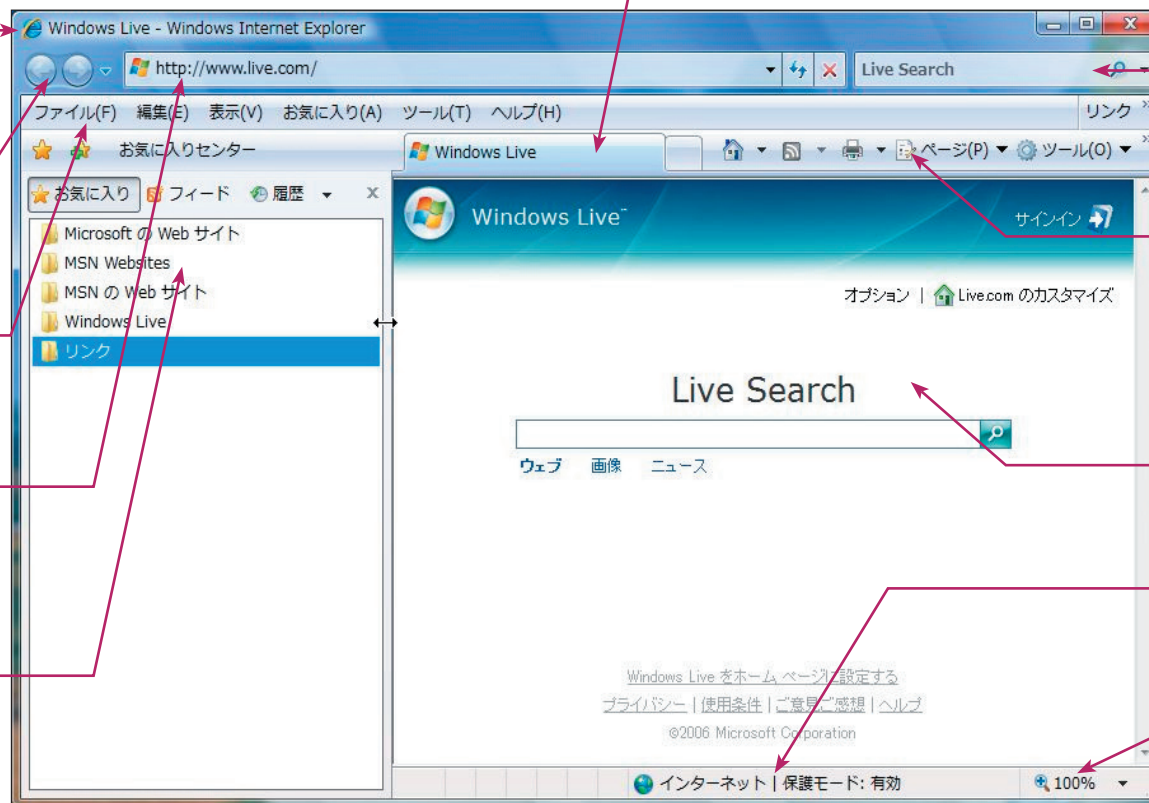
ここに、ホームページの内容が表示されます。

セキュリティゾーン

現在表示されているホームページのセキュリティレベルを表示します。

ズームボタン

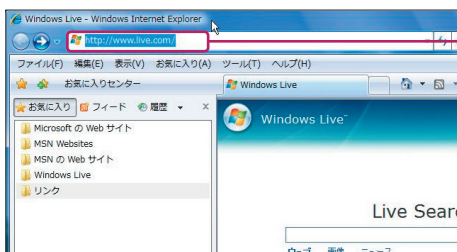
ホームページの表示拡大率をここで調整できます。

SECTION 23

ホームページを参照する

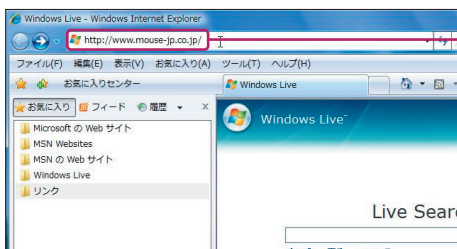
アドレスバーに直接アドレスを入力し、ホームページを表示したり、リンクをクリックしてホームページを表示してみましょう。

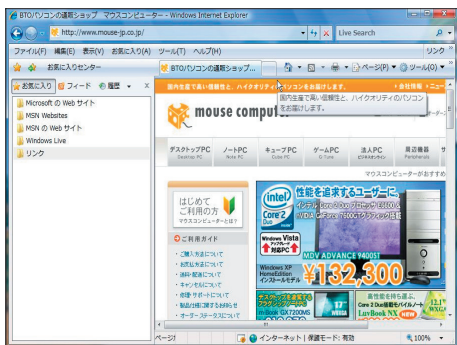
- ☑直接 URL を入力してホームページを表示する
- ☑リンク先をクリックしてホームページを表示する
- ☑【戻る】【進む】ボタンでページを移動する

アドレスバーに URL を直接入力する

step 1 アドレスバーをクリックする

アドレスバーをクリックする

アドレスバーの URL が選択状態になります

step 2 URL を直接入力する

アドレスバーに URL を直接入力し、「Enter」キーを押す。

step 3 ホームページが表示されます

しばらくすると、ホームページが表示されます

ワンポイント

URL とは

URL とは、ホームページのアドレスの事を言います。URL の入力が、一文字でも間違っていると、ホームページを正しく表示することが出来ません。大文字、小文字の区別もされるので、しっかり確認しながら入力を行ってください。

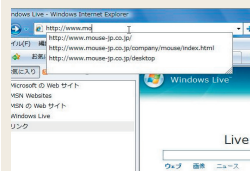
注意

「ページが表示できません」と表示された場合

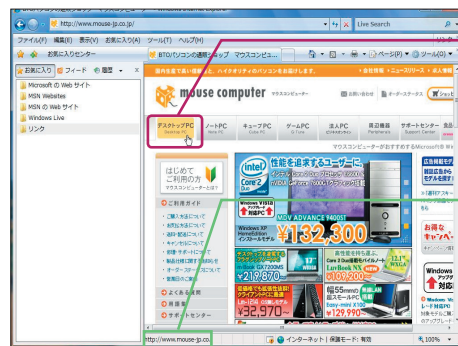
URL の入力が間違っているか、指定したホームページが削除されてしまっている可能性があります

ワンポイント

オートコンプリート機能

一度入力した URL は、すべて記憶されます。以前入力した URL を途中まで入力すると、候補の一覧がプルダウンで表示されます。

▲↑↓キーで候補を選択

リンク先を表示する

step 1 アドレスバーをクリックする

1 リンク先にマウスポインタを合わせる

マウスポインタが手の形に変わる

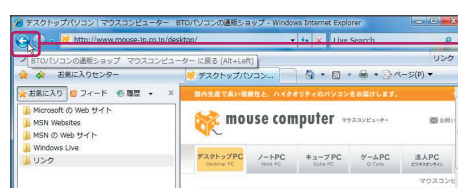
リンク先の URL が表示される

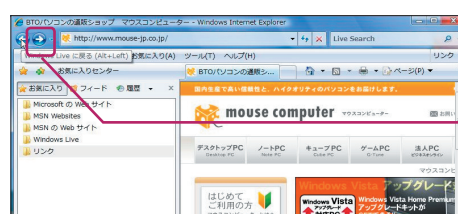
2 マウスをクリック

step 2 リンク先が表示される

リンク先のホームページが表示されます

【戻る】【進む】ボタンでページを移動する

step 1 【戻る】ボタンをクリックする

【戻る】ボタンをクリックする

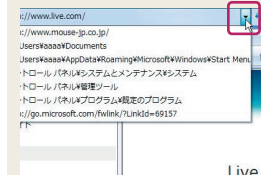
step 2 一つ前のホームページが表示される。

一つ前のホームページが表示されます

【進む】ボタンをクリックする

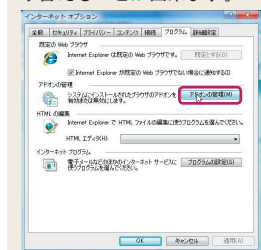
戻る前のホームページが表示されます

ワンポイント

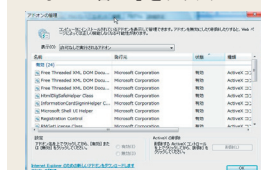
過去に入力した URL よりアドレスを選択する

過去に入力した URL は、アドレスバーの右端にある ▼ ボタンをクリックすることにより一覧表示させることが出来ます

テクニック

不要なアドオンを無効にする

アドオンとは WEB ブラウザの機能を強化するものですが、これがインターネット閲覧の障害になることもあります。[ツール]メニュー⇒「インターネットオプション」⇒「プログラム」タブ⇒「アドオンの管理」で、不要なアドオンを無効に切り替えることが出来ます。

▲[プログラム]タブの[アドオンの管理]をクリック

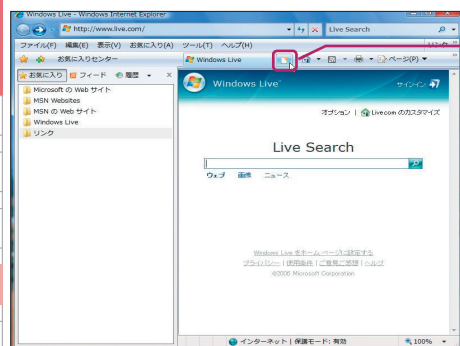
▲不要なアドオンを無効にする

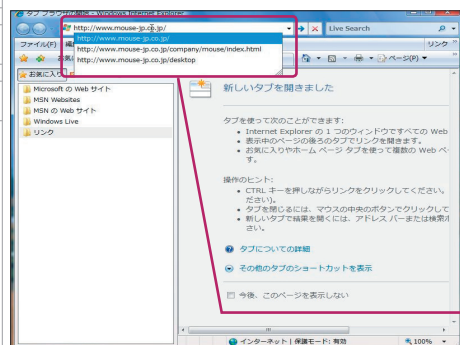
SECTION 24

タブブラウザ機能について

InternetExplorer7.0 には、一つのブラウザ内で複数のホームページを閲覧することが出来る、タブブラウザ機能が搭載されています。

- ☑新しいタブでホームページを開く
- ☑タブを閉じる
- ☑クイックタブ機能

新しいタブを開く

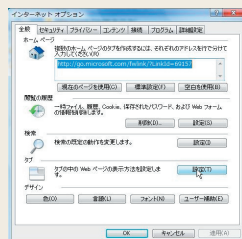
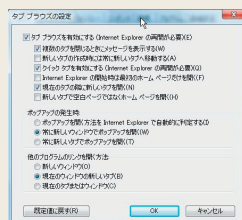
step 1 「新しいタブ」ボタンをクリックする

「新しいタブ」ボタンをクリックする

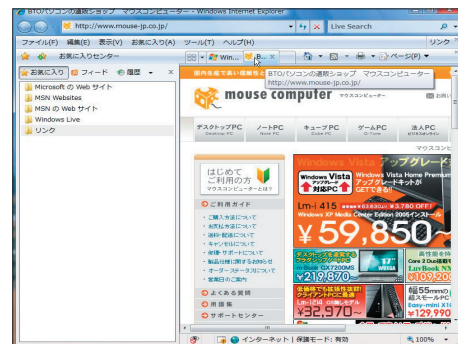
step 2 新しいタブが開く

新しいタブが開きます

アドレスバーから URL を指定して、「Enter」を押す

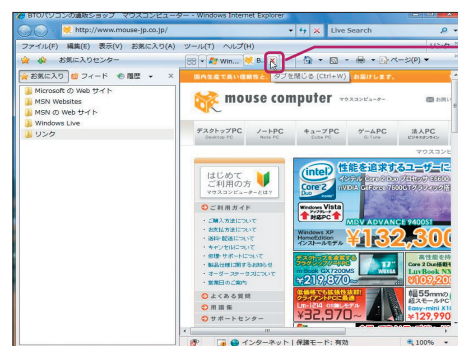
テクニック

タブの詳細設定

［ツール］⇒「インターネットオプション」⇒「全般」タブ⇒「タブ」の右にある「設定」ボタンをクリックすることで、タブ機能の詳細を設定することが出来ます。

▲「タブ」の右にある「設定」ボタンをクリック

▲「タブ」機能の詳細を設定することが出来る

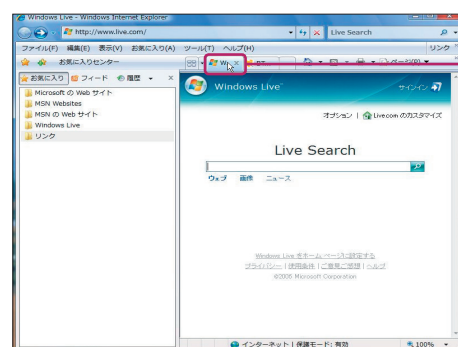
step 3 新しいタブ上でホームページが開く

新しいタブ上で指定したホームページが開きます

タブを閉じる

step 1 「タブを閉じる」ボタンをクリックする

「タブを閉じる」ボタンをクリックする

タブが閉じます

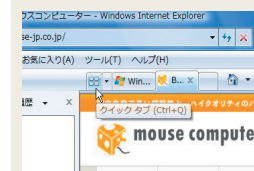
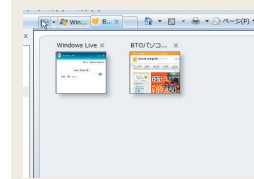
タブを移動する

step 1 移動したいタブをクリック

移動したいタブにカーソルを合わせクリック

タブが移動します

テクニック

クイックタブ機能

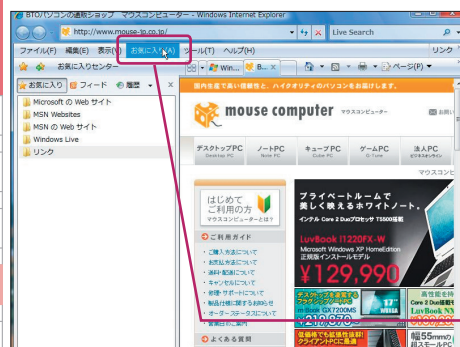
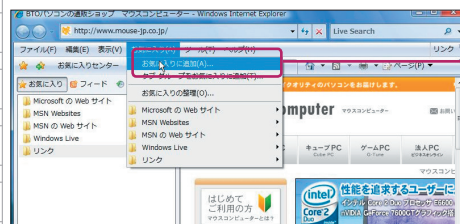
タブの左側にある「クイックタブ」ボタンをクリックすると、現在開いているタブを一覧から選択することが出来ます。

▲「クイックタブ」ボタン

▲一覧より、タブを選択することができる

ホームページを「お気に入り」に登録する

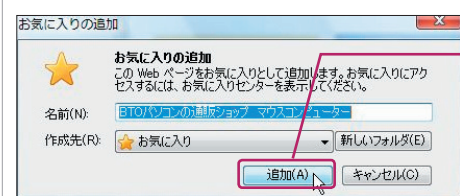
ホームページを「お気に入りに登録しておくことにより、たびたび訪問するホームページへのアクセスが容易になります。

☑ホームページを［お気に入り］に登録する
☑［お気に入り］に登録したページにアクセスする

ホームページをお気に入りに登録する

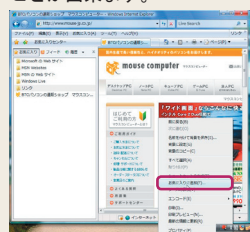
step 1 お気に入りに登録したいページを表示

［お気に入り］に登録したいページを表示しておきます

1［お気に入り］をクリック

2［お気に入りに追加］をクリック

step 2 ［お気に入りに追加］ダイアログボックスが開く

［追加］ボタンをクリック

テクニック

お気に入りに登録する方法

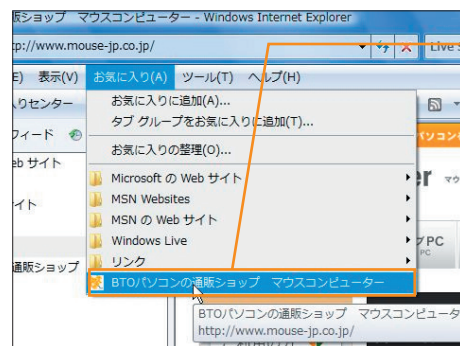
ホームページ上で右クリック⇒「お気に入りに追加」を選択しても、お気に入りにホームページを追加することが出来ます。

▲右クリック⇒お気に入りに追加

step 3 お気に入りにホームページが追加された

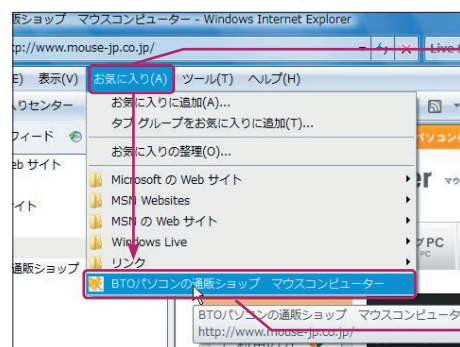
ホームページがお気に入りメニューの中に追加されました

テクニック

履歴欄からお気に入りに登録する

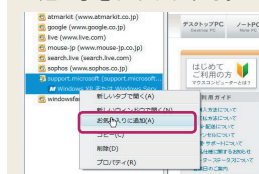
履歴欄からお気に入りに登録することも出来ます。履歴のリストからお気に入りに追加したいサイトを右クリックして、「お気に入りに追加」をクリックする。

▲右クリック⇒お気に入りに追加

お気に入りのページを表示する

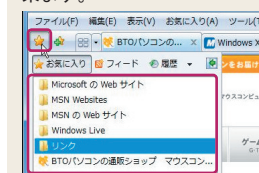
step 1 ［お気に入り］からホームページをクリックする

1［お気に入り］をクリック

2 表示したいページ名をクリック

step 2 クリックしたページが表示される

クリックしたページが表示される

テクニック

［お気に入り］のエクスプローラーバー

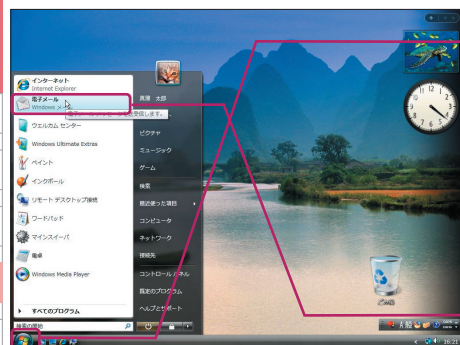
ツールバーの［お気に入り］ボタンをクリックすると、お気に入りの一覧が画面左のエクスプローラーバーに表示されます。ここから、お気に入りのページに移動したり、お気に入りにページを登録することが出来ます。

▲［お気に入り］ボタンをクリックすると、画面左側にお気に入りエクスプローラーバーが表示されます。

Windows メールの起動

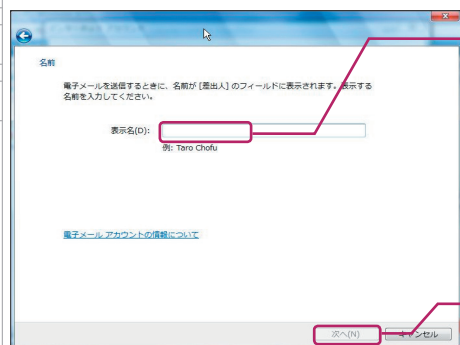
Windows メールは、WindowsVista 標準のメールソフトです。ここでは、Windows メールの初回起動時の設定方法を行います。

- Windows メールを始めて起動する場合
- Windows メールを終了する
- メールアカウントを修正する

Windows メールを初めて起動する場合

step 1 Windows メールを起動する

1 [スタート] ボタンをクリックする

2 [電子メール] をクリックする

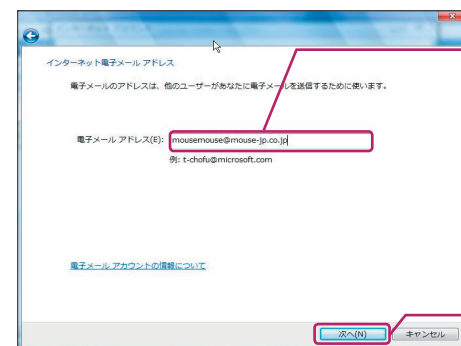
step 2 接続ウィザードが起動します

1 表示名を入力する

2 [次へ] ボタンをクリックする

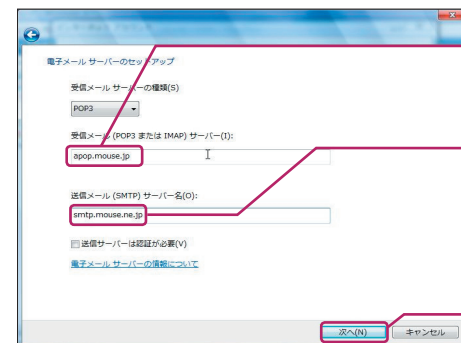
ワンポイント

Windows メールとは

以前の Windows における [Outlook Express] に代わる、WindowsVista 標準搭載の新しいメールソフトです。基本的な操作部分、画面構成などは [Outlook Express] とほとんど同じなので、以前からのユーザも安心して使えます。

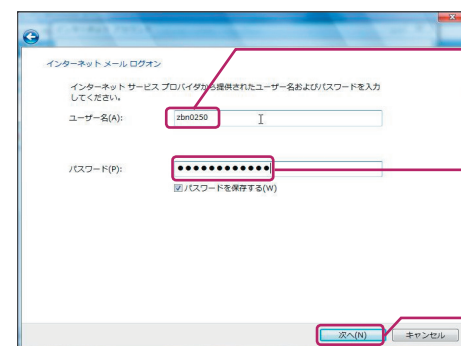
step 3 メールアドレスを入力する

1 メールアドレスを入力する

2 [次へ] ボタンをクリックする

step 4 メールサーバーを設定する

1 受信メールサーバーを入力

2 送信メールサーバーを入力

3 [次へ] ボタンをクリック

step 5 アカウントとパスワードを設定する

1 アカウント名を入力する

2 パスワードを入力する

3 [次へ] ボタンをクリック

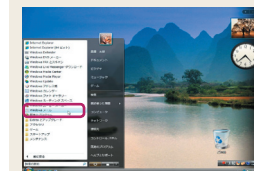
ワンポイント

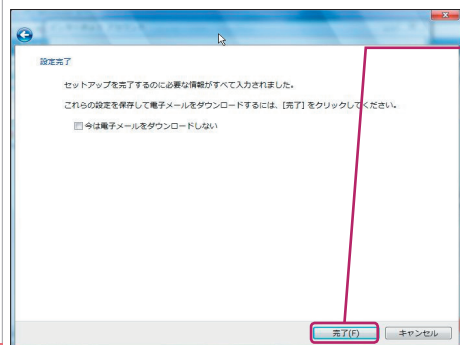
メールアカウントの設定は必ず必要

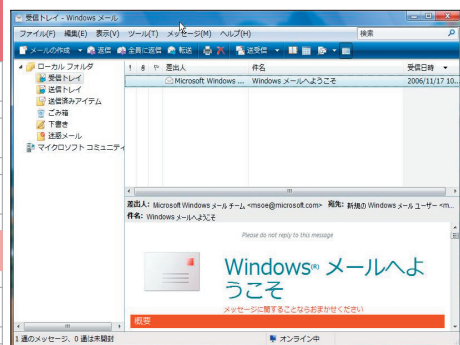
Windows メール初回起動時には、メールの送受信を行うためのメールアカウント設定を要求されます。以後、Windows メールを使ってメールのやり取りを行うために必須な設定であるので、間違いなく設定してください。尚、設定項目の詳細は、契約しているインターネットサービスプロバイダより提供される情報を参照してください。

テクニック

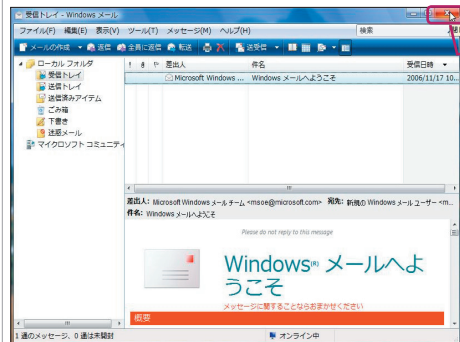
Windows メールを起動するもう一つの方法

[スタート] ⇒ [すべてのプログラム] ⇒ [Windows メール] をクリックすることでも、Windows メールを起動することが出来ます。

▲ [Windows メール] をクリック

step 6 [接続ウィザード] を完了する

[完了] ボタンをクリック

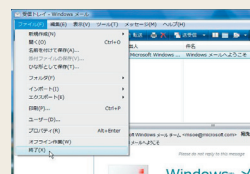
step 7 メールアカウントの設定完了

WindowsMail が起動します

WindowsMail を終了する

step 1 [閉じる] ボタンで終了する

[閉じる] ボタンをクリック

テクニック

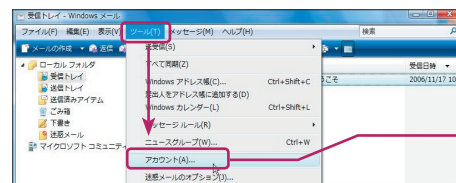
[ファイル] メニューからの終了

[ファイル] ⇒ [終了] をクリックすることでも、Windows メールを終了することが出来ます。

▲ [ファイル] ⇒ [終了] をクリック

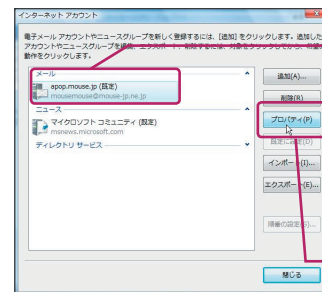
step 2 WindowsMail が終了できた

WindowsMail が終了しました

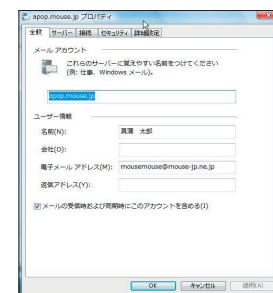
メールアカウントを修正する

step 1 [アカウント] 画面を開く

メールアカウントは、後から修正可能です

[ツール] メニュー⇒ [アカウント] をクリック

step 2 修正したいアカウントのプロパティを表示

1 修正したいアカウントをクリック

2 [プロパティ] ボタンをクリック

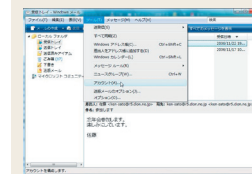
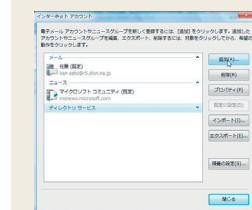
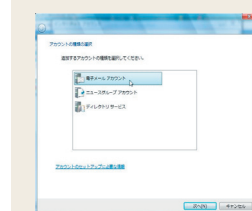
step 3 修正を行う

1 プロパティを表示

2 間違えた項目を修正

修正が済んだら [OK] をクリックしましょう。

テクニック

メールアカウントの追加

メールアカウントを新規に追加するには、[ツール] ⇒ [アカウント] ⇒ [追加] ⇒ [電子メールアカウント] ⇒ [次へ] の順にクリックし、アカウントの設定を行います。

▲ [アカウント] をクリック

▲ [追加] をクリック

▲ [電子メールアカウント] ⇒ [次へ] をクリック。以後は、新規メールアカウントの設定同様に設定を行います。

メールを作成する

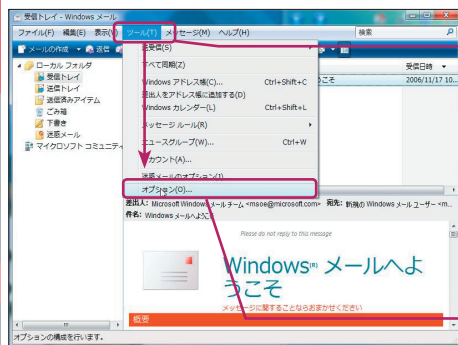
Windows メールから、送信するメールを作成してみましょう。

- ☑メール送信の形式を変更する
- ☑メール本分を作成する
- ☑宛先の入力

メール送信の形式をテキスト形式に変更する

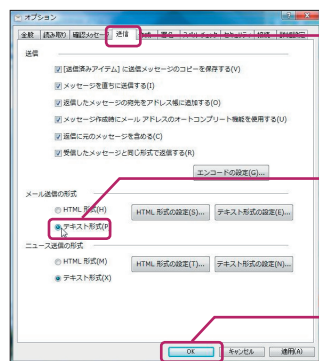
step 1 Windows メールを起動する

1 ［ツール］をクリック

2［オプション］をクリック

step 2 ［オプション］ダイアログボックスが表示される

1 タスクバーの空いている部分を右クリック

2 メール送信の形式で「テキスト形式」を選択

3 ［OK］ボタンをクリック

ワンポイント

メール送信の形式

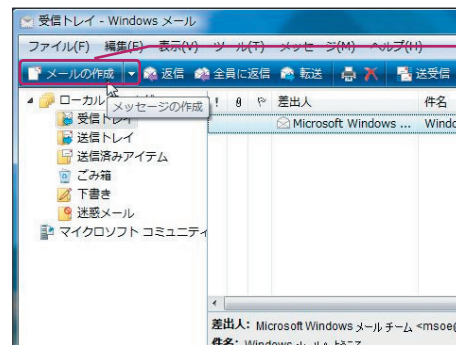
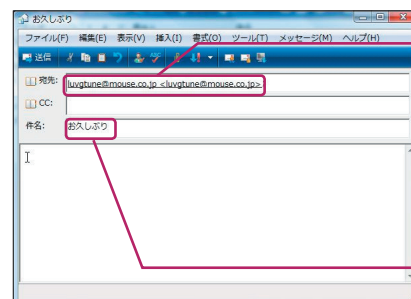
メール送信の形式には、テキスト形式と、HTML 形式の2種類があります。HTML 形式でのメールは、表現豊かなメールを作成できますが、受信側のメールソフトが対応していないと、正しく内容を表示できない場合があります。そのため、文章のみのメールを主に使用する場合は、メール送信の形式をテキスト形式に変更しておいた方が無難です。なお、初期設定ではメール送信の形式は「テキスト形式」になっています。

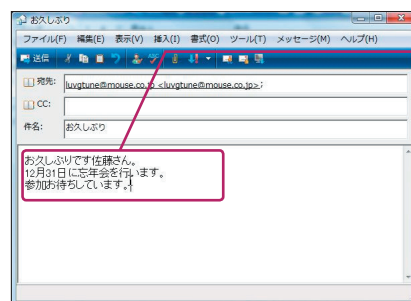
メール本分を作成する

step 1 ［メールの作成］ボタンをクリック

［メールの作成］ボタンをクリック

step 2 メールアドレスと件名を入力

1 あて先欄に、送信先のメールアドレスを入力する

2 件名を入力する

step 3 メール本文を入力する

メールの本文を入力する

ワンポイント

宛先の入力について

宛先の欄には、送信先のメールアドレスを入力します。メールアドレスは半角英数文字で入力します。全角文字、半角カタカナでの入力は出来ませんので注意してください。

ワンポイント

アドレス帳から宛先を入力する。

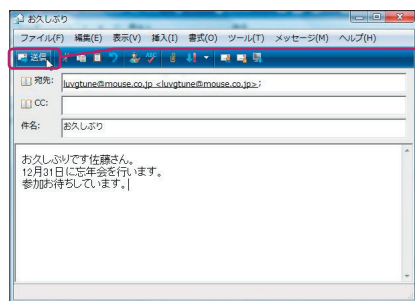
宛先がアドレス帳に入力されている場合は、［宛先］ボタンをクリックして、アドレス帳から宛先を入力することが出来ます。

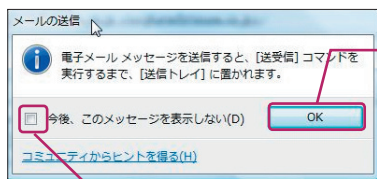
メールを送信する

メール本文を作成したら、相手に送信しましょう。

- ☑メールを送信する
- ☑メールの送信のみ行う

作成したメールを送信する

step 1 ［送信］ボタンを押す

［送信］ボタンをクリックする

step 2 確認のメッセージが表示される

[OK] ボタンをクリック

［今後、このメッセージを表示しない］にチェックを入れると次回以降確認メッセージが省略される。

ワンポイント

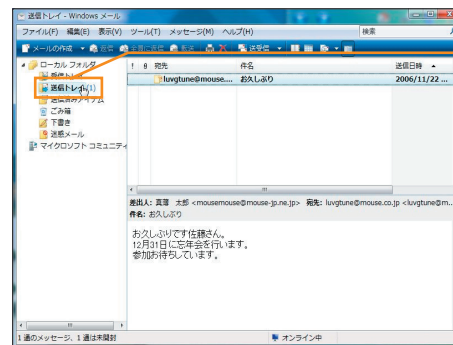
メールは一度送信トレイに入る

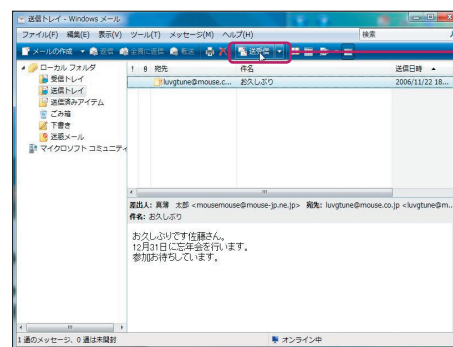
メール作成後、［送信］ボタンを押すと、メールは一度［送信トレイ］に格納されます。この時点では、メールはまだ送信されていません。［送受信］ボタンをクリックすることにより、送信先にメールが送信され、メールは［送信済み］ボックスに移動します。

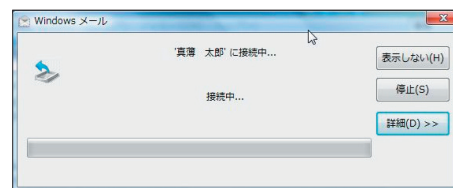
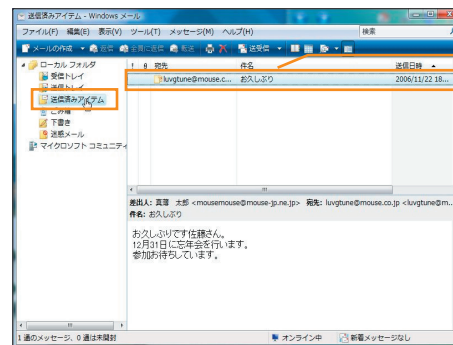
ワンポイント

［送受信］では受信も同時に行われる

［送受信］ボタンをクリックすると、メールが送信されると同時に、メールサーバーにある受信メールも同時に受信されます。受信されたメールは、［受信トレイ］に格納されます。

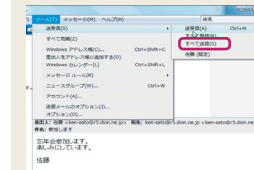
step 3 メールが［送信トレイ］に移動する

作成したメールが、［送信トレイ］に移動します

step 4 ［送受信］ボタンをクリックする

［送受信］ボタンをクリックする

step 5 メールの送信が実行される

メールの送信が行われます

送信したメールは、［送信済みアイテム］に移動します。

ワンポイント

送信のみ行う場合

［送受信］ボタンをクリックすると、送信・受信が同時に行われます。受信を行わずに、メールの送信のみ行いたい場合は、［送受信］ボタン右側の ▼ をクリックして、［すべて送信］をクリックします。この操作を行うと、メールの受信を行わずに、メールの送信のみ行うことができます。

▲［すべて送信］をクリック

ワンポイント

メールアドレスを間違えて入力した場合

宛先欄に入力したメールアドレスが間違っていた場合、エラーメッセージが送られてきます。エラーメッセージの内容は英語で、例として「The following addresses had paermanent fatal errors」のようなメッセージが帰ってきた場合、メールアドレスが間違っています。

メールを受信する

メールの送信に引き続き、メールを受信してみましょう。

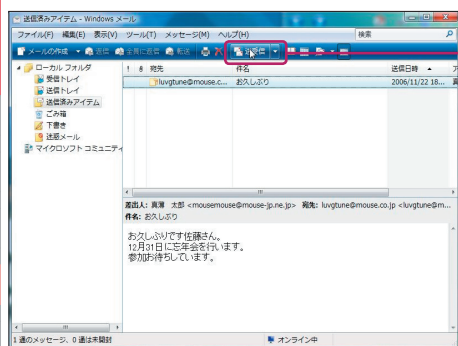
- ☑メールを受信する
- ☑メールの受信方法を選択
- ☑一定時間ごとに受信を行う

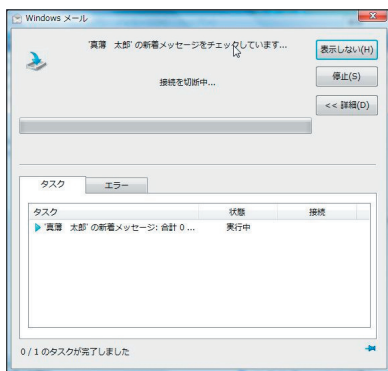
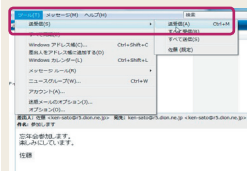
メールを受信する

step 1 ［送受信］ボタンをクリックする

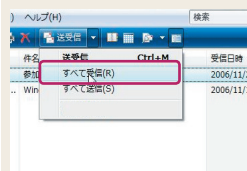
［送受信］ボタンをクリックする

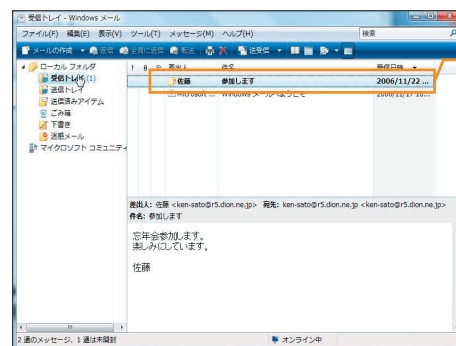
テクニック
送受信を行う方法

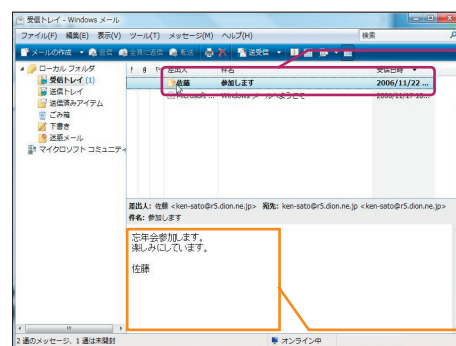
［ツール］メニュー⇒［送受信］⇒［送受信］をクリックするか、キーボードの[Ctrl]+[M] キーを押すことによっても、メールの送受信を行うことができます。

▲［ツール］⇒［送受信］⇒［送受信］

step 2 メールが受信される

メールサーバーからメールが受信されます

テクニック
受信のみ行う場合

［送受信］ボタンをクリックすると、送信・受信が同時に行われます。送信を行わずに、メールの受信のみ行いたい場合は、［送受信］ボタン右側の ▼ をクリックして、［すべて受信］をクリックします。この操作を行うと、メールの送信を行わずに、メールの受信のみ行うことができます。

▲［すべて受信］をクリック

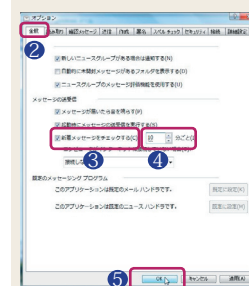
step 3 メールサーバーからメールが受信される。

受信したメールは受信トレイに入ります

step 4 受信したメールを開く

メールのタイトルをクリックする

メールの内容が表示されます

テクニック
一定時間ごとにメールを受信する方法

常時接続環境の場合、一定時間ごとにメールを受信するよう設定が出来ます。

①［ツール］⇒［オプション］をクリック

②［全般］タブをクリック

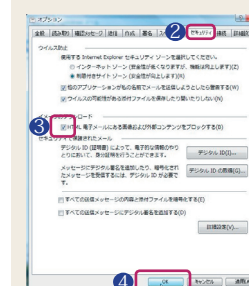
③［新着メッセージをチェックする］にチェックを入れる

④チェックする間隔を、分刻みで指定

⑤[OK]をクリックする

テクニック
HTML メールのブロック

HTML メールの受信には、ウィルス感染の危険性があります。以下の設定を行うことで、HTML メールの安全性を確認してから開くことが出来ます。

①［ツール］⇒［オプション］をクリック

②［セキュリティ］タブをクリック

③[HTML 電子メールにある画像および外部コンテンツをブロックする］にチェックを入れる

④[OK]をクリックする

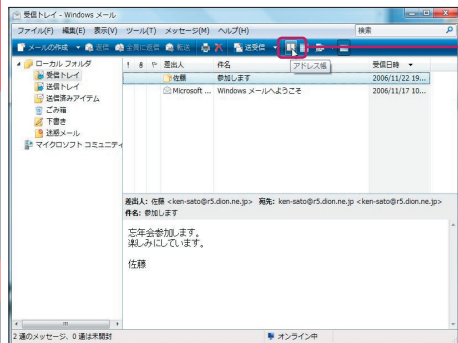
SECTION 30

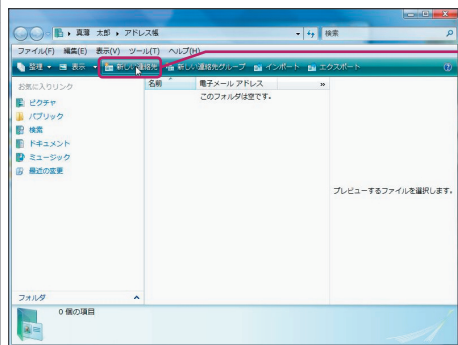
アドレス帳にメールアドレスを登録する

アドレス帳にメールアドレスを登録することで、メールアドレスの入力をアドレス帳から簡単に行うことができるようになります。

☑アドレス帳にメールアドレスを登録
☑アドレス帳の内容を編集・削除する

アドレス帳にメールアドレスを登録する

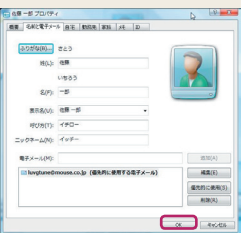
step 1 WindowsMail を起動する

［アドレス帳］ボタンをクリック

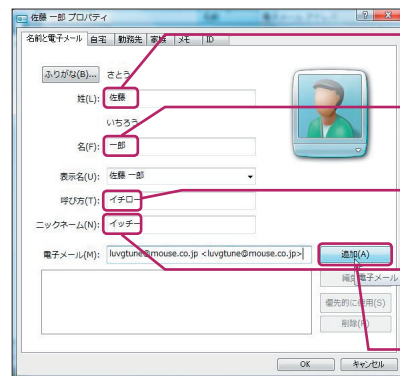
step 2 アドレス帳が開く

［新しい連絡先］をクリック

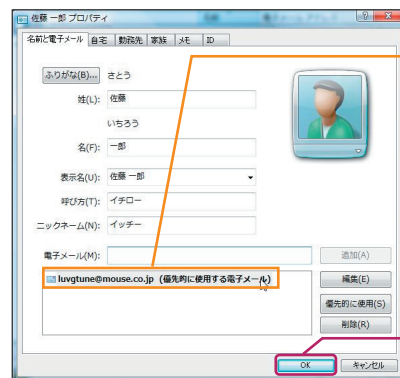
テクニック

アドレス帳に登録した内容を変更する

アドレス帳から、変更したい宛先をクリックし、編集をクリックすることで、アドレス帳に登録した内容を変更することが出来ます。

▲修正したい宛先を選択し、［編集］をクリック

▲内容を編集し、［OK］をクリックする

step 3 アドレス帳の情報を入力する

1 姓を入力する
2 名を入力する
3 呼び方を入力する
4 ニックネームを入力する
5［追加］ボタンをクリックする

step 4 アドレス帳に追加を行う

ここにアドレスが追加されます

［OK］ボタンをクリックする

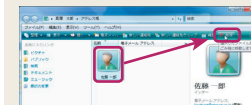
step 5 アドレス帳に宛先が追加された

ここにアドレスが追加されます

［閉じる］ボタンをクリックする

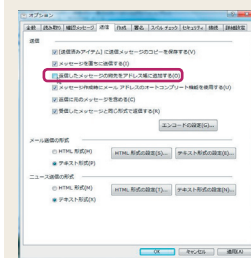
テクニック

アドレス帳から宛先を削除したい場合

アドレス帳から削除したい宛先をクリックし、［削除］ボタンをクリックすることで、アドレス帳から宛先を削除することが出来ます。

▲削除したい宛先を選択し、［削除］ボタンをクリックする

ワンポイント

返信メッセージの宛先は、自動的にアドレス帳に登録される

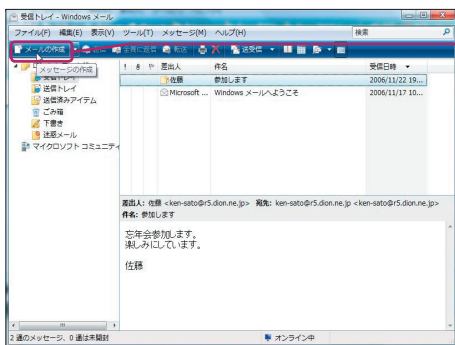
Windows メールでは、返信メッセージの宛先を自動的にアドレス帳に登録してくれます。この設定を無効にするには、［ツール］⇒［オプション］⇒［送信］タブ⇒［返信したメッセージの宛先をアドレス帳に追加する］のチェックをオフにします。

▲このチェックをオフにする

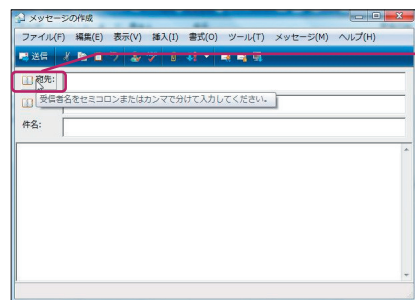
アドレス帳から宛先を入力する

アドレス帳に登録した宛先を選択し、メールアドレスを入力してみましょう。

☑アドレス帳から宛先を入力する
☑「CC」と「BCC」欄について

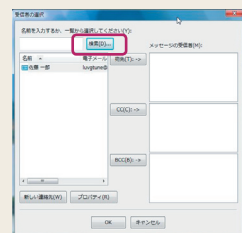
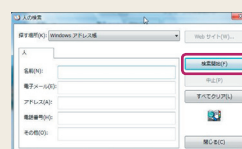
アドレス帳から宛先を選択し入力する

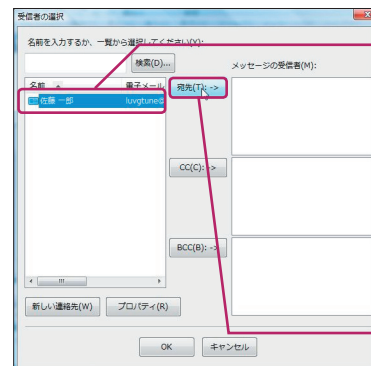
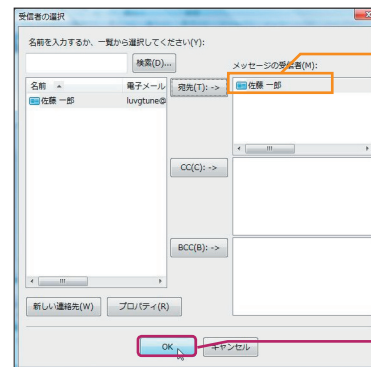
step 1 Windows メールを起動する

［メールの作成］ボタンをクリック

step 2 メッセージの入力ウィンドウが開く

［宛先］ボタンをクリック

テクニック

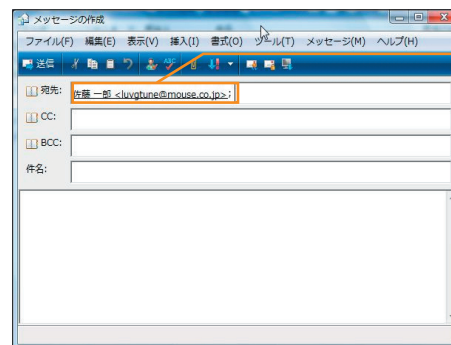
アドレス帳の検索

アドレス帳の画面より、［検索］ボタンをクリックすることにより、アドレス帳内にある受信者を検索することが出来ます。検索は、名前、メールアドレスなど、アドレス帳に登録した際の情報を元に行うことができます。

▲［検索］をクリック

▲検索情報を入力し、［検索開始］をクリック

step 3 宛先に指定するアドレスを選択する

1 宛先に指定するアドレスを選択

2［宛先］ボタンをクリック

［メッセージの受信者］に宛先が表示される

3［OK］ボタンをクリックする

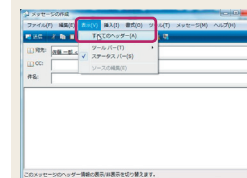
step 4 宛先が入力された

宛先欄に欄に宛先が表示される

ワンポイント

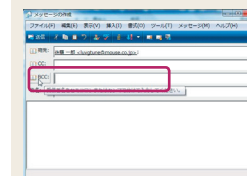
CC 欄と BCC 欄について

CC 欄は、同じ内容のメールを写しとして送りたい場合に宛先を入力する欄です。CC 欄に記入された宛先の人は、メールが送られてきた際に、同じ内容のメールが誰に送られたかを確認することが出来ます。

BCC 欄も、同じ内容のメールを写しとして送りたい場合に宛先を入力する欄ですが、BCC 欄に記入された宛先の人は、同じメールが他の誰に送られたかを確認することは出来ません。

WindowsMail の初期設定では、BCC 欄は表示されていません。［表示］メニュー⇒［すべてのヘッダー］をクリックすると、BCC 欄を表示することが出来ます。

▲［表示］メニュー⇒［すべてのヘッダーをクリック

▲［BCC］欄が表示される

CHAPTER 5

アプリケーションの追加と削除

本章では、アプリケーションのインストール、および削除の方法について説明します。

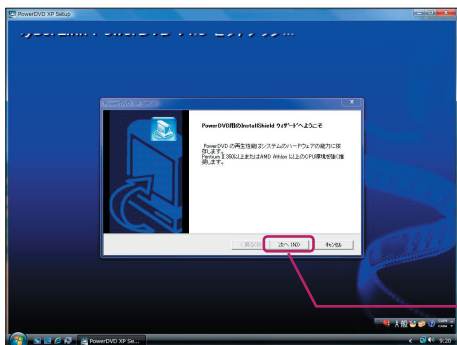
SECTION 32

アプリケーションをインストールする

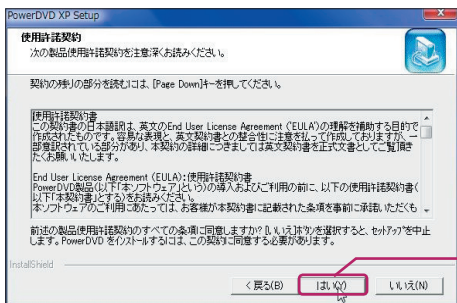
パソコンを使用するにあたって、様々なアプリケーションをインストールすることが有ります。ここでは、インストールする方法を説明します

☑アプリケーションのインストール
☑オートインストール機能

アプリケーションをインストールする

step 1 アプリケーションの CD-ROM を光学ドライブに挿入する

セットアッププログラムが自動的に起動します。以後、画面の指示に従い、インストールを進めます

［次へ］ボタンをクリック

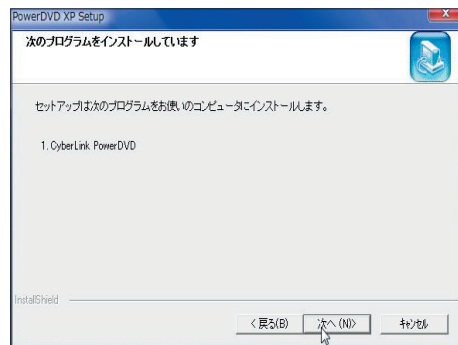
step 2 使用許諾契約の内容に同意する

1 使用許諾契約書の内容を読む

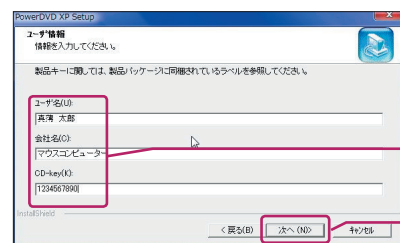
2 ［はい］をクリック

ワンポイント
インストール
　アプリケーションをコンピュータに組み込んで使用できる状態にすることを「インストール」もしくは「セットアップ」といいます。市販のアプリケーションパッケージを購入した場合などは、最初にインストール作業が必要です。インストール作業ではCD-ROMから必要なファイルをパソコンにコピーしたり、アプリケーションをスタートメニューに登録したり、デスクトップにショートカットを作成したりします。

ワンポイント
オートインストール機能
　オートインストール機能に対応したアプリケーションは、そのCDをパソコンに挿入するだけで、自動的にセットアッププログラムが起動します。

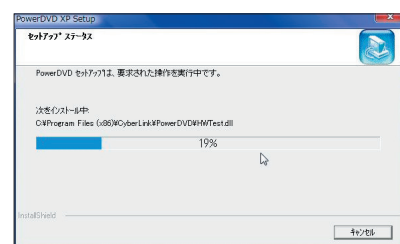
注意
インストール方法について
　ここで説明しているインストール手順はあくまで一例です。実際には、アプリケーションによりインストール画面、手順が異なります。詳しいインストール方法は、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

step 3 画面の指示に従って、インストール作業を進める

画面の指示に従ってインストール作業を続行する

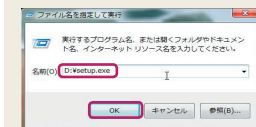
step 4 必要な情報を入力する

インストール作業の途中に、情報の入力を求められる場合があります

情報を入力する

［次へ］をクリック

step 5 インストールが開始される

インストールが始まります

ワンポイント
アプリケーションがオートインストールに対応していない場合
　アプリケーションが、オートインストールに対応していない場合は、［スタート］メニュー⇒「ファイル名を指定して実行］をクリックし、CD-ROMにあるセットアッププログラムを指定します。セットアッププログラムは通常「Setup.exe」「install.exe」という名前がついています。詳しいインストール方法は、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

▲［スタート］メニュー⇒［ファイル名を指定して実行］をクリック

▲セットアッププログラム名を入力し、[OK] をクリック

ワンポイント
プリインストール
　PCに元々インストールされているアプリケーションを、「プリインストールアプリケーション」と呼びます。

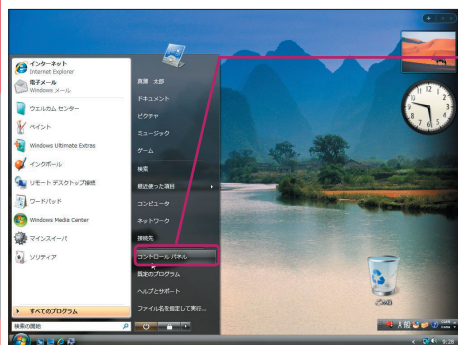
SECTION

33 プログラムの削除

使わなくなったアプリケーションは、「コントロールパネル」から削除を行いましょう。

- アプリケーションを削除する
- 共有ファイルの削除

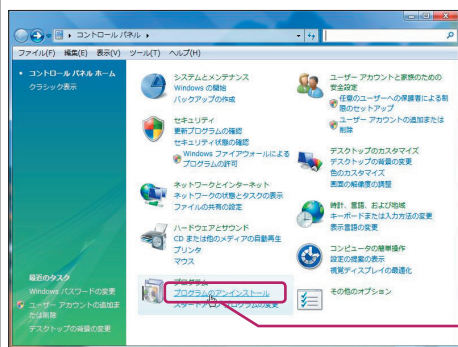
アプリケーションの削除

step 1 ［コントロールパネル］を開く

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択

ワンポイント

プログラムのアンインストール

プログラムのアンインストールを行うと、パソコン上からファイルが削除され、スタートメニューから削除されます。インストールの際にショートカットを作成していた場合は、ショートカットも削除されます。

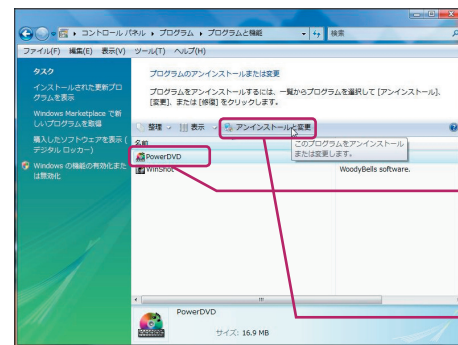
step 2 ［プログラムのアンインストール］を選択

コントロールパネルが起動する

［プログラムのアンインストール］をクリック

ワンポイント

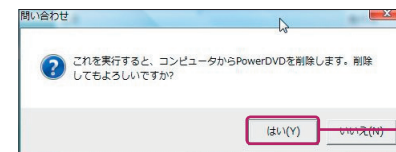
プログラムのアンインストールメニューからのアンインストール

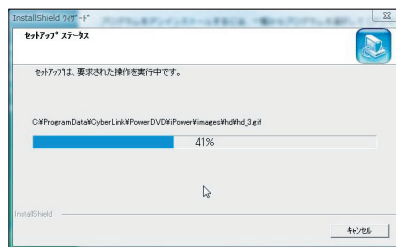
プログラムによっては、スタートメニューのプログラムフォルダ内に、アンインストールプログラムが表示されている場合があります。この場合、このアンインストールプログラムをクリックすることでも、プログラムをアンインストールすることができます。

step 3 インストールされているプログラムが表示される

インストールされているプログラムの一覧が表示されます。

1 削除したいプログラムをクリックして選択

2［アンインストールと変更］をクリック

step 4 削除が実行される

確認メッセージが表示されます

［はい］をクリック

アンインストール作業が行われます

step 5 アプリケーションが削除された

[OK] をクリック

注意

共有ファイルの削除

アプリケーションのアンインストール時に、共有ファイルを削除するかどうかの確認メッセージが表示される場合があります。共有ファイルを削除すると、そのファイルを使用しているほかのアプリケーションが起動しなくなる恐れがあるので、共有ファイルの削除は慎重に行ってください。

写真の活用

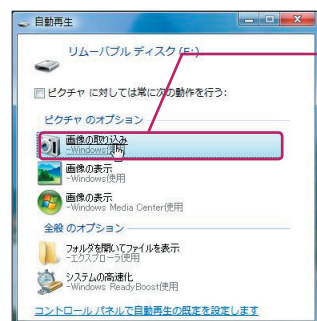
本章では、デジタルカメラで撮影した写真の取り込み、閲覧、印刷について説明します。

デジタルカメラの写真をパソコンに取り込む

WindowsVista を使って、デジタルカメラで撮影した写真をパソコンに取り込んでみましょう。

- ☑デジタルカメラから直接写真を取り込む
- ☑ファイルのコピーで写真を取り込む
- ☑取り込み後、デジタルカメラから写真を削除する

デジタルカメラから写真を取り込む

step 1 デジタルカメラをパソコンに接続する

【画像の取り込み】をクリック

step 2 画像の読み込みウィザードが開始される

1 後ほど検索しやすいように、読み込む画像のグループ名を入力する

2［読み込み］をクリック

ワンポイント

写真を取り込む

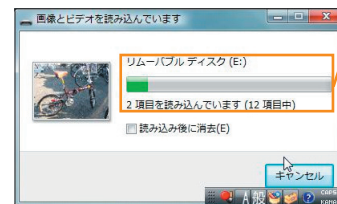
デジタルカメラの写真をパソコンに取り込むには、デジタルカメラを USB ケーブルなどで直接パソコンに接続する、メモリカードをデジタルカメラから取り出して、アダプタにメモリを装着し、それをパソコンに接続するなどの方法があります。いずれの場合も、［画像の読み込みウィザード］が自動的に起動し、画像の取り込みを行うことができます。

テクニック

画像ファイルを直接パソコンにコピーする。

デジタルカメラをパソコンに接続し、「コンピュータ」を開くと、［リムーバブル記憶域があるデバイス］の領域に、アイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックし、コピーしたい写真ファイルを任意のフォルダにコピーすることにより、パソコンに写真を取り込むことも出来ます。

▲［リムーバブルディスク］として認識する

step 3 画像の読み込みが開始される

画像の読み込みが開始されます

step 4 Windows フォトギャラリーが表示される

画像の読み込みが完了し、「Windows フォトギャラリー」が開く

読み込んだ画像が一覧表示される

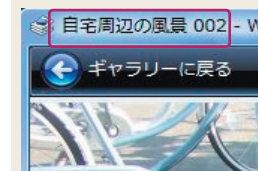
開きたい画像をダブルクリックする

step 5 画像が表示される

画像が表示されます

ワンポイント

画像に割り当てられる名前

パソコンに取り込まれた画像には、自動的に「グループ名 001. jpg」「グループ名 002. jpg」と言う名前がつけられます。

▲自動的に名前がつけられる

テクニック

取り込み後、デジタルカメラから写真を削除する

写真を取り込む際に、「読み込み後に消去」の欄にチェックをつけておくと、写真を読み込み完了後、デジタルカメラから写真を自動的に消去することが出来ます。

▲ここにチェックを入れます

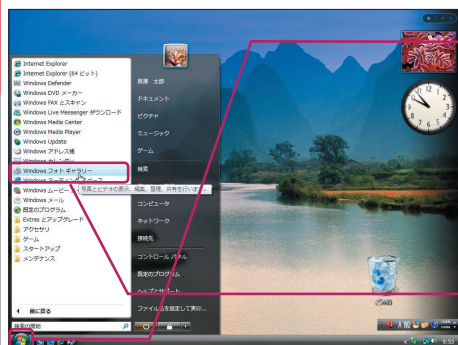
SECTION 35

取り込んだ写真を閲覧する

デジタルカメラからた取り込んだ写真を見てみましょう。スライドショーで表示させることも可能です

- 写真を表示する
- スライドショーで写真を閲覧する
- 取り込んだ写真を編集する

取り込んだ写真を閲覧する

step 1 Windows フォトギャラリーを開く

1［スタート］ボタンをクリック

2［すべてのプログラム］から、[Windows フォトギャラリー］をクリック

step 2 Windows フォトギャラリーが開く

Windows フォトギャラリーが開き、写真の一覧が表示されます

写真にマウスポインタを合わせると、その写真が拡大表示されます

ワンポイント

撮影した写真の詳細を確認する

取り込んだ写真にマウスカーソルを合わせると、画像のプレビュー、撮影日、画像サイズの大きさ、グループ名などを確認することが出来ます。

テクニック

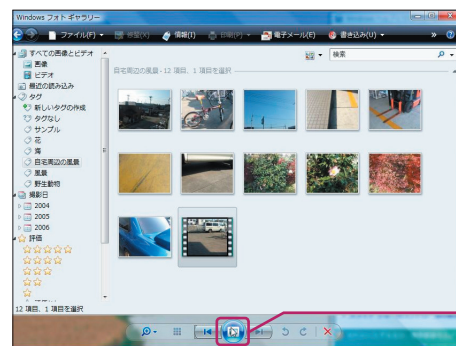
写真をデスクトップの背景に設定する

背景に選択したい写真を右クリックし、［デスクトップの背景として設定］をクリックすると、その画像をデスクトップの背景に設定することが出来ます。

▲［デスクトップの背景として設定］をクリック

▲写真がデスクトップの背景に設定される

スライドショーを表示する方法

step 1 スライドショーボタンを押す

スライドショー表示させたいフォルダを開いておきます

［スライドショー］ボタンを押します

step 2 写真がスライドショー表示される

スライドショーが表示されます

［終了］ボタンを押します

step 3 スライドショーが終了します。

スライドショーが終了します

テクニック

写真を編集するには

修正したい写真をクリックし、選択した後に「修整」ボタンをクリックすると、写真の修整を行うことができます。

▲［修整］をクリック

▲画像修整画面が表示されます

画像修正の内容

①自動補正
画像全体を自動補正します
②露出の調整
画像全体の露出調整を行います
③色の調整
画像全体の色合いを調整します
④画像のトリミング
画像の一部を切り取ります
⑤赤目修整
赤目になっている部分を補正します

SECTION

36 取り込んだ写真を印刷する

取り込んだ写真を、WindowsVista の印刷機能を使って印刷してみましょう。

☑写真を印刷する

写真をプリンタで印刷する

step 1 写真の入っているフォルダを開く

プリントしたい写真が入っているフォルダを開きます

step 2 印刷したい写真を選択して [印刷] をクリック

1 印刷したい写真を選択する

2 [印刷] をクリックする

ワンポイント

プリンタから画像を印刷する

パソコンにカラープリンタが接続されていれば、そのプリンタを使って画像を印刷することが出来ます。印刷するプリンタは、[画像の印刷] の設定画面で指定することが可能です。

step 3 [画像の印刷] 画面が表示される。

[画像の印刷] 画面が表示されるので、各写真の印刷設定を行います。

各種設定を行った後、[印刷] ボタンを押す

❶プリンタ
印刷を行うプリンタを指定します

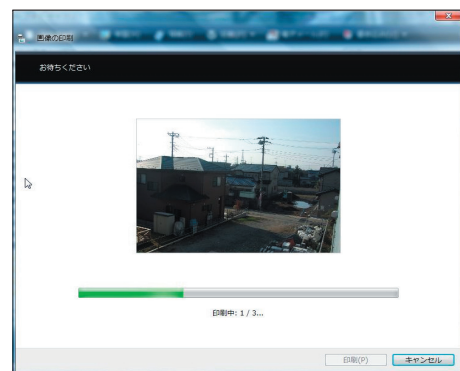
❷用紙サイズ
印刷する用紙サイズを指定します

❸品質
印刷の品質を指定します

❹レイアウト
用紙の中に、どのように画像をレイアウトして印刷するかを設定します

❺各画像の部数
各画像を印刷する部数を設定します

❻写真をフレームに合わせる
印刷する写真の余白がなくなるように、画像を拡大します。この設定を行うと、画像の端が切れることがあります。

step 4 印刷が開始されます

画像の印刷が開始されます

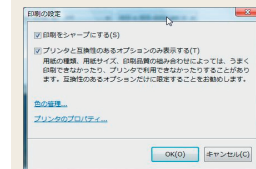
テクニック

印刷のオプション設定

[オプション] をクリックすることで、画像の印刷に関するカスタマイズを行うことが出来ます。

▲ [オプション] をクリック

▲印刷に関する設定を行う

CHAPTER 7

音楽とビデオの再生

本章では、Windows Media Player および Windows Media Center を使って、音楽、ビデオおよび写真を活用する方法を説明します

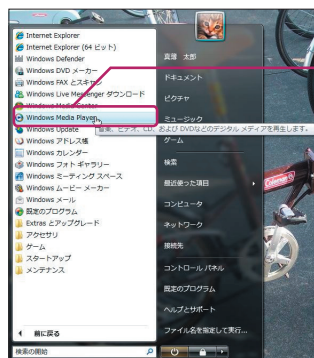
SECTION 37

Windows Media Player を起動する

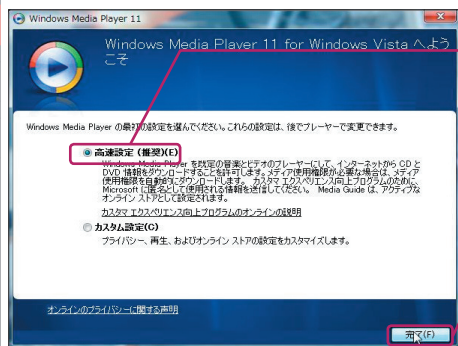
動画、音楽の再生などには、Windows Media Player を使用します。ここでは、Windows Media Player の起動・終了について説明します。

- Windows Media Player の起動
- 初回起動時の設定
- メニューバーの表示

Windows Media Player の起動

step 1 Windows Media Player の起動

［すべてのプログラム］⇒［Windows Media Player］をクリック

step 2 初回起動時の設定を行う

Windows Media Player 11 for Windows Vista へようこそ

1［高速設定］を選択

2［完了］をクリック

テクニック

Windows Media Player のバージョンを確認する方法

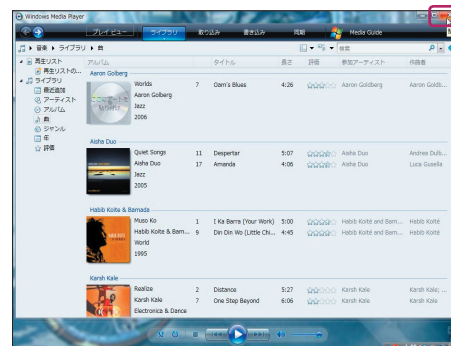
［ヘルプ］メニュー⇒「バージョン情報」をクリックすると、現在の Windows Media Player のバージョンを確認することが出来ます。

▲［ヘルプ］メニュー⇒［バージョン情報］をクリック

step 3 Windows Media Player が起動する

Windows Media Player が起動する。

Windows Media Player を閉じる

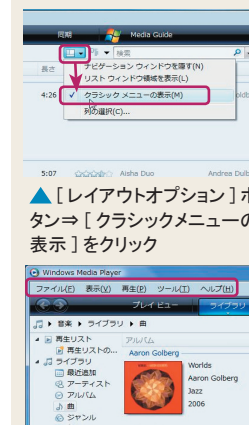
step 1 ［閉じる］ボタンをクリックする

［閉じる］ボタンをクリックする

step 2 Windows Media Player が終了する

Windows Media Player が終了する。

テクニック

メニューバーを表示する方法

Windows Media Player 初回起動時には、画面上部にあるメニューバーが表示されていません。メニューバーを表示するには、［レイアウトオプション］ボタン⇒［クラシックメニューの表示］をクリックするか、キーボードの［Ctrl］+［M］キーを押すことにより、表示できます。

▲［レイアウトオプション］ボタン⇒［クラシックメニューの表示］をクリック

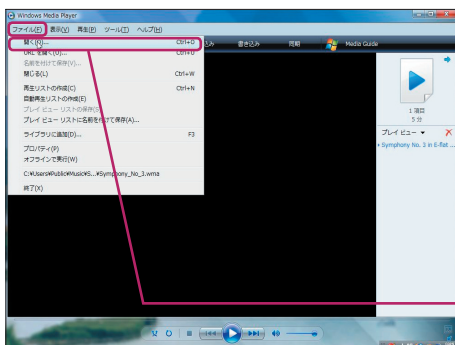
▲メニューバーが表示される

音楽ファイルを再生する

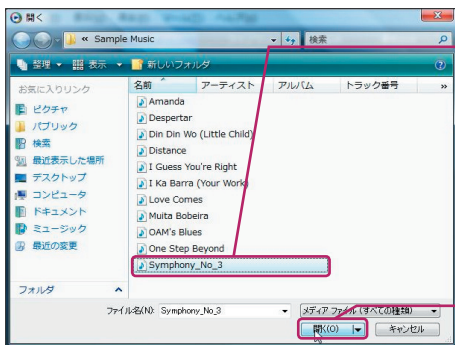
Windows Media Player を使って、音楽ファイルを再生してみましょう。同様の手順で、動画ファイルの再生を行うこともできます。

- ☑音楽ファイルの再生
- ☑視覚エフェクトの設定
- ☑音量の調節

音楽ファイルの再生

step 1 Windows Media Player を起動

Windows Media Player を起動する

［ファイル］メニュー⇒［開く］をクリック

step 2 ［開く］ダイアログボックスが開く

1 開きたい音楽ファイルを選択

2 ［開く］ボタンをクリック

ワンポイント

再生可能なファイルの種類

Windows Media Player で再生できる主なファイルの種類は、以下のとおりです。

CD オーディオ
cda

MIDI ファイル
mid、midi、rmi

Windows Media ファイル
asf、wm、wma、wmy

オーディオファイル
wav、au、snd、aif、aifc、aiff、wma、wax

ビデオファイル
avi、wmv

ムービーファイル
mpeg、mpg、mpe、mlv、mp2、mpv2

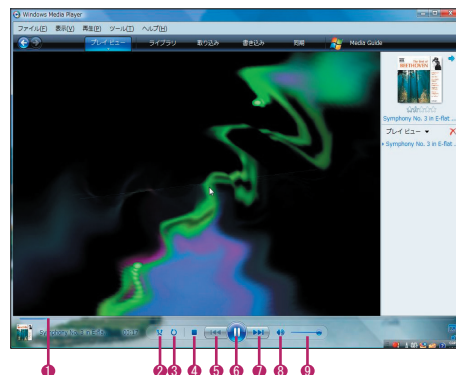
メディア再生リスト
asx、wax、m3u、wvx

MP3 形式サウンド
mp3、m3u

ワンポイント

メディアファイルの再生

Windows Media Player に関連付けられているファイルは、ファイルをダブルクリックすることで Windows Media Player が自動的に起動し、再生することが出来ます。

step 3 音楽ファイルが再生する

音楽ファイルの再生が開始されます

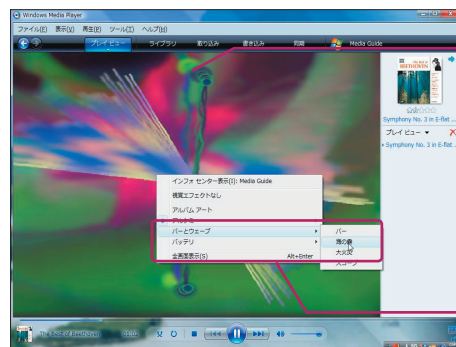
❶再生バー
❷［ランダム再生］
❸［連続再生］
❹［停止］
❺［巻き戻し］
❻［再生／一時停止］
❼［早送り］
❽［ミュート］
❾［音量調整］

ワンポイント

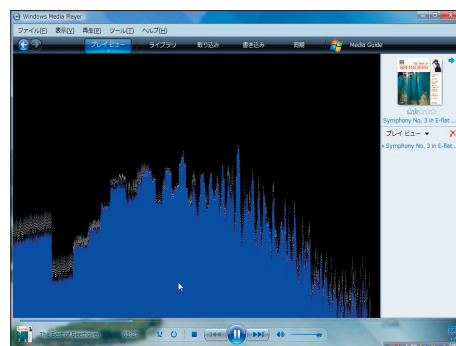
プレイビュー

プレイビュー画面右側には、再生されているファイルの詳細が表示されます。

視覚エフェクトを変更する

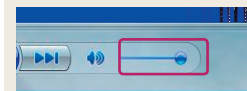
step 1 Windows Media Player を起動する

1 プレイビュー画面で右クリック

2 視覚エフェクトを選択する

step 2 視覚エフェクトが変更される

プレイビュー画面の視覚エフェクトが変更されます。

テクニック

音量を調節する

［音量調節用］スライダをドラッグすることで、音量を調節できます。

ワンポイント

視覚エフェクト

プレイビュー画面には、再生されているファイルの詳細と、視覚エフェクトが表示されます。視覚エフェクトはお好みに合わせて変更することが出来ます。

音楽 CD を再生する

WindowsVista では、音楽 CD を挿入するだけで音楽の再生を行うことができます。また、手動にて音楽 CD を再生することも可能です。

- ☑音楽 CD を自動的に再生
- ☑音楽 CD を手動で再生
- ☑曲をスキップする

音楽 CD を自動的に再生

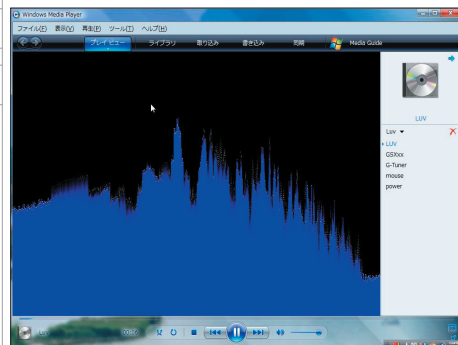
step 1 音楽 CD を、光学ドライブに挿入する。

［オーディオ CD の再生］をクリック

ワンポイント

音楽 CD は、光学ドライブに挿入すれば自動的に再生される。

WindowsVista は音楽 CD のオートプレーに対応しているので、光学ドライブに CD を挿入するだけで音楽 CD が再生されます。

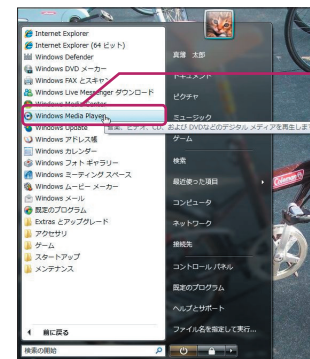
step 2 音楽 CD が再生される

Windows メディアプレーヤーが起動して、音楽 CD が再生されます。

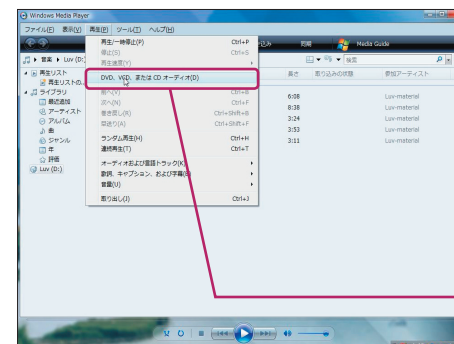
ワンポイント

音楽 CD が自動的に再生しない場合は

音楽 CD を光学ドライブに挿入しても、自動的に再生されない場合は、Windows Media Player を起動し、［再生］メニューから［DVD、VCD または CD オーディオ］をクリックすれば、音楽 CD の再生が始まります。

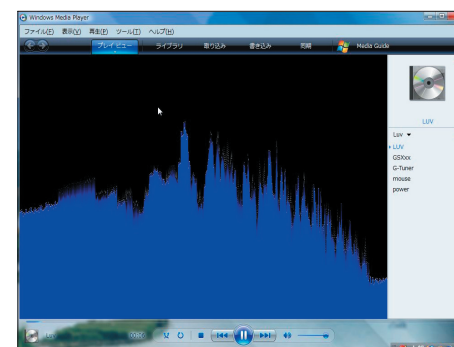
音楽 CD を手動で再生

step 1 Windows Media Player を起動する

［すべてのプログラム］から、[Windows Media Player] をクリック

step 2 [DVD、VCD、またはオーディオ］をクリック

[Windows Media Player] を起動する

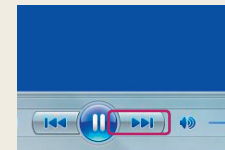
音楽 CD が光学ドライブに入っている状態とします

［再生］メニューから [DVD、VCD、またはオーディオ］をクリック

step 3 音楽 CD の再生が開始される

音楽の再生が自動的に始まります

テクニック

曲をスキップする

音楽 CD の再生中に、次の曲にスキップしたい場合は、［スキップ］ボタンを押します。

▲［スキップ］ボタンをクリックすると、次の曲にスキップする

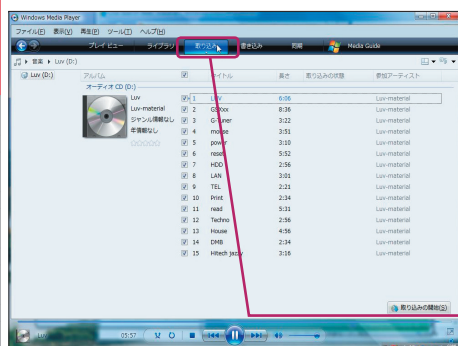
SECTION

40 音楽 CD をパソコンに取り込む

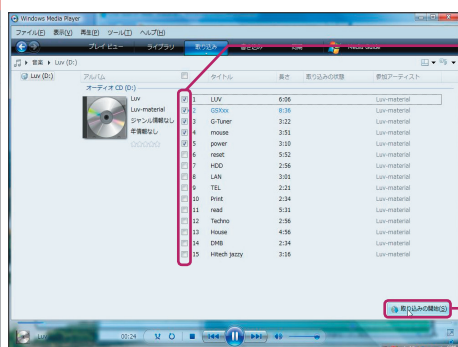
音楽 CD の音楽データをパソコンに取り込むことにより、その後は音楽 CD がなくても、パソコン上で音楽の再生を行うことができます。

- ☑音楽 CD をパソコンに取り込む
- ☑音楽 CD を取り込む際の設定

音楽 CD をパソコン上にコピーする

step 1 Windows Media Player を起動

1 音楽 CD を光学ドライブに挿入しておく

2 [取り込み] をクリックする

step 2 コピーする曲を選択する

1 コピーしない曲のチェックをオフにする

2 [取り込みの開始] をクリック

ワンポイント

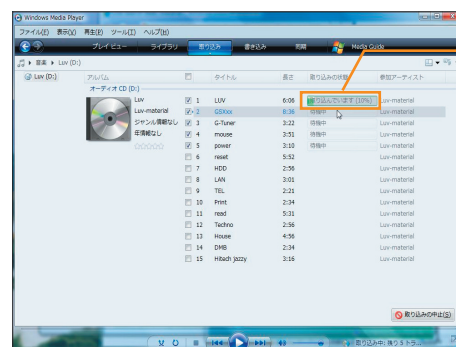
音楽データのコピー

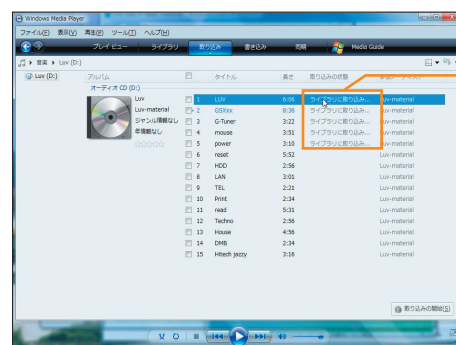
［取り込み］を行うと音楽 CD のデータは WMA 形式でパソコン上に保存されます。保存された WMA ファイルは、CD-R/RW に書き込み事も可能です。

ワンポイント

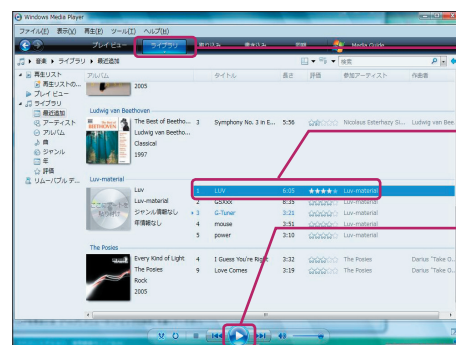
WMA ファイルとは

Windows Media Player で作成される WMA ファイルは、音楽データの圧縮ファイルです。高音質を保ったまま、ファイルサイズを圧縮できるようになっています。

step 3 音楽の取り込みが開始される

音楽の取り込みが開始されます

step 4 音楽 CD のコピーが完了する

コピーが完了した曲は、「ライブラリに取り込み済み」と表示されます

取り込んだ音楽を再生する

step 1 取り込んだ音楽を再生する

1 タスクバーの空いている部分を右クリック

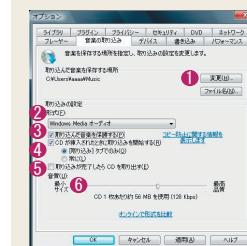
2 再生したい曲を選択

3 [再生] ボタンを押す

音楽が再生されます

テクニック

音楽を取り込む際の設定

［ツール］メニュー⇒［オプション］をクリック⇒［音楽の取り込み］タブより、音楽を取り込む際の設定を行うことができます。

❶［変更］
取り込んだ音楽を保存する場所を変更します

❷［形式］
音楽を取り込むファイル形式を選択します

❸［取り込んだ音楽を保護します］
取り込んだ音楽に、コピー防止機能を付与します。

❹［CD が挿入されたときに取り込みを開始する］
CD が挿入された時点で、音楽の取り込みを開始するかどうかを設定します。

❺［取り込みが完了したら CD を取り出す］
取り込みが完了した時点で、CD を自動的に排出するかどうかを設定します。

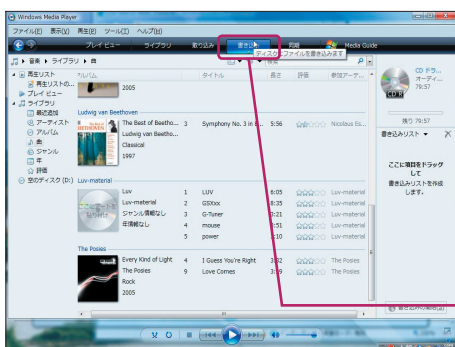
❻［品質］
取り込む音楽の品質を、スライダーで設定します。

音楽を CD-R にコピーする

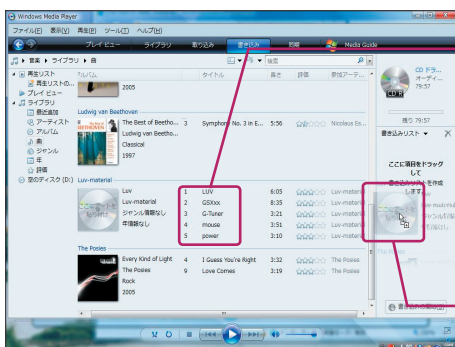
Windows Media Player を使って、取り込んだ音楽を CD-R に書き込むことが出来ます。

- 取り込んだ音楽を CD-R にコピーする
- 書き込み後にディスクを取り出す
- 書き込み後にディスクを取り出す

音楽をパソコンから CD-R にコピーする

step 1 Windows Media Player を起動

空の CD-R を、光学ドライブに挿入しておきます

［書き込み］をクリック

step 2

1 CD-R に書き込みたいファイルを選択し

2［書き込みリスト］の領域までファイルをドラッグする

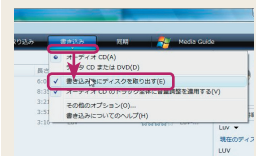
注意

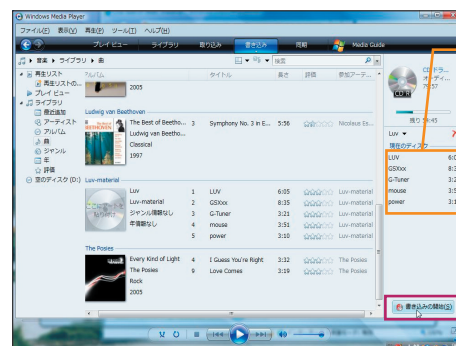
CD-R を事前にセットしておく

CD の書き込み機能を使う場合は、事前に空の CD-R/RW を挿入しておいてください。

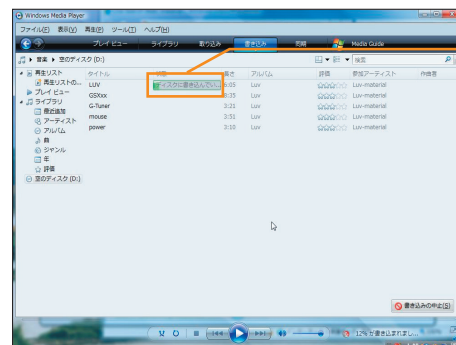
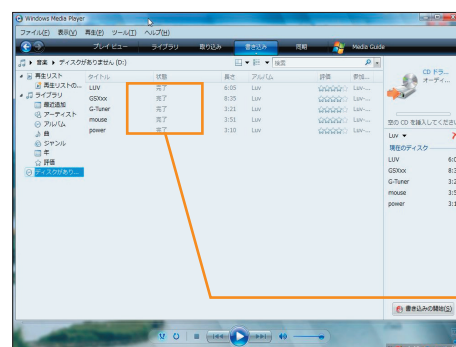
テクニック

書き込み後にディスクを取り出す

CD 書き込み完了後に、自動的にディスクを取り出したい場合は、［書き込み］タブの下にある▼をクリックし、［書き込み後にディスクを取り出す］にチェックを入れます。

▲［書き込み後にディスクを取り出す］にチェックを入れる

step 3 書き込みを開始する

［現在のディスク］欄に、ドラッグしたファイルが追加されます。

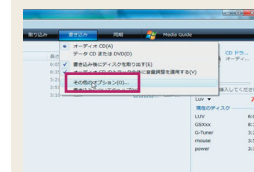
［書き込みの開始］をクリック

書き込みが開始されます

step 4 CD の書き込みが完了する。

書き込みが完了しました

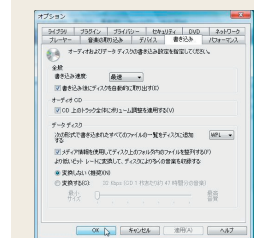
書き込みが完了したファイルの右には「完了」と表示されます

テクニック

書き込みの詳細設定

書き込みを行う際の詳細設定を行うには、［書き込み］タブの下にある▼をクリックし、［その他のオプション］をクリックします。ここでは、書き込みの速度、ボリューム調整、録音の音質の設定等が行えます。

▲［その他オプション］をクリック

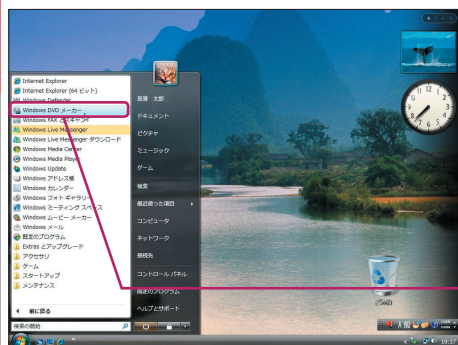
▲設定を行い、[OK] をクリック

SECTION 42

DVDにビデオファイルを書き込む

Windows DVDメーカーを使用すれば、パソコン上にある動画ファイルを市販のDVDプレーヤーで再生できる形式で書き込むことが出来ます。

- ☑ WindowsDVDメーカーで動画を書き込む
- ☑ DVD書き込みの設定

Windows DVDメーカーでビデオDVDを作成する

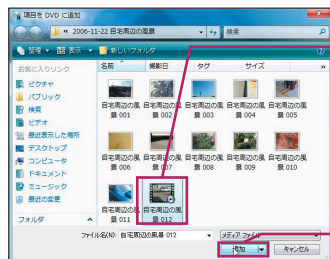
step 1 Windows DVDメーカーを起動する

空のDVD-Rメディアを光学ドライブに挿入します

［すべてのプログラム］から、［Windows DVDメーカー］をクリックする

step 2 Windows DVDメーカーが起動した

WindowsDVDメーカーが起動した

［項目の追加］をクリック

step 3 DVDに書き込む動画ファイルを選択

1 DVDに書き込みたいファイルを選択する

2［追加］をクリック

ワンポイント

DVDビデオファイル

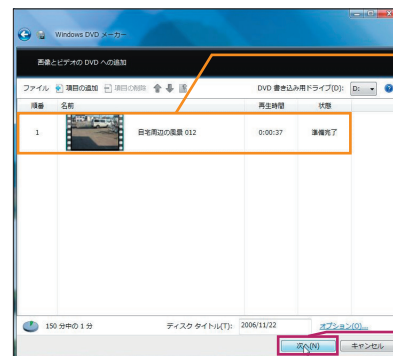
DVDにMpeg等の動画ファイルを直接書き込んだだけでは、市販のDVDプレーヤーなどで動画を再生することは出来ません。WindowsDVDメーカーを使用して、動画ファイルを一般のDVDプレーヤーでも再生できる形式に変更して書き込む必要があります。

テクニック

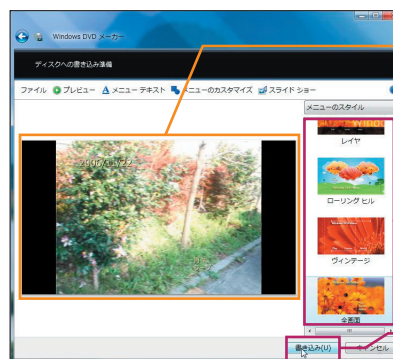
一度追加したファイルを削除するには。

削除したい項目を選択し、［項目を削除］ボタンをクリックすることで、一度追加したファイルを削除することが出来ます。なお、一度DVDに書き込みが完了してしまった項目は、削除することが出来ないので注意しましょう。

▲［項目の削除］をクリックする

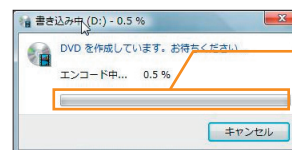
step 4 項目が追加されました

選択したファイルが、項目に追加された

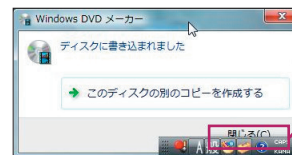
［次へ］をクリック

step 5 Windows DVDメーカー

動画のプレビューが表示される

1 メニューのスタイルを選択する

2［書き込み］をクリック

step 6 DVDに書き込みが開始される

DVDに書き込みが開始されます

step 7 ディスクに書き込まれました

DVDに書き込みが完了しました

［閉じる］をクリック

テクニック

DVD書き込み時の設定

動画をDVDに書き込む際の設定は、［オプション］ボタンをクリックすることにより行うことができます。

▲［オプション］をクリックする

▲設定を行う

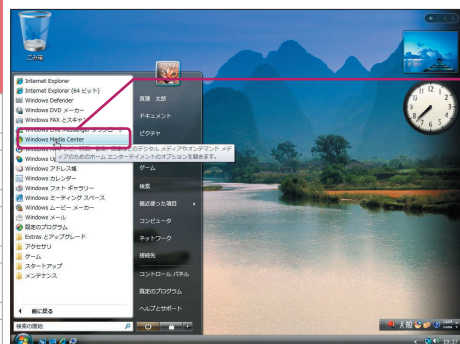
❶ DVDの再生設定
❷ 縦横比
❸ ビデオ形式
❹ DVDの書き込み速度

Windows Media Center の起動

Windows Media Center は、動画、音楽、写真の再生や、TV の録画など、マルチメディアを容易に扱うことが出来るプログラムです。

- ☑ Windows Media Center の起動
- ☑ Windows Media Center の終了

Windows Media Center を起動する

step 1 Windows Media Center を起動

[すべてのプログラム]から、[Windows Media Center]をクリック

step 2 セットアップ画面が表示される

初回起動時には、セットアップ画面が表示されます

1 [高速セットアップ]を選択

2 [OK]をクリック

ワンポイント

Windows Media Center とは

マウスやキーボードだけでなく、リモコン入力にも標準で対応しており、DVD などのデジタルメディアをリモコンで操作できるようになっているソフトウェアです。今までは独立した OS として販売されていましたが、WindowsVista には標準で Windows Media Center が付属しており、デジタルコンテンツをよりよく楽しむことが可能です。

step 3 設定が開始される

自動的に Windows Media Center の設定が開始されます。

ワンポイント

リモコンの使用

Windows Media Center をリモコンで操作するには、専用のリモコンキットが別途必要です。

Windows Media Center の画面構成

❶ WindowsVista へ戻る
WindowsVista のデスクトップ画面に戻ります
❷メニューバー
各種操作のメニュー項目です
❸操作バー
様々な操作を行うツールバーです。

ワンポイント

TV の視聴には、TV チューナーボードが必要

Windows Media Center で TV 視聴するには、別途 TV チューナーボードが必要です。TV チューナーボードが内蔵されていないパソコンでは、Windows Media Center を使用して、TV 視聴することが出来ません。

44 Windows Media Center で音楽を再生する

Windows Media Center を使って、音楽を再生してみましょう

☑ Windows Media Center で音楽を再生する
☑ 音楽ファイルの検索
☑ 再生待ちリスト

Windows Media Center で音楽を再生する

step 1 Windows Media Center を起動

［ミュージック］をクリック

step 2 ［音楽ライブラリ］をクリック

［音楽ライブラリ］をクリックする

テクニック

すべて再生

［ミュージック］メニュー内にある、［すべて再生］をクリックすることで、音楽ライブラリの中にある音楽ファイルをすべて再生することが出来ます。

▲［すべて再生］をクリック

step 3 音楽ライブラリが開く

音楽ライブラリが開き、アルバムの一覧が表示される

再生したいアルバムをクリック

step 4 アルバムを再生する

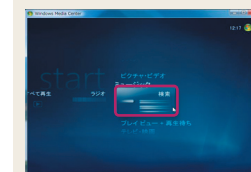
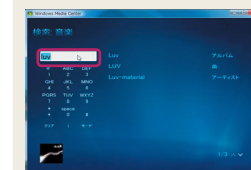
［アルバムを再生］をクリック

step 1 アルバムの再生が開始される

アルバムの再生が開始されます。

テクニック

音楽の検索

［検索］をクリックすることで、音楽ファイルを検索することが出来ます。

▲［検索］をクリック

▲検索する文字列を入力し、検索する

テクニック

再生待ち

再生待ちは、再生する楽曲の一時的なリストです。聴きたい曲を再生待ちに追加することによって、再生する楽曲を何度も選択する必要がなくなります。再生待ちに追加したい音楽ファイルを選択し、［再生待ちに追加］をクリックすることで、再生待ちリストに追加することが出来ます。

▲［再生待ちに追加］をクリックする

Windows Media Center で動画を再生する

Windows Media Center を使って、動画を再生してみましょう

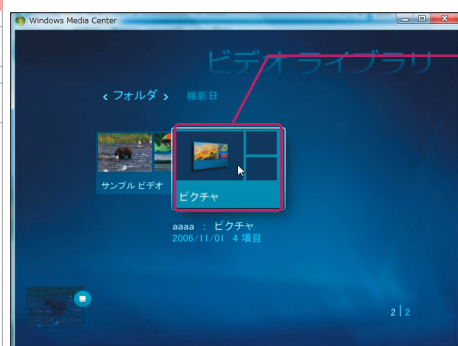
- ☑ Windows Media Center で動画を再生する。
- ☑ DVD の再生
- ☑ ビデオの背景色の設定

Windows Media Center で動画を再生する

step 1 ［ピクチャ・ビデオ］メニューを開く

Windows Media Center を起動します

［ピクチャ・ビデオ］メニュー内の［ビデオライブラリ］をクリック

step 2 開きたいフォルダを選択する

開きたい動画ファイルがあるフォルダをクリックする

テクニック

DVD の再生

Windows Media Center では、動画ファイルの直接再生だけでなく、DVD の再生も行うことが出来ます。DVD をあらかじめパソコンに挿入しておき、［テレビ・映画］メニュー⇒［DVD の再生］をクリックすることで、DVD の再生を行うことが出来ます。

▲［DVD の再生］をクリック

▲ DVD が再生される

step 3 再生したい動画をクリックする

再生したい動画をクリックする

step 4 選択した動画が再生される

選択した動画が再生されました

step 5 動画の再生が完了する。

動画が最後まで再生されると、メニューが表示されます

［完了］をクリックすると、動画再生を終了します

［始めから再生］をクリックすると、同じ動画をもう一度再生します

［削除］をクリックすると、その動画が削除されます

テクニック

ビデオの背景色の設定

ハイエンドのプラズマ ディスプレイでビデオを再生中に画面の焼き付きを防止するために、背景色を変更することができます。焼き付きまたは残像は、変化しない画像が画面に長時間表示したままにすると発生します。新しい画像を表示した後も、前の画像の残像がうっすらと見える場合があります。

設定を行うには［start］⇒［タスク］⇒［設定］⇒［全般］ ⇒［視聴覚効果］⇒［ビデオの背景色］の順にクリックします

ビデオの背景色については、[−] または [+] をクリックして背景色を変更します。既定の色は黒ですが、色の範囲は 90% のグレーから 10% のグレーおよび白です。

▲ビデオの背景色の設定

Windows Media Center で写真を閲覧する

Windows Media Center を使って、写真を閲覧することも出来ます。

- ☑ Windows Media Center を使って写真を閲覧する
- ☑ スライドショー
- ☑ 画像ライブラリの一覧表示方法

Windows Media Center で写真を閲覧する

step 1 画像ライブラリを開く

Windows Media Center を起動します

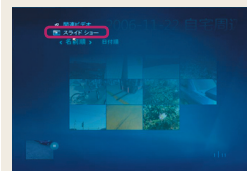
［ピクチャ・ビデオ］メニュー内の［画像ライブラリ］をクリックする

step 2 開きたい画像の一覧を選択する

表示したい画像フォルダをクリックする

テクニック

スライドショー表示

スライドショー表示させたい画像のフォルダを開いておき、［スライドショー］をクリックすると、そのフォルダ内の画像がスライドショー表示されます。

▲［スライドショー］をクリックする

step 3 表示したい写真をクリックします

表示したい写真をクリックします

step 4 選択した写真が表示されます

選択した写真が表示されます

テクニック

画像ライブラリの一覧表示方法

画像ライブラリに表示される画像一覧は、［フォルダ］［タグ］［撮影日］の基準で表示させることが出来ます。表示方法の切り替えは、画面上部のメニューで行います。

▲［フォルダ］で一覧表示

▲［タグ］で一覧表示

▲［撮影日］で一覧表示

Windows の各種設定

本章では、Windows の各種設定について説明します。

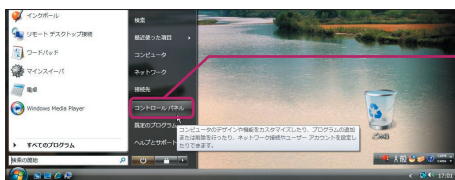
SECTION

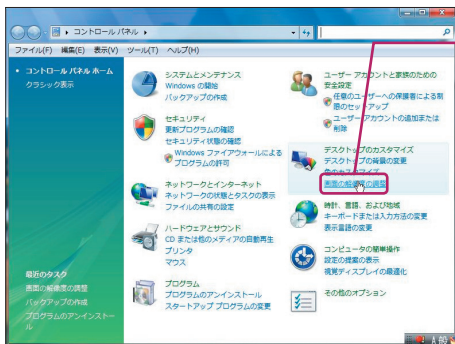
47 画面の解像度や色数を設定する

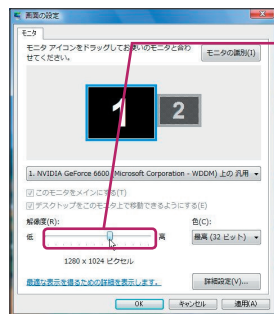
画面の解像度を上げることにより、より多くの項目を画面に表示することが出来ます。色数を上げれば、写真、動画などをきれいに表示できます。

- ☑画面の解像度を変更する
- ☑画面の色数を変更する
- ☑色数と解像度の兼ね合い

画面の解像度と色数を変更する

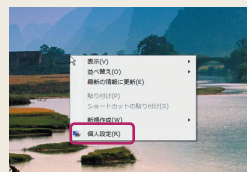
step 1 コントロールパネルを開く

［スタート］メニューより［コントロールパネル］を開く

step 2 ［コントロールパネル］が開く

［画面の解像度の調整］をクリック

step 3 解像度を設定する

［解像度］スライダーで解像度を設定する

テクニック

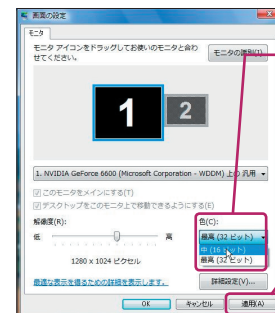
画面の設定を変更する別の方法

　デスクトップの何もないところで右クリックを押すと、メニューが表示され、「個人設定」⇒［画面の設定］をクリックすることでもをクリックすることで画面の設定変更を行うことができます。

▲［個人設定］をクリック

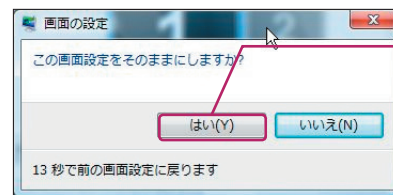
注意

色数と解像度の兼ね合い

　パソコンの性能によって、色数を増やすことにより最大解像度が減る場合があります。逆に、最大解像度を増やすと、最大表示色数が減ることがあります。

step 4 画面の色数を設定する

1［色］メニューから、画面の色数を設定する

2［適用］をクリック

step 5 確認画面が表示されるので、変更を確定する

［はい］をクリックする

step 6 画面の解像度と色数が変更された

画面の解像度と色数が変更されました

ワンポイント

画面の解像度

　解像度には、VGA（640x480）、SVGA（800x600）、XGA（1024x768）、SXGA（1280x1024）等が有ります。最大解像度は、パソコンおよびディスプレイの性能によって決まりますので、性能により選択できない解像度もあります。

ワンポイント

画面の表示色数

　表示色数には、中（16ビット・65,535色）、高（24ビット16,677,215色）、最高（32ビット4,294,967,295色等の種類から選択されます。実際に選択できる最大表示色数色数は、パソコンの性能によって決まりますので、性能により選択できない色数もあります。

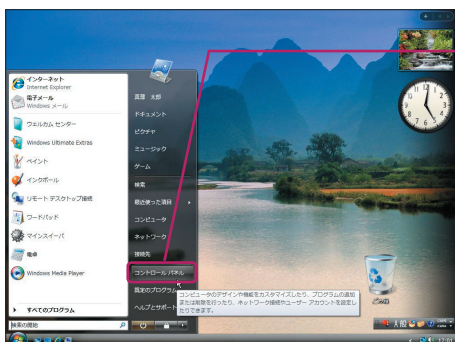
SECTION 48

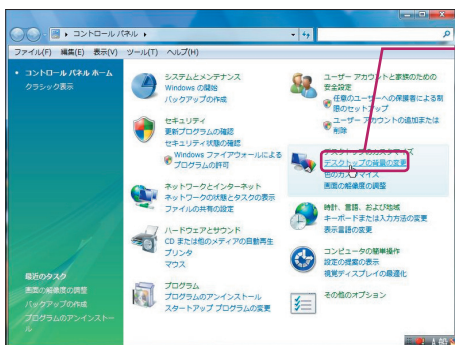
デスクトップの背景を設定する

WindowsVista のデスクトップ背景は、自分の好みに設定することが出来ます。自分で取った写真を背景に設定することも出来ます

- デスクトップの背景を変更する
- 好みの画像を背景に設定する
- 背景の表示位置

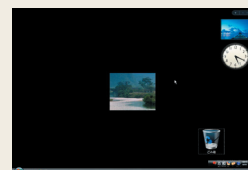
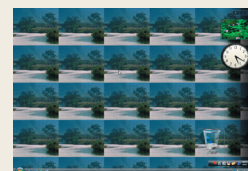
デスクトップの背景を設定する

step 1 コントロールパネルを開く

[スタート]メニューより[コントロールパネル]を開く

step 2 [デスクトップの背景を変更]をクリック

[デスクトップの背景の変更]をクリック

ワンポイント

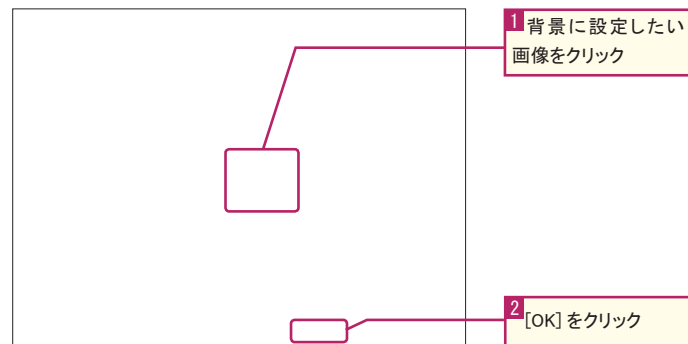
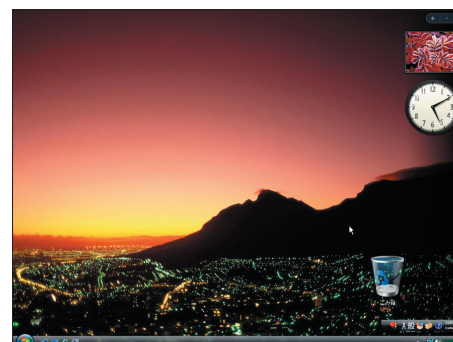
背景の表示位置

背景の画像の表示位置は、画面中央に画像を一枚表示する[中央に表示]、画面全体に同じ画像を羅列する[並べて表示]、一枚の画像を拡大して画面全体に表示させる[拡大して表示]から選択することが出来ます。

▲[中央に表示]

▲[並べて表示]

▲[拡大して表示]

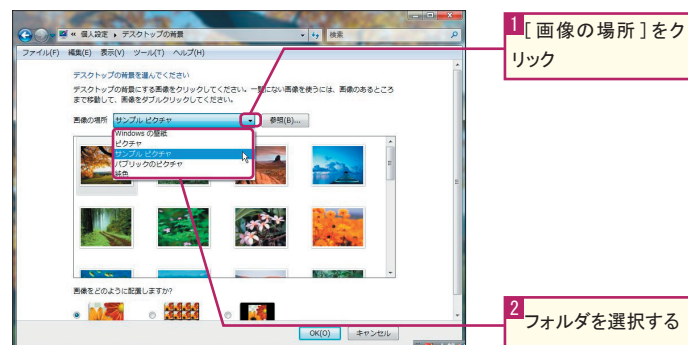
step 3 背景に設定する画像を選択する

1 背景に設定したい画像をクリック

2 [OK]をクリック

step 4 背景の画像が変更された

デスクトップの背景が変更されました。

選択する画像のフォルダを変更する

step 1 画像フォルダの変更

1 [画像の場所]をクリック

2 フォルダを選択する

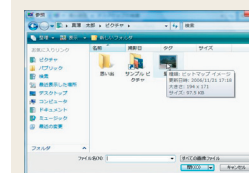
テクニック

好きな画像を背景に設定する

[参照]ボタンをクリックし、好きな画像を選択することで、その画像をデスクトップの背景として設定できます

▲[参照]をクリックし、好きな画像があるフォルダを選択

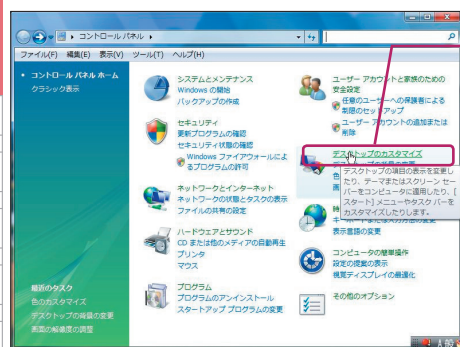
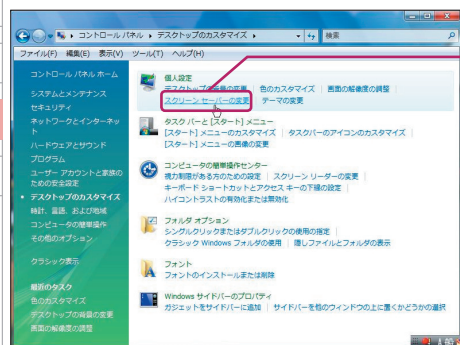
▲背景とする画像を選択

SECTION 49

スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーとは、コンピュータを使用していない間、画面を黒くしたり、簡単なアニメーションを表示するソフトウェアです。

- スクリーンセーバーを変更する
- スクリーンセーバーにパスワードを設定する
- 電源プランの選択

スクリーンセーバーを変更する

step 1 コントロールパネルを開く

1 ［デスクトップのカスタマイズ］をクリック

2 ［スクリーンセーバーの変更］をクリック

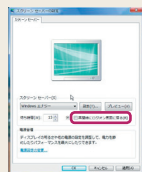
ワンポイント

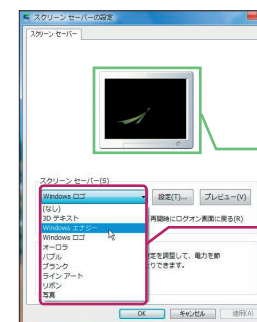
スクリーンセーバーは見て楽しむものでもある

スクリーンセーバーには、画面の焼付けを防止すると言う本来の目的のほか、見て楽しむものでも有ります。WindowsVista標準のスクリーンセーバーのほか、インターネットなどでもスクリーンセーバーをダウンロードすることが出来ます。

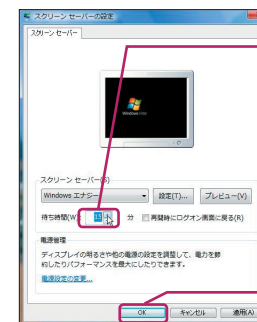
テクニック

再開時にログオン画面に戻る

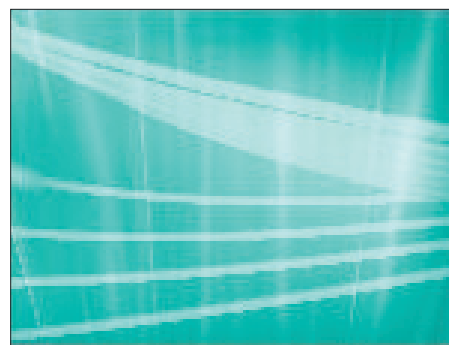
［再開時にログオン画面に戻る］にチェックを入れることで、スクリーンセーバーから復帰した際に、ログオン画面に戻ることが出来ます。

▲［再開時にログオン画面に戻る］にチェックを入れる

step 3 ［スクリーンセーバーの設定］画面が開く

［スクリーンセーバーの設定］画面が開く

ここにプレビューが表示されます

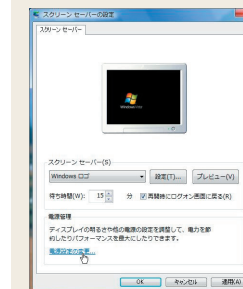
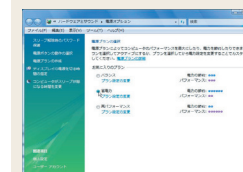
1 好みのスクリーンセーバーをクリック

2 スクリーンセーバーに移行する待ち時間を設定する

3 ［OK］をクリックする

step 4 スクリーンセーバーが表示される

設定された待ち時間の間、パソコンを何も操作しないと、スクリーンセーバーが表示されます

ワンポイント

電源プランの選択

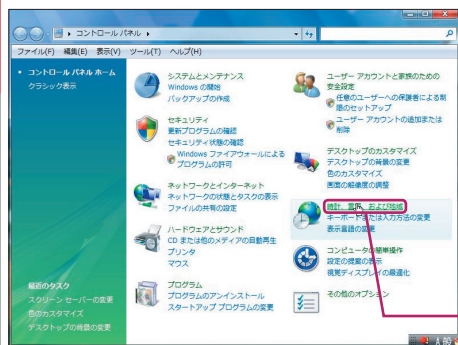
スクリーンセーバーを起動する代わりに、モニタの電源を切る設定をすることも出来ます。［電源設定の変更］⇒［電源プランの選択］より、お好みの電源プランを選択しましょう。

▲［電源設定の変更］をクリック

▲電源プランを選択する

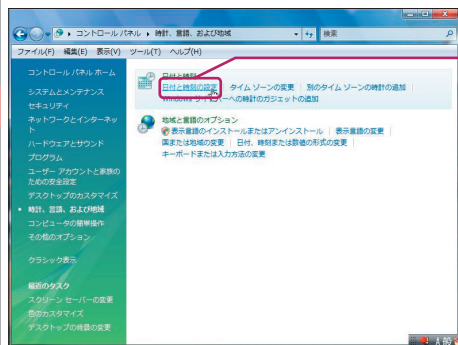
日付と時刻を設定する

パソコンの内蔵時計はアプリケーションの動作を制御する上でも重要なものです。正しい日付と時刻を設定しましょう

- ☑日付と時刻の設定
- ☑インターネット経由で日付と時刻を設定する
- ☑タイムゾーンの設定

日付と時刻の設定

step 1 コントロールパネルを開く

［コントロールパネル］を開く

1［時計・言語および地域］をクリックする

2［日付と時刻の設定］をクリックする

テクニック

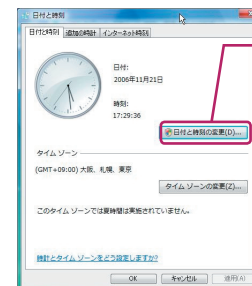
日付と時刻を設定する方法

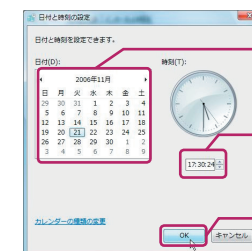
デスクトップ画面右下の通知領域に表示されている時計をダブルクリックしても、「日付と時刻の設定」画面が表示されて、日付と時刻を設定することが出来ます。

注意

内蔵時計は正しい設定が必要

パソコン内蔵時計は、ファイルの作成日時やメールの送信日時などを管理するものなので、正しく設定する必要があります。

step 3 ［日付と時刻］の画面が開く

［日付と時刻の変更］をクリック

step 4 ［日付と時刻の設定］の画面が開く

1 カレンダーから日付を選択

2 時刻を入力

3 [OK] をクリックする

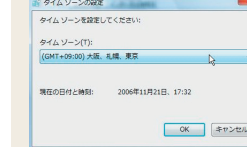
step 5 日付と時刻が設定された

日付と時刻が設定されました

ワンポイント

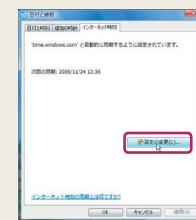
タイムゾーン

日本でパソコンを使用する場合は、「東京、大阪、札幌」に設定し、海外で使用する場合は、タイムゾーンを現在の年に設定しましょう。

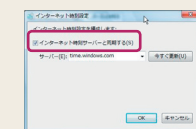
▲［タイムゾーンの変更］をクリック

▲タイムゾーンを変更する

テクニック

インターネットを使って日時を調整する

［インターネット時刻］タブ⇒［インターネット時刻サーバーと同期する］にチェックを入れれば、正しい時刻をインターネット経由で常に調整可能です。

▲［設定の変更］をクリック

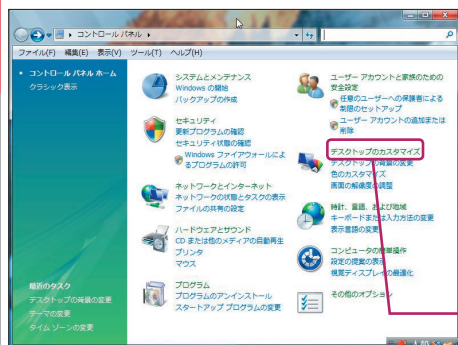
▲［インターネット時刻サーバーと同期する］にチェック

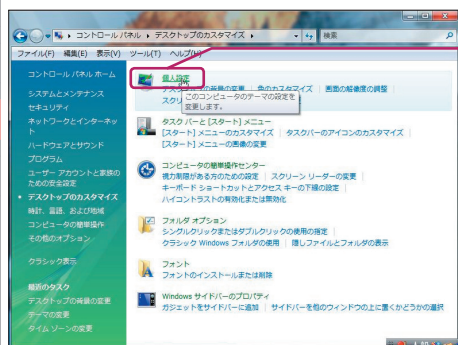
SECTION

51 デスクトップにショートカットを作成する

WindowsVista の初期状態では、デスクトップにはごみ箱のみ表示されています。デスクトップにアイコンを追加してみましょう。

- ☑デスクトップに各種アイコンを追加する
- ☑アプリケーションのショートカットを作る
- ☑ショートカットの名前を変える

デスクトップにアイコンを追加する

step 1 コントロールパネルを開く

［コントロールパネル］を開く

1 ［デスクトップのカスタマイズ］をクリック

2 ［個人設定］をクリック

テクニック

アプリケーションのショートカットを作る

アプリケーションのショートカットを作るには、アプリケーションがインストールされているフォルダを開き、アプリケーション本体のファイルをデスクトップにドラッグします。メニューが表示されるので、その中から［ショートカットをここに作成］を選択すると、ショートカットが作成されます。また、アプリケーション本体のファイルの上で右クリックし、メニューの中から［送る］⇒［デスクトップ（ショートカットの作成）を選択しても、ショートカットを作成することが出来ます。

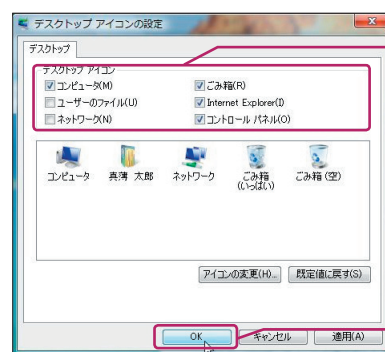
ワンポイント

ショートカットアイコン

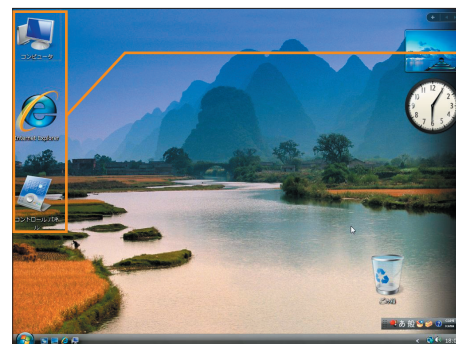
ショートカットアイコンの左下には、上向きの矢印が表示されるので、通常のアイコンとここで区別します。

step 2 ［デスクトップアイコンの変更］をクリック

デスクトップアイコンの変更をクリック

step 3 追加するアイコンを選択する

1 追加するアイコンを選択する

2 [OK] をクリック

step 4 デスクトップに選択したアイコンが表示された

デスクトップに選択したアイコンが追加されました

テクニック

ショートカットの名前を変える

ショートカットアイコンの上で、右クリックし、［名前の変更］をクリックすることで、ショートカットアイコンの名前を変更することが出来ます。

▲［名前の変更］をクリック

テクニック

ファイルやフォルダのショートカット

アプリケーションだけではなく、ファイルやフォルダも同様の手順でショートカットを作成することが出来ます。ファイルがアプリケーションに関連付けられている場合は、ショートカットをダブルクリックするだけでアプリケーションが起動し、ファイルが開きます。

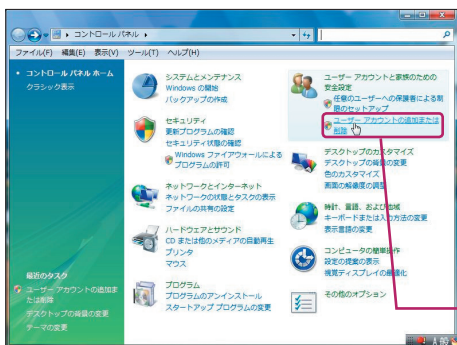
SECTION 52

ユーザーアカウントを追加する

複数人でパソコンを使用する場合は、ユーザーアカウントを追加する必要があります。パスワードの設定もここで行います。

- ☑ユーザーアカウントを追加する
- ☑パスワードを設定する
- ☑ユーザーアカウントの種類

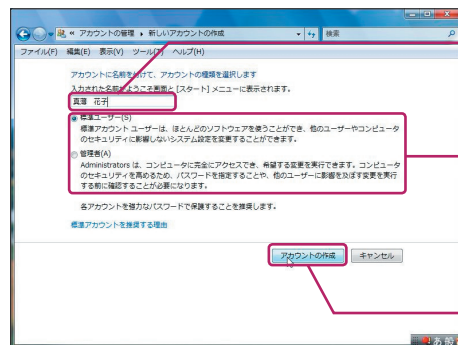
ユーザーアカウントの追加

step 1 コントロールパネルを開く

コントロールパネルを開きます

［ユーザーアカウントの追加または削除］をクリック

step 2 ［アカウントの管理］画面が開く

［新しいアカウントの作成］をクリック

step 3 ［新しいアカウントの作成］画面が開く

1 新しいアカウント名を入力

2 アカウントの種類を選ぶ

3 ［アカウントの作成］をクリックします

step 4 新しいアカウントが作成された

新しいアカウントが作成されました

ワンポイント

ユーザーアカウントの種類について

ユーザーアカウントには、［標準ユーザー］と［管理者］があります。［標準ユーザー］は、WindowsVistaのほとんどの機能を実行できますが、一部他のユーザーにも影響を与えるような操作・変更については、［管理者］にしか行えないものがあります。

ワンポイント

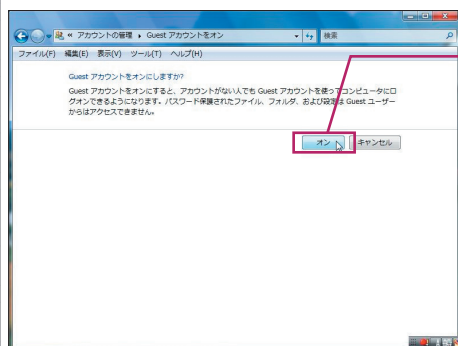
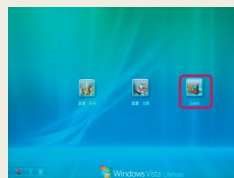
［管理者］を2名以上設定することも可能。

本来、システムの整合性を保つために、重要な変更を行うことが出来る［管理者］は1名であることが望ましいですが、［管理者］を2名以上に設定することも可能です。

ゲストアカウントの作成

step 1 「Guest」をクリック

「Guest」をクリックする

step 2 Guest アカウントをオンにする

［オン］ボタンをクリック

step 3 Guest アカウントがオンになった

Guest アカウントが使用可能な状態になった

ワンポイント

Guest アカウント

Guest アカウントは、そのパソコン上にてユーザーアカウントを持たない人が、一時的にパソコンにログインして使用するためのアカウントです。Guest アカウントの権限は、標準ユーザーとほぼ同じですが、パスワード保護されたファイル、フォルダ、設定などへのアクセスが制限されます。Guest アカウントでのログインを可能にするには、ここで示した方法で、Guest アカウントをオンにしておく必要があります。

▲ログオン画面に Guest アカウントが追加される

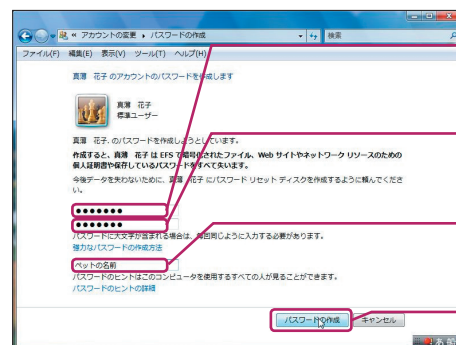
パスワードの設定

step 1 パスワードを設定するアカウントを選択する

パスワードを設定したいアカウントをクリック

step 2 パスワードの作成を選ぶ

［パスワードの作成］をクリック

step 3 パスワードの設定を行う

1 パスワードを入力する

2 確認のため同じものをもう一度入力する

3 パスワードのヒントを入力する

4［パスワードの作成］をクリック

ワンポイント

パスワード

パスワードを設定すると、ログオンする際にパスワードの入力を要求されます。自分のアカウントを、他人に勝手に使用されることを防ぐことが出来ます。

ワンポイント

パスワードのヒント

パスワードのヒントは、パスワードを忘れたときに、思い出す手がかりになるようなものを設定します。ただし、パスワードのヒントはどのユーザーでも見ることが出来るので、簡単にパスワードを予測できるようなヒントは避けたほうがよいでしょう。

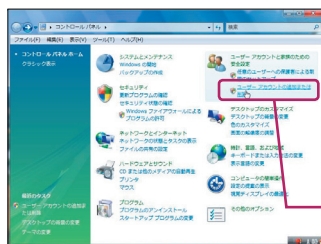
SECTION 53

ユーザーアカウントの設定を変更する

ユーザーアカウントの設定は、後から変更することも可能です。セキュリティ保護のため、定期的にパスワードを変更することは重要です。

☑ユーザーアカウントの設定を変更する
☑パスワード・アカウントの削除
☑画像の変更

パスワードを変更する

step 1 コントロールパネルを開く

コントロールパネルを開きます

［ユーザーアカウントの追加または削除］をクリック

step 2 変更したいユーザーアカウントを選択する

パスワードを変更したいユーザーアカウントをクリック

step 2 変更したいユーザーアカウントを選択する

［パスワードの変更］をクリック

テクニック

パスワードを削除する

ユーザーアカウントの画面で、「パスワードを削除する」をクリックすると、パスワードを削除することが出来ます。

▲［パスワードの変更］をクリックする

テクニック

アカウントを削除する

ユーザーアカウントの画面で、「アカウントの削除」をクリックすると、アカウントを削除することが出来ます。アカウントの削除は、管理者にしか行うことが出来ません。

▲［アカウントの削除］をクリックする

step 4 新しいパスワードの設定を行う

1 パスワードの設定を行い

2［パスワードの変更］をクリック

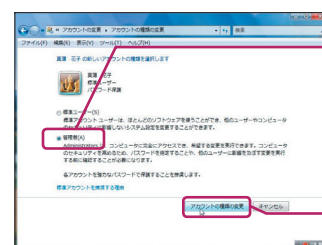
アカウントの種類の変更

step 1 ［アカウントの種類の変更］をクリック

［アカウントの種類の変更］をクリック

step 1 ［アカウントの種類の変更］をクリック

現在のアカウントの種類が表示されます

step 5 新しいアカウントの種類を選択する

1 新しいアカウントの種類を選択する

2［アカウントの種類の変更］をクリック

ワンポイント

標準ユーザーの制限

コンピューターの管理者は、すべてのユーザーのユーザーアカウント情報を変更できますが、標準ユーザーは自分自身の情報しか変更できません。

テクニック

画像の変更

ログイン画面で表示される、ユーザーごとの画像を変更することも可能です。［画像の変更］をクリックし、一覧の画像の中から好きな画像を選択します。

▲［画像の変更］をクリック

▲好きな画像を選択し、「画像の変更」をクリックする

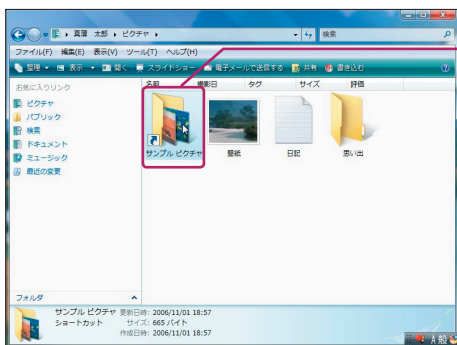
SECTION 54

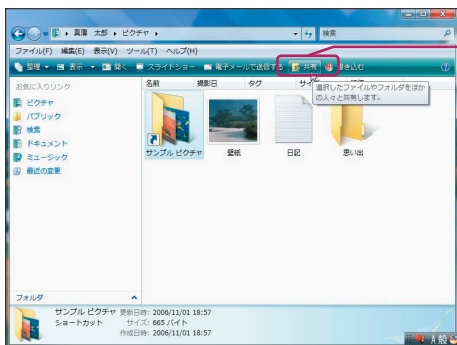
ファイルやフォルダの共有

複数人でパソコンを使用する場合、全ユーザーがアクセスできるファイル、フォルダと、本人しかアクセスできないファイルやフォルダがあります

☑ファイル・フォルダの共有設定

ファイル・フォルダの共有設定

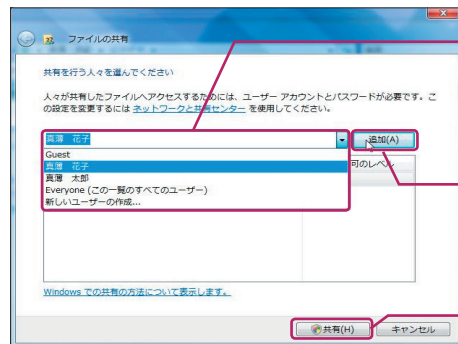
step 1 共有したいフォルダを選択

共有したいフォルダを選択する

step 2 ［共有］ボタンをクリック

［共有］ボタンをクリック

ワンポイント

標準ユーザーも共有フォルダ、ファイルにアクセスできる

共有設定がされていれば、アカウントの種類に関係なくそのファイル・フォルダにアクセスすることが出来ます。

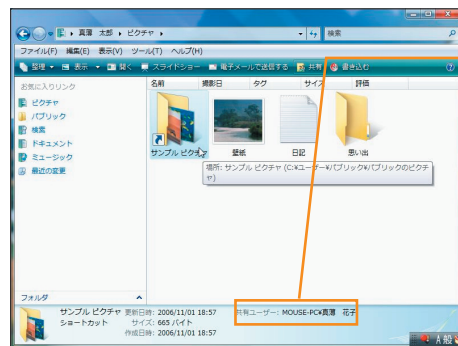
step 3 フォルダを共有したいユーザーを追加

1 フォルダを共有したいユーザーを選択

2 ［追加］ボタンをクリック

3 ［共有］ボタンをクリック

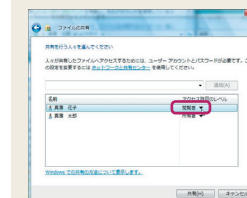
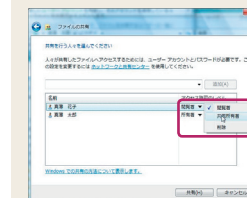
step 4 フォルダの共有の設定が完了する

［終了］ボタンをクリック

step 5 共有ユーザー名が表示される

共有ユーザー名がここに表示される

テクニック

アクセス許可のレベル

ファイルの共有の設定画面において、各ユーザーのファイルに対するアクセス許可のレベルを設定することが出来ます。

▲［アクセス許可のレベル］をクリック

▲アクセス許可のレベルを選択

Windows の メンテナンス

本章では、セキュリティーセンターの活用、システムの復元、ハードディスクのバックアップ操作などについて説明します。

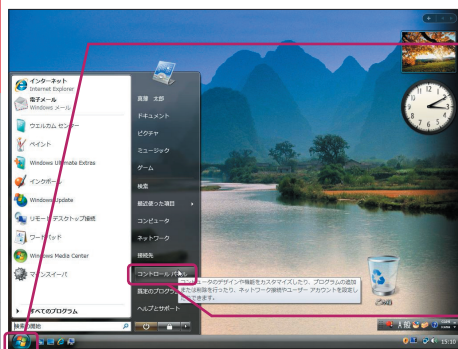
SECTION 55

セキュリティーセンターについて

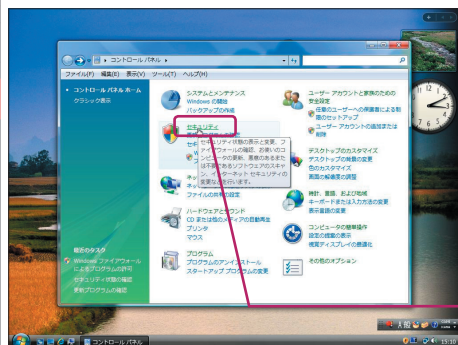
セキュリティーセンターは、パソコンをウィルス、スパイウェアなどの脅威から保護するための機能の中枢です。

- セキュリティーセンターを起動する
- セキュリティーセンターの概要
- セキュリティーセンターの各項目

セキュリティーセンターを起動する

step 1 コントロールパネルを起動する

1 [スタート]ボタンをクリック

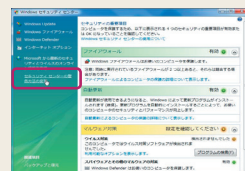
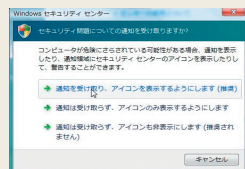
2 [コントロールパネル]をクリック

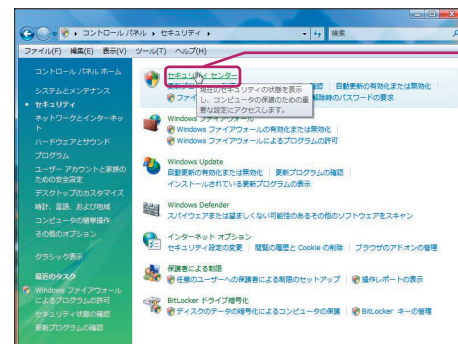
step 2 コントロールパネルが起動する

[コントロールパネル]が起動した

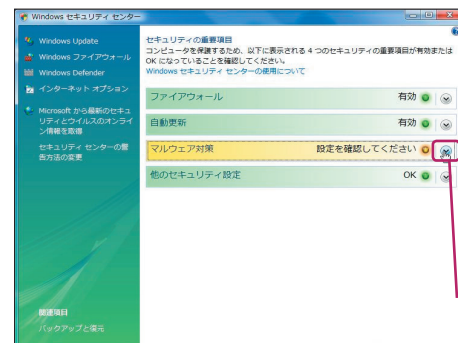
[セキュリティ]をクリック

ワンポイント

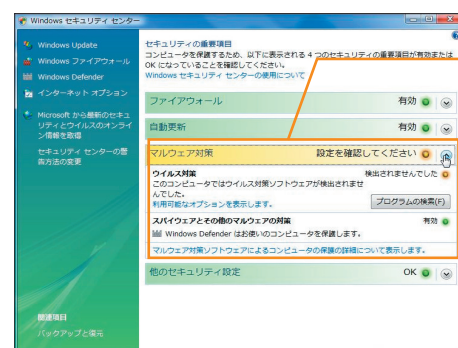
セキュリティーセンターの警告方法の変更

コンピューター上にセキュリティー上の問題がある場合、デスクトップ右下の通知領域に、セキュリティーセンターからの警告が通知されます。この通知方法は、[セキュリティーセンターの警告方法の変更]をクリックすることで、変更することが出来ます。

▲[セキュリティーセンターの警告方法の変更]をクリック

▲通知方法を選択する

step 3 [セキュリティーセンター]をクリック

[セキュリティーセンター]をクリック

step 4 [セキュリティーセンター]が起動する

[セキュリティーセンター]の画面が起動する

詳細を確認したい項目の右にある↓矢印をクリック

step 5 項目の詳細が表示されます。

項目の詳細が表示されます

ワンポイント

セキュリティーセンターの各項目

セキュリティーセンターの中には以下の項目があります。

❶セキュリティーセンター
現在のパソコンのセキュリティレベルを表示し、コンピューターの保護のために重要な設定にアクセスします。

❷Windows ファイアウォール
Windows ファイアウォールの有効化・無効化、詳細設定を行います。

❸WindowsUpdate
Windows アップデートの実行、更新の確認、設定を行います。

❹Windows Defender
WindowsDefender の実行、設定を行います。

❺インターネットオプション
インターネットブラウザの詳細設定を行います。

❻保護者による制限
保護者による制限のセットアップ、操作レポートの表示を行います。

❼BitLocker ドライブ暗号化
ハードディスクのデータ暗号化を行います。

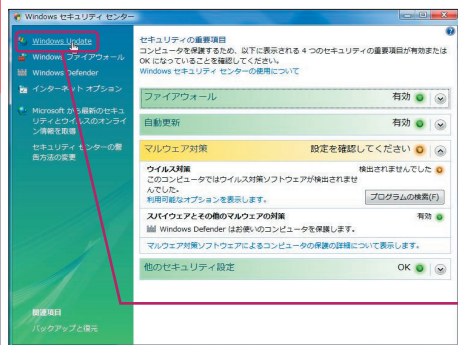
SECTION

56 WindowsUpdate について

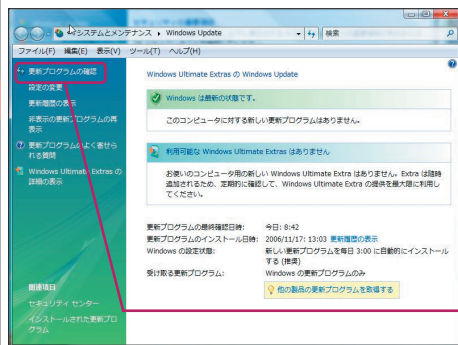
WindowsUpdate は、Windows の重要な更新などがあった場合にインターネット経由で常に Windows の状態を最新に保つための機能です。

- ☑ WindowsUpdate を行う
- ☑ WindowsUpdate の設定
- ☑ 更新履歴の表示

WindowsUpdate を行う

step 1 ［セキュリティーセンター］を起動する

［セキュリティーセンター］を起動します

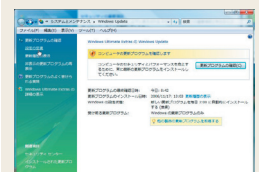
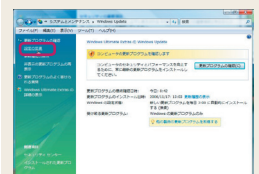
[Windows Update]をクリックする

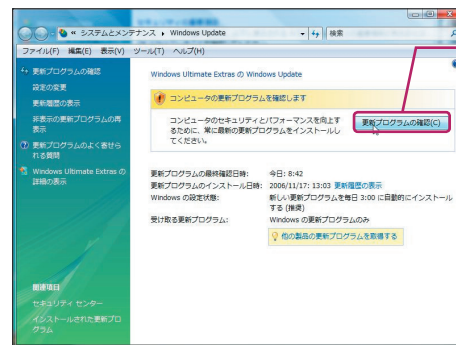
step 2 [Windows Update] の画面が開く

WindowsUpdate の画面が開く

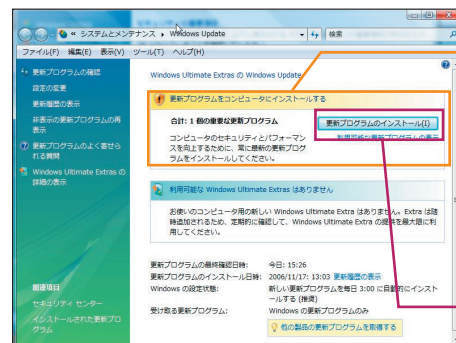
［更新プログラムの確認］をクリック

テクニック

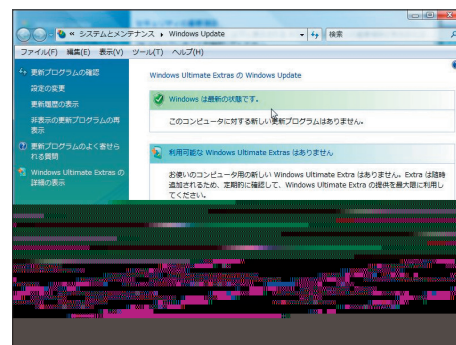
Windows Update の設定

Windows Update 画面において、［設定の変更］をクリックすることで、WindowsUpdate の動作設定を変更することが出来ます。ここでは、Windows Update の自動更新の頻度、更新プログラムのインストールの方法などを設定することが出来ます。

▲［設定の変更］をクリック

▲設定を変更し、[OK] をクリックする

step 3 更新プログラムの確認を行う

［更新プログラムの確認］をクリックする

step 4 更新プログラムが確認される

更新プログラムが確認されました。

［更新プログラムのインストール］をクリック

step 5 更新プログラムのインストールが完了した

更新プログラムのインストールが完了し、Windows が最新の状態になりました

ワンポイント

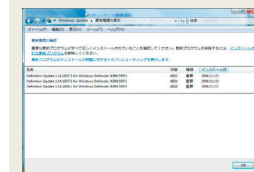
ウィルス対策

ウィルス対策ソフトは、WindowsVista には付属していません。別途市販品を用意し、インストールする必要があります。

テクニック

更新履歴の表示

［更新履歴の表示］をクリックすることにより、今までの Windows Update にて更新した内容を一覧で表示することが出来ます。

▲［更新履歴の表示］をクリック

▲今までの更新履歴が一覧で表示される

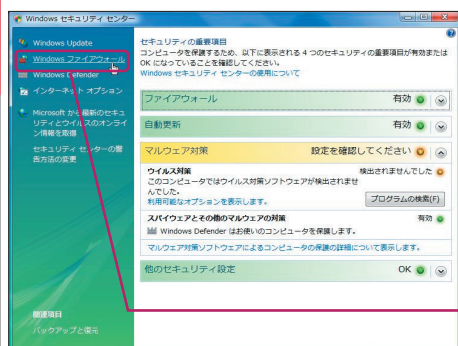
SECTION 57

Windows ファイアウォールの設定

Windows ファイアウォールは、ウイルスや不明な侵入者による潜在的なセキュリティ上の脅威からコンピュータを保護する機能です

- Windows ファイアウォールの有効化
- Windows ファイアウォールの詳細設定
- ファイアウォールの役割

Windows ファイアウォールの有効化・無効化

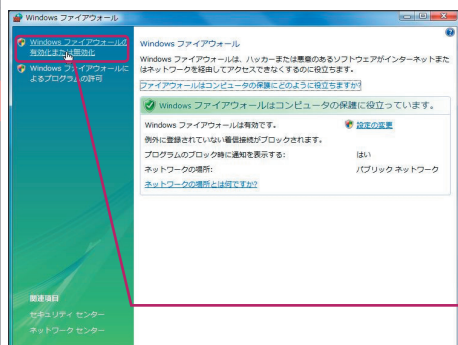
step 1 [セキュリティーセンター] を開く

[セキュリティーセンター] を起動します

[Windows ファイアウォール] をクリック

ワンポイント

ファイアウォールとは

ファイアウォールは、ウィルス、不正な侵入者などがネットワークやインターネットを経由してコンピュータにアクセスするのを防ぐために役立ちます。また、ファイアウォールを使用して、自分のコンピュータが他のコンピュータに悪意のあるソフトウェアを送信しないようにすることもできます。

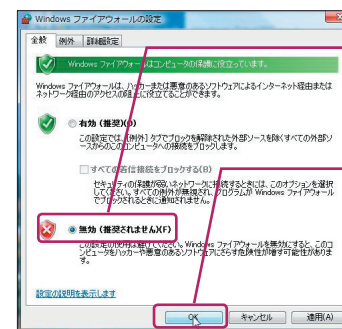
step 2 [Windows ファイアウォール] の画面が開く

[Windows ファイアウォール] の画面が開いた

[Windows ファイアウォールの有効化または無効化] をクリック

ワンポイント

ファイアウォールの無効化

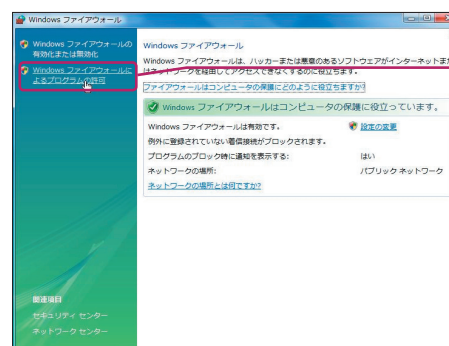
市販のウィルス対策ソフトなどを使用しており、そのソフトウェアにファイアウォール機能がある場合は、WindowsVista のファイアウォールを無効にすることも出来ます。しかし、他のファイアウォール機能をパソコンに導入していない限りは、ファイアウォールの設定を無効にしないほうが良いでしょう。

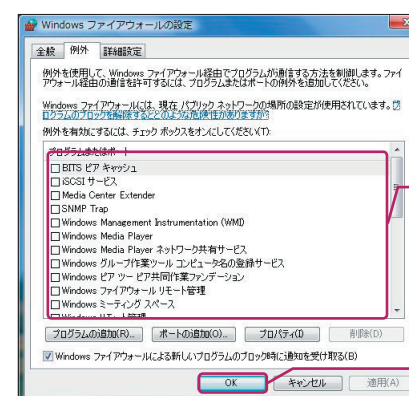
step 3 ファイアウォールの有効化・無効化を選択する

1 [無効] にチェックを入れる

2 [OK] をクリック

Windows ファイアウォールが無効になりました

Windows ファイアウォールによるプログラムの許可

step 1 Windows ファイアウォールによるプログラムの許可

[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックする

step 2 設定を行う

ファイアウォール経由での通信を許可するための、[例外] の設定を行います

1 [例外] を設定する項目にチェックを入れる

2 [OK] をクリックする

ワンポイント

例外

ファイアウォールで例外を作成すると、特定のプログラムがファイアウォール経由でコンピュータと情報を送受信できるようになります。プログラムにファイアウォール経由の通信を許可することは、ブロック解除とも呼ばれ、ファイアウォールの小さいドアを開くようなものです。

プログラムがファイアウォール経由で通信するために例外を作成するたびに、コンピュータのセキュリティが少しずつ低下します。ファイアウォールで例外が多いほど、ハッカーや悪意のあるソフトウェアがそれらのいずれかを使用してワームを広めたり、ファイルにアクセスしたり、コンピュータを利用して悪意のあるソフトウェアを他のコンピュータに広めたりする危険性が高くなります。

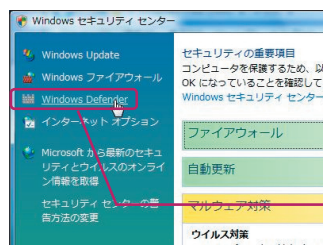
SECTION 58

Windows Defender について

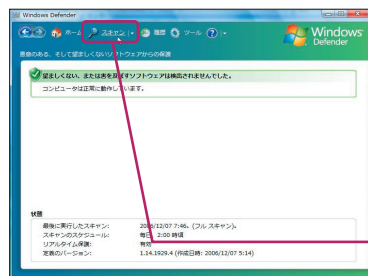
Windows Defender は、スパイウェア等の感染するのを防ぐためのプログラムです。Windows Defender を使用してスパイウェアを削除してみましょう。

- ☑スパイウェアの検出と削除を行う
- ☑スパイウェアとは
- ☑スキャンの種別について

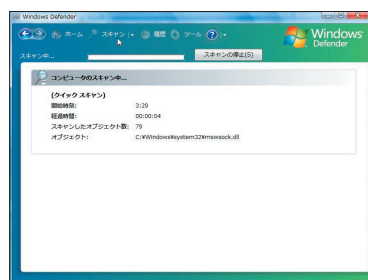
スパイウェアの検出および削除を行う

step 1 [セキュリティーセンター] を開く

[セキュリティーセンター] を起動します

[Windows Defender] をクリック

step 2 [Windows Defender] が起動する

[Windows Defender] が起動します

[スキャン] をクリックする

step 3 スキャンが開始される

スキャンが開始されます

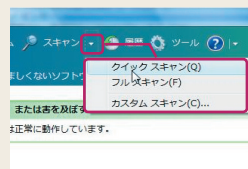
ワンポイント

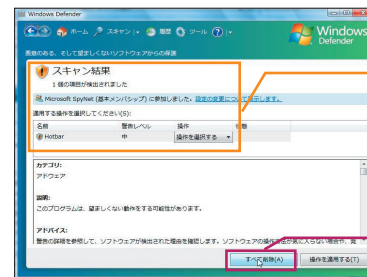
スパイウェアとは

スパイウェア（Spyware）とは、ユーザーに関する情報を集めて記録し、更に集めた情報を予め設定された特定の（情報収集者である）企業や団体・個人等に送信するソフトウェアのことです。インターネット閲覧、アプリケーションのインストールなど、通常のパソコン操作に紛れ感染し、感染後もバックグラウンドで動作するものが多いので、スパイウェアに感染していることに気づかず、PC を使用し続けてしまう例もあります。

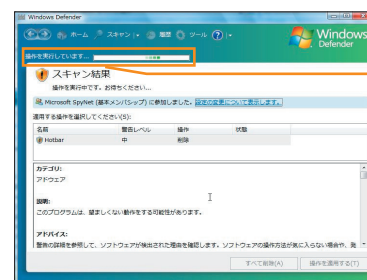
テクニック

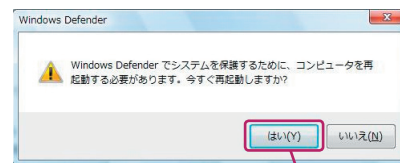
スキャンの種別

スパイウェアのスキャンには、コンピュータの重要な部分のみスキャンする [クイックスキャン]、すべての領域をスキャンする [フルスキャン]、自分で選んだ領域をスキャンする [カスタムスキャン] があります。下図メニューから選択することが出来ます。

▲スキャンの種別を選択

step 4 スパイウェアが検知される

PC がスパイウェアに感染していた場合、スパイウェアが検知されます

[すべて削除] をクリック

step 5 スパイウェアの削除が開始される

スパイウェアの削除が開始されます。しばらくお待ちください

step 6 コンピュータを再起動する

再起動を促すメッセージが表示されます

[はい] をクリック

コンピュータが再起動され、スパイウェアの削除が完了します。

ワンポイント

検出されたスパイウェアの処理

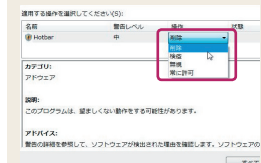
Windows Defender にて検出されたスパイウェアに対しては、以下の操作を選択して行うことができます。

① [無視]
スパイウェアがコンピュータにインストール、または実行されるのを許可します。

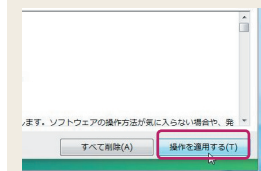
② [検疫]
Windows Defender でスパイウェアが検疫されると、そのスパイウェアはコンピュータ上の別の場所に移動され、ユーザーが復元するか、またはコンピュータから削除するまで実行されなくなります。

③ [削除]
スパイウェアをコンピュータから完全に削除します

④ [常に許可]
Windows Defender の許可済み一覧にソフトウェアを追加し、コンピュータでの実行を許可します。

操作の選択方法は、下図のとおりです。

▲実行する操作を選択し

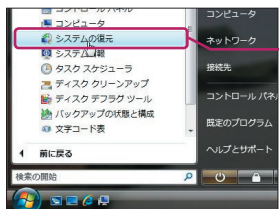
▲[操作を適用する] をクリックする

SECTION

59 システムの復元を利用する

何らかの設定変更後に、Windows の動作が不安定になった場合は、設定変更前の時点まで「システムの復元」を行うことで回復することがあります。

- ☑システムの復元の実行
- ☑復元ポイントの作成
- ☑復元されるファイルの種類

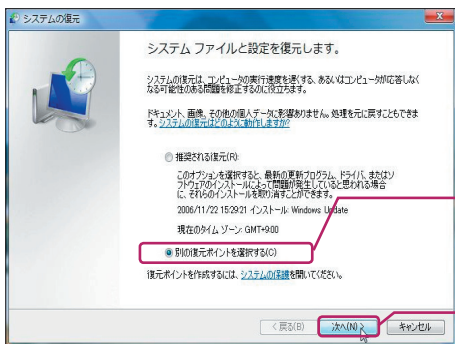
システムの復元を実行する

step 1 ［システムの復元］の起動

［すべてのプログラム］⇒［アクセサリ］⇒［システムツール］⇒［システムの復元］をクリック

ワンポイント

復元ポイントの自動生成

システムの復元に使われる復元ポイントは、WindowsVista によって自動的に作られます。ドライバの更新、WindowsUpdate、新規アプリケーションのインストールなど、Windows にとって重要な変更が行われた際は、自動的に復元ポイントが作成されます。

step 2 システムの復元が起動した

ここでは、復元するポイントを自分で選択して、システムの復元を行います

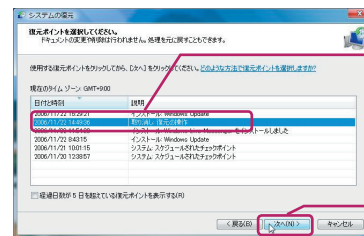
1 ［別の復元ポイントを選択する］をクリック

2 ［次へ］をクリック

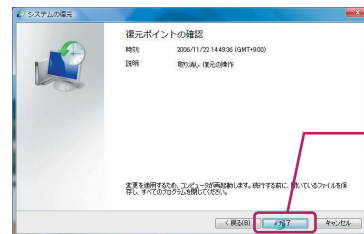
ワンポイント

セーフモードでの復元

Windows が正常起動しなくなった場合でも、セーフモードなら起動する場合があります。この場合、セーフモードで Windows を起動した後、Windows が正常動作していた時点の復元ポイントまで、システムの復元を行うことで、Windows の破損を修復できる可能性があります。

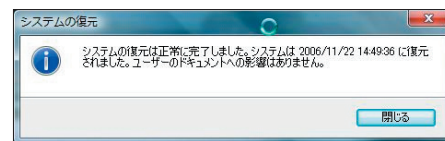
step 3 復元ポイントを選択する

1 復元ポイントを選択する

2 ［次へ］をクリック

step 4 システムの復元を開始する

［復元ポイントの確認］画面が開く

［完了］をクリック

システムの復元が開始されます。

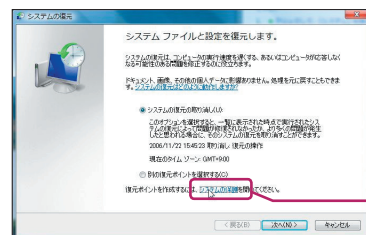
step 5 システムの復元が完了した

システムの復元が完了し、PC が再起動します。再起動後、システムの復元が完了した確認メッセージが表示されます

ワンポイント

データファイルは復元されない

システムの復元を行うと、アプリケーション、ドライバ、WindowsUpdate、各種設定などの状態は、復元ポイント時点まで戻りますが、メール、ドキュメントの中にある各種データなどが失われることはありません。

復元ポイントを手動で作成する

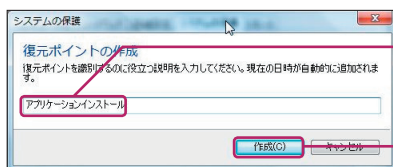
step 1 ［システムの保護］をクリック

［システムの復元］を起動します

［システムの保護］をクリック

step 2 ［システムの保護］画面が開く

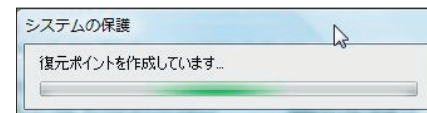
［システムの保護］画面が開きます

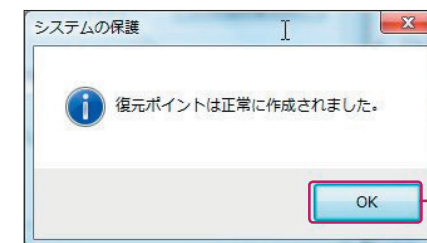
［作成］をクリック

step 3 復元ポイントの作成を行う

1 復元ポイントに名前をつける

2 ［作成］をクリック

> **ワンポイント**
>
> **手動での復元ポイントの作成**
>
> WindowsVistaでは、自動で復元ポイントを作成してくれますが、それ以外に手動で復元ポイントを作成することも出来ます。アプリケーションのインストール、周辺機器の増設などの前に、復元ポイントを作成しておくと、作業後にトラブルが発生した場合の対処に有効です。

step 4 復元ポイントの作成が開始される

復元ポイントの作成が開始される

step 5 復元ポイントの作成が完了する

> **ワンポイント**
>
> **復元ポイントの選択**
>
> システムの復元では、プログラムのインストールなど、重大な変更の前に作成された最も最近の復元ポイントが自動的に選択されます。復元ポイントの一覧から、別の復元ポイントを選択することもできます。問題に最初に気付いた日時の直前に作成された復元ポイントを使用してください。

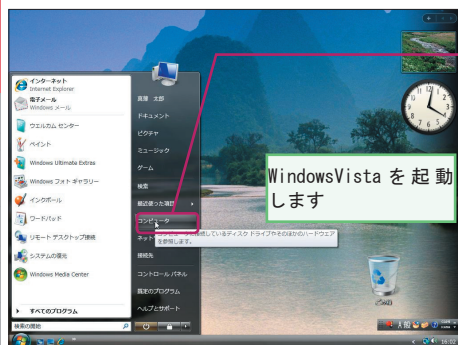
SECTION 60

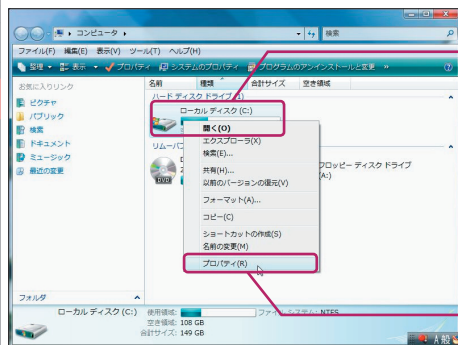
ハードディスクを最適化する

ファイルの作成、削除を繰り返していると、ファイルのデータがありこちに分散する「断片化」が発生します。最適化によって「断片化」を解消できます。

- ☑ハードディスクを最適化する
- ☑最適化の働き
- ☑最適化のスケジューリング

ハードディスクの最適化を実行する

step 1 「コンピュータ」を開く

「スタート」メニューから「コンピュータ」をクリックする

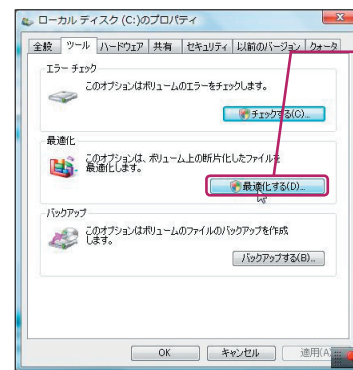
step 2 ハードディスクの「プロパティ」を開く

1 [ローカルディスク] の上で右クリック

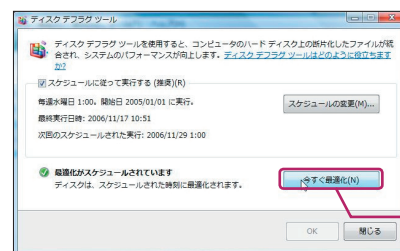
2 「プロパティ」をクリック

ワンポイント

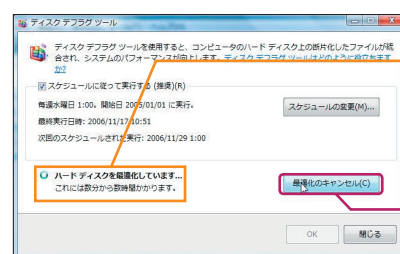
最適化の働き

ファイルの作成、削除を繰り返していると、データがハードディスク上のあちこちに分散してしまう「断片化」が発生し、ハードディスクの読み込みが遅くなってしまいます。ディスクを最適化の実行により、あちこちに分散したファイルを一箇所に集め連続化することで、ハードディスクのアクセススピードを向上することが出来ます。

step 3 ハードディスクのプロパティ画面が開く

[最適化する] をクリック

step 4 最適化を開始する

[ディスクデフラグツール] が起動する

[今すぐ最適化] をクリック

step 5 最適化が開始される

ハードディスクの最適化が開始された

最適化を途中で止めるには、[最適化のキャンセル] をクリックする

テクニック

最適化をスケジューリングする

ハードディスクの最適化を定期で自動的に行うように設定することも可能です。[スケジュールの変更] をクリックし、最適化を行うスケジュールを設定しましょう。

▲[スケジュールの変更] をクリック

▲最適化のスケジュールを設定し、[OK] をクリック

注意

最適化中はパソコンの操作を行わない

最適化中に、データの書き込みなどを行うと、最適化作業が最初からやり直しになってしまいます。最適化中は、他のパソコン操作を行わないほうがよいでしょう。

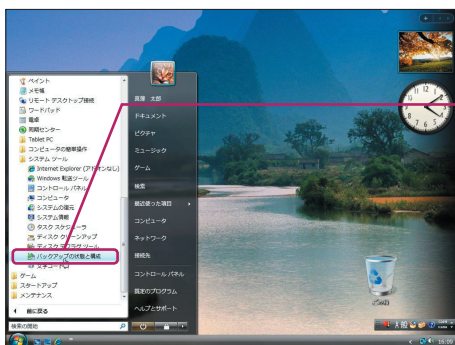
CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

ハードディスクのバックアップを作成する

ハードディスクに障害が発生した場合などにデータを復旧できるように、ハードディスクのバックアップ作業を行いましょう

☑ハードディスクのバックアップを作成する

ハードディスクのバックアップを取る

step 1 ［バックアップの状態と構成］を起動する

［スタート］メニュー⇒［すべてのプログラム］⇒［アクセサリ］⇒［システムツール］⇒［バックアップの状態と構成］をクリック

step 2 ［バックアップの状態と構成］が起動した

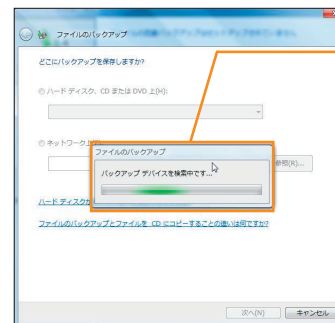
［バックアップの状態と構成］が起動します。

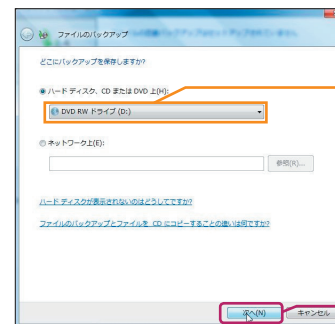
［ファイルの自動バックアップをセットアップします］をクリック

ワンポイント

バックアップ先のメディア

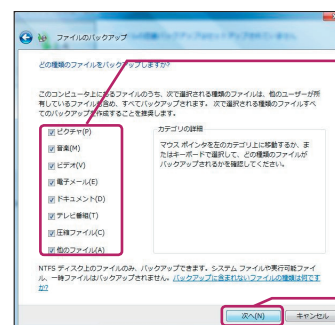
バックアップは、ハードディスク（内部または外部）、その他のリムーバブルディスク、書き込み可能なDVD および CD 等のメディアに行うことが可能です。ここでは、書き込み可能なDVDメディアを使用したバックアップ方法について説明します。

step 3 バックアップデバイスの検出が開始されます

バックアップデバイスの検出が開始されます

step 4 バックアップデバイスが検出された

バックアップ可能なデバイスが検出されました。ここでは、DVD-R/RW ドライブを使ってバックアップを作成します。

空の DVD-R メディアをパソコンに挿入しておきましょう

［次へ］をクリック

step 5 バックアップしたいファイルの種類を選択

1 バックアップしたいファイルの種類を選択する

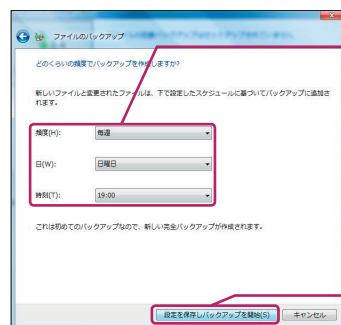
2 ［次へ］をクリック

ワンポイント

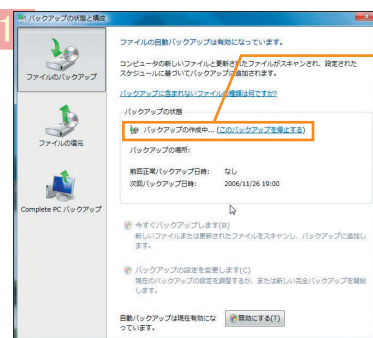
Windows Complete PC バックアップ

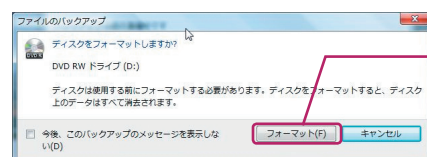
一部のファイルではなく、コンピューター全体のバックアップを作成する機能です。Windows Complete PC バックアップと復元は、Windows Vista Home Basic または Windows Vista Home Premium には含まれていません。

▲［コンピュータのバックアップ］

step 6 バックアップを作成する頻度を設定する

1 バックアップを作成する頻度を設定する

2［設定を保存しバックアップを開始］をクリック

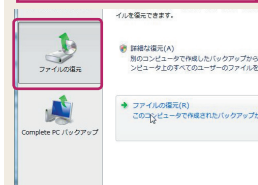
step 7 バックアップの作成が開始されます

バックアップの作成が開始されます

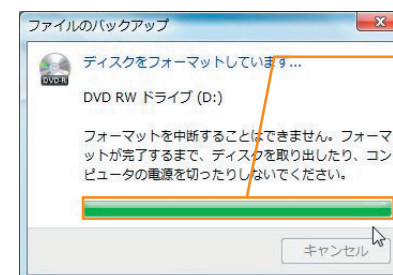
step 8 ディスクのフォーマットが促されます

［フォーマット］をクリック

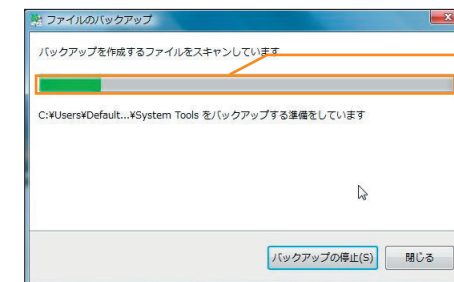
テクニック

バックアップファイルの復元

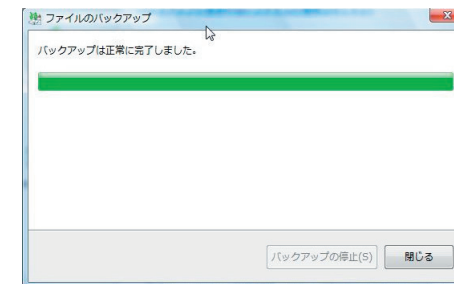
バックアップしたファイルをパソコンに復元するには、以下の操作を実行します。

❶バックアップを作成したメディアをパソコンにセットする
❷［ファイルの復元］をクリック
❸復元するバックアップの種類を選択。通常は「最新のバックアップ」を選択し［次へ］をクリック
❹復元するファイル、フォルダを必要に応じて追加し、［次へ］をクリック
❺ファイルを復元する場所を選択。通常は「元の場所」を選択し、次へをクリック
❻ファイルの復元が開始される。バックアップしたメディアが複数にわたる場合、途中メディアの交換を促すメッセージが表示される。

▲［ファイルの復元］

step 9 DVD-R のフォーマットが開始されます

DVD のフォーマットが開始されます

step 10 バックアップファイルの書き込みが開始されます

バックアップファイルの書き込みが開始されます

途中で DVD-R メディアの交換を促すメッセージが表示されることがあります。

step 11 バックアップファイルの書き込みが完了した

バックアップファイルの書き込みが完了しました

ワンポイント

一枚のディスクではバックアップの容量が不足している場合

バックアップするデータが、一枚のメディアに入りきらない場合は、バックアップ作業の途中で、ディスクの交換を促すメッセージが表示されます。この場合は、新しい空のメディアをパソコンに挿入しましょう。

WindowsVista マニュアル

株式会社マウスコンピューター　サポートセンター　編著

本マニュアルに関するご質問については、下記お問合せ先までご連絡下さいますようお願いいたします。

株式会社マウスコンピューター　サポートセンター
TEL:0570-05-1105
FAX:0480-36-1136
Mail:support@mouse-jp.co.jp
WEB:https://www2.mouse-jp.co.jp/ssl/user_support/index.asp